

- (自轉車)
- 大日本自轉車株式會社 (東京)
 - 帝國輪業株式會社 (シ)
 - 合資會社宮田製作所 (シ)
 - ゼブラ自轉車製作所 (シ)
 - 岡本自轉車自動車製作所(名古屋)
 - 日英自轉車株式會社 (神戸)
 - 帝國鐵工株式會社 (シ)
 - 大阪自轉車合資會社 (大阪)
 - (自動自轉車)
 - 猿山自轉車店 (東京)
 - 鋼輪社 (大阪)
 - 上村商會 (シ)
- (但し主要部分は殆んど輸入品にし)

三三一、自轉車部分品

自轉車部分品の主たるものは、タイヤ、チューブ、リム、スポーク、サドル、バンドルバー、ペダル、チェーン、ハブ、ブレイキ、ギアケース、フリーウキール、バルブ、其他框を構成する各種管、棒、車軸、軸承、握り等にして、鋼鐵製品は今尙ほ盛んに輸入さる。

◎輸入税率

- (一)タイヤは一〇〇斤に付一一四圓
- (二)リム、スポーク、ワツンヤ、マツドガードは同三一圓九〇錢。
- (三)バンドルバー、ニツプルサドル、ペダル、ハブ、ブレイキ、スプロツケツトウキールは同六四圓二〇錢
- (四)コースタブレイキ、ギアケース及びフリーウキール、バルブは同九九圓五〇錢
- (五)其他は價額に對する三五%

◎主要生産者

自轉車生産者は多く部分品の生産をも兼ねてゐるが、其の他主要部分品の製作者中主たるものを列挙すれば左の如し。
(車體、泥除及ハンドル)

國 産 額		國 産 額	
數量	價 額	數量	價 額
大正10	—	—	15,889,540圓
11	—	—	13,374,210
12	69,677	—	2,891,460
13	92,172	—	2,751,270
14	38,229	—	864,796
昭和1	41,382	—	1,112,621
2	89,629	—	3,093,083
3	125,588	—	3,323,999
4	148,549	—	3,597,426
5	185,600	—	4,078,752

主要國別輸入額(昭和三年)

國 産 額		國 名		主要國別輸入額(昭和三年)	
數量	價 額	數量	價 額	數量	價 額
大正10	4,492,121圓	—	—	—	2千圓
11	4,719,111	—	—	—	1,245
12	4,043,682	—	—	—	19
13	4,587,513	—	—	—	135
14	3,413,875	—	—	—	1
昭和1	3,141,919	—	—	—	168
2	1,799,333	—	—	—	—
3	1,573,233	—	—	—	—
4	1,236,193	—	—	—	—
5	596,604	—	—	—	—

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數量	價 額
埼玉	1,000臺	18,000圓
東京	54,148	717,445
石川	2,400	16,800
愛知	23,373	1,580,255
大阪	30,163	515,727
兵庫	14,244	469,287

- 廣瀨製作所 (東京)
- セブラ製作所 (シ)
- 足田製作所 (シ)
- 宇佐美自轉車製作所 (名古屋)
- 名城自轉車製作所 (シ)
- 山田梅吉工場 (シ)
- 株式會社名古屋自轉車製作所(シ)
- 大橋助左衛門 (シ)
- 荒井謬三 (シ)
- 江口忠二 (シ)
- (リム)
- 宮林リム製作所 (大阪)
- 合資會社宮田リム製作所(名古屋)
- ヒツト・リム製作所 (東京)
- (ハブ及コースターハブ)
- 藤澤清一 (名古屋)
- 株式會社ハブ製作所 (シ)
- 荒川由三郎 (シ)
- 南海自轉車製造合資會社(大阪)
- 萬代鐵工所 (堺)
- 合資會社日の本鐵工所 (シ)
- 博多コースター株式會社(福岡)
- 福岡精工所 (シ)
- (チェーン)
- 合資會社大阪チエン製作所(大阪)
- 愛知チエン株式會社 (名古屋)
- (ブレイキ)

◎輸入の主要原因

自轉車は輸入極く少く、自動自轉車は殆んど國産なき爲めである。

◎輸入防止の主要處置

自轉車は既に略輸入防止の目的を達したるを以て其必要なく、自動自轉車に就ては製作技術を研究し國産の増加に努める事が急務である。

◎主要輸入者

- 自轉車輸入者に同じ。
- 穂積製作所 (東京)
- 水垣製作所 (シ)
- 吉川製作所 (シ)
- (サドル)
- 合資會社山本工場 (神戸)
- ライセツトサドル株式會社(シ)
- (ギヤ及クランク)
- 高木鐵工所 (堺)
- (タイヤ及チューブ)
- 日本輪業株式會社 (神戸)
- 東京ゴム工業株式會社 (東京)

◎外國競争者

- ゼ・コンベトリリーチエン商會(英)
- ルツデウイット製作所 (シ)
- ピアレスボール商會 (米國)

◎輸入の主要原因

主として内地生産乏しき高級鋼鐵製部分品に限らる。

◎輸入防止の主要處置

原料の輸入を圓滑ならしめ、内地生産の増加を圖る事を急務とす。

三三三、船

汽船には木造船、鋼鐵船、鐵骨木皮船等の種類あり、又その使用の目的に依り旅客船、貨物船、油槽船、トロール船、捕鯨船等に區別さる。帆船にはバーク、ブリグ、カツタ、スクーナー、スループ、シツプ等の各種がある。此の他船舶には機械力に依つて運轉する石油發動機船、電氣發動汽船及び櫓權を以て操縱する小舟、或は特殊のものとして浚渫船、碎岩船、碎氷船等がある。

◎輸入税率

- (一) 機械力又は帆を以て運航するものにして船齡二〇年以下のものは一噸に付一五圓。
- (二) 同船齡二〇年以上は同二〇圓。
- (三) 其他は價額に對する一五%。

◎主要生産者

- 三菱造船株式會社 (東京)
- 株式會社東京石川島造船所(シ)
- 株式會社淺野造船所 (シ)
- 三井物産株式會社造船部(廣島)
- 株式會社川崎造船所 (神戸)
- 株式會社神戸製鋼所 (シ)

年次	國産額		輸入額	
	數量	價額	數量	價額
大正10	—隻	197,709,813圓	3隻	262,450圓
11	—	145,798,264	26	3,930,373
12	1,533	72,719,388	23	15,116,766
13	1,901	74,322,898	58	10,591,669
14	1,443	66,497,022	2,113	4,602,037
昭和1	1,956	62,608,381	29	7,166,368
2	1,433	65,930,642	19	4,131,367
3	1,890	48,894,095	25	11,059,177
4	1,921	48,968,543	8	2,474,775
5	2,038	49,376,587	2	230,595

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
北海道	615隻	780,416圓
東京	59	3,145,971
神奈川	124	15,418,055
大阪	164	5,354,325
兵庫	191	9,027,723
岡山	57	6,877,372
山口	69	674,170
長崎	21	5,032,050

主要國別輸入額(大正十四年)

國名	數量	價額
支那	1隻	161圓
英吉利	11	4,302
獨逸	2	206
伊太利	2	3,772
諾威	2	761
北米	6	1,421
加奈陀	1	164

◎主要輸入者

- 株式會社藤永田造船所 (大阪)
- 株式會社大阪鐵工所 (シ)
- 横濱船渠株式會社 (横濱)
- 浦賀船渠株式會社 (浦賀)

◎外國競争者

- 日本郵船株式會社 (東京)
 - 大阪商船株式會社 (大阪)
 - 日進海運商會 (神戸)
 - 株式會社佐藤勇太郎商店(シ)
- 主として英國及米國造船會社。

◎輸入の主要原因

新造船は主として優秀なるために輸入され、古船は比較的廉價なるため輸入さる。

◎輸入品と國産品の優劣

造船技術に於ては殆んど優劣なし

◎輸入防止の主要處置

造船業者に對して金融の便を與へ又輸入税の引上、或は造船奨勵金の交付等に依つて、直接間接に斯業の發達を圖ることが肝要である。

三三三、水管式汽罐

汽罐には艦船に使用されるもの、汽車に使用されるもの、一般工場に使用されるもの等其の種類頗る多く構造、形状、大小等種々雑多である

額 價額

- 7,605,623圓
- 6,402,695
- 2,949,103
- 5,472,767
- 5,839,270
- 4,875,281
- 2,818,471
- 3,349,590
- 2,376,404
- 3,124,470

昭和三年)

價額

- 16千圓
- 1,965
- 279
- 101
- 145
- 32
- 804

◎主要輸入者

- 株式會社藤永田造船所 (大阪)
- 汽車製造株式會社 (シ)

◎輸入税率
 (一)機械力又は帆を以て運航するものにして船齡二〇年以下のものは一噸に付一五圓。
 (二)同船齡二〇年以上は同二〇圓。
 (三)其他は價額に對する一五%。
 ◎主要生産者
 三菱造船株式會社 (東京)
 株式會社東京石川島造船所(シ)
 株式會社淺野造船所 (シ)
 三井物産株式會社造船部(廣島)
 株式會社川崎造船所 (神戸)
 株式會社神戸製鋼所 (シ)

三三三、水管式汽罐

汽罐には艦船に使用されるもの、汽車に使用されるもの、一般工場に使用されるもの等其の種類頗る多く構造、形状、大小等種々雑多であるが、輸入の主たるものは水管式汽罐である。水管式汽罐にはハイン式、スターリング式、ニコロース式、ベルویل式、ヤーロー式、ソーニークロフト式、バブコックエンドウエルコックス式等種類多く、何れも水の蒸發迅速にして高壓力に對しても破裂の危険少なく、且つ燃料を節約し得るを以て、陸上と船舶を問はず近時廣く使用さる。

◎輸入税率
 鑄鐵製汽罐は一〇〇斤に付五圓。其他は同八圓。
 ◎主要生産者
 三菱造船株式會社 (東京)
 株式會社東京石川島造船所(シ)
 株式會社淺野造船所 (シ)
 株式會社月島機械製作所(シ)
 株式會社神戸製鋼所 (神戸)
 株式會社川崎造船所 (シ)
 株式會社大阪鐵工所 (大阪)

年次	國 産 額	
	數量	價 額
大正10	—隻	197,709,813圓
11	—	145,798,264
12	1,533	72,719,388
13	1,901	74,322,898
14	1,443	66,497,022
昭和 1	1,956	62,608,381
2	1,433	65,930,642
3	1,890	48,894,095
4	1,921	48,968,543
5	2,038	49,376,587

年次	輸 入 額	
	數量	價 額
大正10	—個	7,605,623圓
11	—	6,402,695
12	765	1,531,864
13	163	695,327
14	71	280,995
昭和 1	370	287,406
2	234	1,219,123
3	313	397,035
4	348	421,806
5	327	402,518

(汽罐全體の産額)

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數量	價 額
北海道	615隻	780,416圓
東京	59	3,145,971
神奈川	124	15,418,055
大阪	164	5,354,325
兵庫	191	9,027,723
岡山	57	6,877,372
山口	69	674,170
長崎	21	5,032,050

主要國別輸入額(昭和三年)

國 名	數量	價 額
關 東 州	—	16千圓
英 吉 利	—	1,965
獨 逸	—	279
伊 太 利	—	101
瑞 西	—	145
瑞 典	—	32
北 米	—	804

◎輸入の主要原因
 新造船は主として優秀なるために輸入され、古船は比較的廉價なるため輸入さる。
 ◎輸入品と國産品の優劣
 造船技術に於ては殆んど優劣なし
 ◎輸入防止の主要處置
 造船業者に對して金融の便を與へ又輸入税の引上、或は造船獎勵金の交付等に依つて、直接間接に斯業の發達を圖ることが肝要である。
 ◎外國競争者
 スペアリングボイラー會社、エツシヤールウキス會社、ヅルツア兄弟會社、ハイネボイラー會社、バブコックスエンドウエルコックス會社
 ◎輸入の主要原因
 主として外國品崇拜に基く。
 ◎輸入品と國産品の優劣
 何れの點に於ても殆んど遜色なし
 ◎輸入防止の主要處置
 舶來品崇拜觀念の排除、汽罐取締規定の統一、研究費補助、輸入税率の改正等が緊要である。

株式會社藤永田造船所 (大阪)
 汽車製造株式會社 (シ)
 ◎主要輸入者
 三井物産株式會社 (東京)
 三菱商事株式會社 (シ)
 大倉商事株式會社 (シ)
 淺野物産株式會社 (シ)
 株式會社高田商會 (シ)
 株式會社米井商店 (シ)

三三四、鐵道機關車及炭水車

鐵道機關車は其の原動力に因り蒸氣機關車、電氣機關車、石油機關車及び壓搾空氣機關車等に區別され、何れも旅客車及貨物列車索引に用ひられるが、最も普通に使用されるは蒸氣機關車及び電氣機關車の兩種である。石油機關車は輕便鐵道等に使用され、壓搾空氣機關車は主として他の機關を使用する事危険なる坑内軌道に使用さる。炭水車は石炭及水を貯藏する機關車附屬の特殊貨車である。

◎輸入税率

蒸氣機關車は一〇〇斤に付一二圓其他の各機關車は同一五圓九〇錢炭水車は價額に對する二〇%。

◎主要生産者

- 株式會社川崎造船所 (神戸)
株式會社日立製作所 (東京)
三菱造船株式會社 (〃)
三菱電機株式會社 (〃)
株式會社芝浦製作所 (〃)
株式會社雨宮製作所 (〃)
東洋電機製造株式會社 (〃)
日本車輛製造株式會社 (名古屋)

Table with 4 columns: Year, Quantity, Domestic Value, Import Value. Rows for years 大正10-14 and 昭和1-5.

主要府縣別生産額(昭和三年)

Table with 3 columns: Prefecture Name, Quantity, Value. Rows for Tokyo, Aichi, Osaka, Hyogo, Yamaguchi, Fukuoka.

主要國別輸入額(昭和三年)

Table with 3 columns: Country Name, Quantity, Value. Rows for UK, US, Canada, India.

◎主要輸入者

- 三井物産株式會社 (東京)
株式會社高田商會 (〃)
日瑞貿易株式會社 (大阪)

◎外國競争者

- アメリカンロコモティブ會社(米)
ボールドウキンロモチーブ社(〃)
アーサー・コツペル會社(獨逸)
ゼネラル電氣會社 (米國)
ウエスチングハウス電氣會社(〃)
イングリツシユ電氣會社(英國)
ブラウンボーベリー會社(瑞西)

◎輸入の主要原因

民間鐵道會社に於ては歐米品尊重の傾向著しきためである。

◎輸入品と國産品の優劣

現今に於ては殆んど優劣なく、將來は國産品が寧ろ優良品を製出し得るであらうと期待されてゐる。

◎輸入防止の主要處置

當業者が益々生産費の低下に努めることが最も肝要視されてゐる。

三三五、スチームタービン

スチームタービンは、蒸汽の流動速度及び方向を漸次變換せしめるために生ずる動力を以て回轉力を起す一種の蒸汽機關にして船舶發電機を

Table with 2 columns: Price, Amount. Rows for various amounts from 2,292,024 to 1,024,989.

(昭和三年)

Table with 2 columns: Price, Amount. Rows for various amounts from 3千圓 to 16.

◎外國競争者

- ゼネラル電氣會社 (米國)
ウエスチングハウス電氣會社(〃)

蒸氣機關車は一〇〇斤に付一二圓
 其他の各機關車は同一五圓九〇錢
 炭水車は價額に對する二〇%。

◎主要生産者

- 株式會社川崎造船所 (神戸)
- 株式會社日立製作所 (東京)
- 三菱造船株式會社 (〃)
- 三菱電機株式會社 (〃)
- 株式會社芝浦製作所 (〃)
- 株式會社雨宮製作所 (〃)
- 東洋電機製造株式會社 (〃)
- 日本車輛製造株式會社 (名古屋)

	國 産 額	
	數量	價 額
大正10	—輛	17,664,378圓
11	—	20,617,715
12	514	16,285,099
13	243	13,921,439
14	218	10,294,412
昭和 1	231	13,453,346
2	257	13,091,554
3	287	18,893,225
4	295	19,010,384
5	308	19,185,497

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數量	價 額
東 京	25輛	184,810圓
愛 知	34	1,363,781
大 阪	86	7,291,859
兵 庫	71	6,252,580
山 口	54	3,636,535
福 岡	6	130,660

◎輸入の主要原因

民間鐵道會社に於ては歐米品尊重の傾向著しきためである。

◎輸入品と國産品の優劣

現今に於ては殆んど優劣なく、將來は國産品が寧ろ優良品を製出し得るであらうと期待されてゐる。

◎輸入防止の主要處置

當業者が益々生産費の低下に努めることが最も肝要視されてゐる。

三三五、スチームタービン

スチームタービンは、蒸汽の流動速度及び方向を漸次變換せしめるために生ずる動力を以て回轉力を起す一種の蒸汽機關にして船舶發電機を始め各種の原動力機として廣く用ひらる。而して其の蒸汽の働き方に依つて反動タービン吹付タービン及び反動吹付タービンの三種に區別され、又車軸の方向に依つて横置タービン及直立タービンの兩種に區別する。

◎輸入税率

價額に對する二〇%。

◎主要生産者

- 三菱造船株式會社 (東京)
- 株式會社東京石川島造船所(シ)
- 株式會社川崎造船所 (神戸)
- 株式會社大阪鐵工所 (大阪)
- 横須賀海軍工廠 (横須賀)
- 吳海軍工廠 (吳)
- 佐世保海軍工廠 (佐世保)
- 舞鶴海軍工作部 (舞鶴)

◎主要輸入者

ガデリユース商會 (神戸)

	國 産 額		輸 入 額	
	數量	價 額	數量	價 額
大正10	—個	—圓	—斤	2,292,024圓
11	—	—	—	1,051,664
12	765	1,543,684	460,417	498,858
13	163	695,327	1,816,376	2,297,803
14	71	280,995	848,681	1,451,561
昭和 1	370	294,506	1,879,652	2,561,983
2	234	1,251,468	1,027,795	1,241,915
3	313	397,035	242,141	244,598
4	338	399,487	896,000	825,180
5	340	387,545	1,899,900	1,024,989

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數量	價 額
宮 城	80個	13,000圓
東 京	119	29,330
新 潟	1	13,110
愛 知	42	13,030
大 阪	20	220,000
兵 庫	11	93,055

主要國別輸入額(昭和三年)

國 名	數量	價 額
英 吉 利	17擔	3千圓
獨 逸	760	52
瑞 西	1,180	127
瑞 典	381	44
北 米	83	16

◎外國競争者

- ゼネラル電氣會社 (米國)
- ウエスチングハウス電氣會社(シ)
- パーソンズ會社 (英國)
- ブリチツシユトムソン會社(シ)
- ハウストン會社 (〃)
- イングリツシユ電氣會社(シ)
- ジョンブラン電氣會社 (〃)
- エツンヤウキス會社 (瑞西)
- ブラウンボベエリー會社(シ)
- エリコン會社 (〃)
- アルゲマイネ電氣會社 (獨逸)

◎輸入の主要原因

外國品は内地品よりも廉價にして品質も相當優良なるに因る。

◎輸入品と國産品の優劣

設計及工作に於ては國産品が寧ろ優秀であるが、生産設備等の關係上輸入よりも高價である。

◎輸入防止の主要處置

生産設備を擴大して大量生産し、以て生産費の低減に努むれば輸入防止は、比較的容易である。

三三六、スチームタービン部分品

スチームタービンの部分品は其の種類頗る多きも、最も主要なるものは回轉部に附屬せる蓋圍、軸承及び胴、接續環、タンミードラム等にして、何れも鍛鐵製である。

◎輸入税率

價額に對する一五%。

◎主要生産者

- 三菱造船株式會社 (東京)
- 株式會社川崎造船所 (神戸)
- 株式會社東京石川島造船所(東京)
- 株式會社大阪鐵工所 (大阪)
- 株式會社藤永田造船所 (シ)
- 株式會社神戸製鋼所 (神戸)

◎主要輸入者

- ガ德里ユース商會 (神戸)
- イリス商會 (東京)
- エル・レイボルト商會 (シ)

◎外國競争者

- ゼネラル電氣會社 (米國)
- ウエスチングハウス電氣會社(シ)
- パーソンズ會社 (英國)
- メトロポリタンピツカース會社

年次	國産		輸入	
	數量	價額	數量	價額
大正10	—	—圓	—	824,848圓
11	—	—	—	452,309
12	—	1,146,322	—	301,842
13	—	1,160,508	—	619,162
14	—	922,692	—	304,165
昭和1	—	1,313,492	—	652,601
2	—	7,154,090	—	358,618
3	—	2,944,315	—	255,602
4	—	3,215,007	—	273,980
5	—	3,189,765	—	380,458

主要府縣別生産額 (昭和三年)

縣名	數量	價額
東京	—	1,325,710圓
神奈川	—	976,784
静岡	—	31,230
大阪	—	169,407
兵庫	—	348,994
島根	—	15,000
岡山	—	24,639
長崎	—	14,000

主要國別輸入額 (昭和三年)

國名	數量	價額
英吉利	—	11千圓
佛蘭西	—	38
獨逸	—	66
瑞典	—	47
北米	—	9
	—	81

◎輸入の主要原因

外國競争者中主として米國産品は不當廉賣をなす事、需要者中には外國品崇拜者尠なからざる事等が主因である。

輸入品と國産品の優劣

國産品製造者は技術經驗に乏しきため、各種部分品中には輸入品に及ばざるものもあるが、大體に於て遜色がない。唯々需要少く生産少く生産設備狭少なるため、輸入品よりも幾分高價である。

◎輸入防止の主要處置

現行關稅率は低きに失するを以て之を高率に引上げる事が急務である

三二七、蒸汽機關

蒸汽機關は其の構造及型式乃至用途に依り種々に區別されるが、用途上より區別すれば据付機關、船用機關、機關車の三種である、又型式上

額	價額
391,318圓	
120,830	
140,470	
31,958	
59,568	
58,294	
56,225	
52,512	
48,296	
46,549	

昭和三年	價額
8千圓	
40	
7	

◎外國競争者

- 三菱商事株式會社 (東京)
- 淺野物産株式會社 (シ)
- 大倉商事株式會社 (シ)

株式会社東京石川島造船所(東京)
 株式会社大阪鐵工所(大阪)
 株式会社藤永田造船所(シク)
 株式会社神戸製鋼所(神戸)

◎主要輸入者

ガデリユース商會 (神戸)
 イリス商會 (東京)
 エル・レイボルト商會 (シク)

◎外國競争者

ゼネラル電氣會社 (米國)
 ウエスチングハウス電氣會社(シク)
 パーソンス會社 (英國)
 メトロポリタンピツカース會社

三二七、蒸汽機關

蒸汽機關は其の構造及型式乃至用途に依り種々に區別されるが、用途上より區別すれば据付機關、船用機關、機關車の三種である、又型式上の區別は種々あるが、最も普通に使用されるものは往復式直動機關である。各種とも殆んど國産品を以て國內需要を充し得るが、尙ほ特殊なるもの、又は特殊の場合に於て僅少輸入さる。

◎輸入税率

一箇二五〇疋以下のものは一〇〇斤に付二三圓一〇錢。
 同千疋以下は同一三圓一〇錢。
 同五萬疋以下は同八圓二〇錢。
 其他は價額に對する一五%。

◎主要生産者

三菱造船株式會社 (東京)
 株式會社池貝鐵工所 (シク)
 株式會社新瀉鐵工所 (シク)
 株式會社川崎造船所 (神戸)
 株式會社大阪鐵工所 (大阪)

◎主要輸入者

三井物産株式會社 (東京)

年次	國産額		輸入額	
	數量	價額	數量	價額
大正10	—個	—圓	516,510斤	391,318圓
11	—	—	136,388	120,830
12	765	1,543,684	266,780	140,470
13	163	695,327	47,115	31,958
14	71	280,995	67,574	59,568
昭和1	370	294,506	66,123	58,294
2	234	1,251,468	63,217	56,225
3	313	397,035	60,533	52,512
4	326	417,505	54,368	48,296
5	332	434,548	52,059	46,549

年次	國産額	
	數量	價額
大正10	—	—圓
11	—	—
12	—	1,146,322
13	—	1,160,508
14	—	922,692
昭和1	—	1,313,492
2	—	7,154,090
3	—	2,944,315
4	—	3,215,007
5	—	3,189,765

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
宮城	80個	13,000圓
東京	119	29,330
新潟	1	13,110
愛知	42	13,030
大阪	20	220,000
兵庫	11	93,055

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額
英吉利	67擔	8千圓
北米	325	40
獨逸	163	7

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
東京	—	1,325,710圓
神奈川	—	976,784
静岡	—	31,230
大阪	—	169,407
兵庫	—	348,994
島根	—	15,000
岡山	—	24,639
長崎	—	14,000

外國品崇拜者尠なからざる事等が主因である。

輸入品と國産品の優劣

國産品製造者は技術經驗に乏しきため、各種部分品中には輸入品に及ばざるものもあるが、大體に於て遜色がない。唯々需要少く生産少く生産設備狭小なるため、輸入品よりも幾分高價である。

◎輸入防止の主要處置

現行關稅率は低きに失するを以て之を高率に引上げる事が急務である

三菱商事株式會社 (東京)
 淺野物産株式會社 (シク)
 大倉商事株式會社 (シク)

◎外國競争者

英國産品、米國産品及獨逸産品であるが、近時輸入激減し特殊なるものの外殆んど輸入されざる状態となりたるため、有力競争者と見做すべきものはない。

◎輸入の主要原因

本品は殆んど國産品を以て充分なる状態に在るが故に、特に輸入の原因と見做すべきものなく、内地品に比して廉價なる場合等に於てステーターピン等と共に僅少の輸入を見るに過ぎない。

◎輸入品と國産品の優劣

國産品は品質に於て輸入品に劣らず、且つ價格も普通の場合に於ては輸入品より廉價である。

◎輸入防止の主要處置

現在に於ては僅少額に過ぎざるを以て防止策の必要なし。

三二八、瓦斯・石油・及熱氣機關

瓦斯機關は點燈用石炭瓦斯、骸炭
爐瓦斯、モンド瓦斯等を燃料とし、
發電機、送風機、唧筒等の原動力機
に使用されるものにして、單動式と
複動式の兩種がある。

石油機關は揮發油、燈油、重油等
を燃料とし、主として發動機船、自
動車飛行機飛行船等の原動力機に用
ひらる。

熱氣機關は空氣を熱し其の熱勢力
に依り氣筒内の唧子に往復運動を起
さしむる機關にして、内燃機關と外
燃機關の兩種あり、主として給水唧
筒扇風機等に使用さる。

◎輸入税率

一箇百疋以下のものは一〇〇斤に
付三〇圓。
同二五〇疋以下は同二〇圓。
同一千疋以下は同一七圓七〇錢。
同一萬疋以下は同一四圓七〇錢。
其他は價格に對する二〇%。

◎主要生産者

三菱内燃機株式會社 (東京)
東京瓦斯電氣工業株式會社(シ)
株式會社新潟鐵工所 (シ)

國産額		輸入額	
數量	價額	數量	價額
大正10	—個	799,931斤	1,111,336圓
11	—	3,201,106	2,370,799
12	11,693	3,325,345	2,731,717
13	8,696	6,704,970	5,571,791
14	10,406	6,736,204	5,731,855
昭和1	18,778	6,426,760	4,398,354
2	15,307	6,788,179	5,090,732
3	19,644	11,815,485	12,842,277
4	20,187	19,958,000	18,113,303
5	21,286	17,230,000	14,476,911

(内燃機關の産額)

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
東京	2,174個	5,251,904圓
静岡	468	649,986
大阪	7,990	2,898,796
兵庫	970	6,935,905
島根	146	391,106
大分	3,065	427,555
鹿兒島	266	497,045

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額
英吉利	6,818擔	903千圓
佛蘭西	32	28
瑞西	13,871	940
瑞典	789	81
丁抹	7,948	588
伊太利	340	71
北米	82,462	6,878

◎主要輸入者

イリス商會 (東京)
セールフレーザー商會 (シ)
千早商會 (大阪)
五十嵐商會 (シ)
マックススウェル商會 (神戸)

株式會社池貝鐵工所 (東京)
株式會社神戸製鋼所 (神戸)
戸畑鑄物株式會社 (福岡)

◎外國競争者

北米産品、英國産品、瑞西産品及
デンマーク産品等の不當廉賣行は
れ、國産品と激烈に競争す。

◎輸入の主要原因

國産品は生産量少く、且つ價格高
價なることが主因である。

◎輸入品と國産品の優劣

大馬力のものゝ外國品に及ばず、
普通馬力以下のもゝは大差なし。

◎輸入防止の主要處置

關稅引下、不當廉賣の取締等が最
も急務である。

三二九、水

車

(ウオータータービン及ペルトンウイール)

ウオーター・タービンは水流を利
用して直ちに回轉運動を起さしむる
發動機にして、水の壓力に因り回轉
するものと、水の衝動に依り回轉す
るものと二種がある。壓力に依る

額	價額
1,600,301圓	
2,978,986	
3,027,934	
1,463,416	
772,718	
2,209,410	
517,011	
559,205	
1,095,931	
36,136	

昭和三年)	價額
90千圓	
347	
120	

株式會社エルレイボルト商會(シ)
日米貿易株式會社 (シ)
日瑞貿易株式會社 (大阪)
◎外國競争者

筒扇風機等を使用する。

◎輸入税率

一箇百疋以下のものは一〇〇斤に付三〇圓。
同二五〇疋以下は同二〇圓。
同一千疋以下は同一七圓七〇錢。
同一萬疋以下は同一四圓七〇錢。
其他は價格に對する二〇%。

◎主要生産者

三菱内燃機株式会社 (東京)
東京瓦斯電氣工業株式会社 (シ)
株式会社新潟鐵工所 (シ)

國 産 額
數量 價 額

大正10	—個	—圓
11	—	—
12	11,693	10,179,049
13	8,696	12,385,598
14	10,406	13,981,662
昭和 1	18,778	18,017,677
2	15,307	13,982,015
3	19,644	19,118,928
4	20,187	20,153,642
5	21,286	20,286,543

(内燃機關の産額)

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數量	價 額
東 京	2,174個	5,251,904圓
靜 岡	468	649,986
大 阪	7,990	2,898,796
兵 庫	970	6,935,905
島 根	146	391,106
大 分	3,065	427,555
鹿兒島	266	497,045

◎輸入の主要原因

デンマーク産品等の不當廉賣行はれ、國産品と激烈に競争す。國産品は生産量少く、且つ價格高價なることが主因である。

◎輸入品と國産品の優劣

大馬力のものは外國品に及ばず、普通馬力以下のものは大差なし。

◎輸入防止の主要處置

關稅引下、不當廉賣の取締等が最も急務である。

三二九、水

車

(ウオータータービン及ペルトンウイール)

ウオータータービンは水流を利用して直ちに回轉運動を起さしむる發動機にして、水の壓力に因り回轉するものと、水の衝動に依り回轉するものとの二種がある。壓力に依るものを反動タービン衝動に依るものを衝動タービンと稱す。
ペルトンウイールは衝動タービンの一種にして、比較的高き場所に適するを以て鑛山用發電機及發電機運轉等に使用さる。

◎輸入税率

一箇五千疋以下は價額の二〇%。
同一萬疋以下は百斤一五圓二〇錢
其他は同一四圓九〇錢。

◎主要生産者

株式会社電業社 (東京)
株式会社日立製作所 (シ)
三菱造船株式会社 (シ)
株式会社奥村電機商會 (京都)
(電業社は斯界の元祖として著名)

◎主要輸入者

三井物産株式会社 (東京)
大倉商事株式会社 (シ)

國 産 額
數量 價 額

大正10	—個	—圓	1,895,792斤	1,600,301圓
11	—	—	2,995,423	2,978,986
12	847	2,531,726	3,801,344	3,027,934
13	1,052	668,139	2,093,553	1,463,416
14	992	999,399	920,496	772,718
昭和 1	268	1,445,262	3,099,572	2,209,410
2	625	2,008,930	826,149	517,011
3	596	1,278,773	866,902	559,205
4	630	2,014,543	1,768,100	1,095,931
5	628	1,859,327	54,100	36,136

主要國別輸入額(昭和三年)

國 名	數量	價 額
獨 逸	1,271擔	90千圓
瑞 典	5,719	347
和 蘭	1,679	120

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數量	價 額
群 馬	50個	7,500圓
東 京	58	973,829
富 山	289	15,563
愛 知	13	4,580
大 阪	28	15,400
兵 庫	104	237,564
福 岡	32	17,715

◎外國競争者

エツシャーウイス會社 (瑞西)
テオドル・ベル會社 (シ)
フォイト會社 (獨逸)
ペーピング會社 (シ)
アリスチャルマー會社 (米國)
アイ・ビー・モリス會社(シ)
モルガンエンジニアリング(シ)
アームストロング會社 (英國)
ボーピング會社 (シ)

◎輸入の主要原因

主として外國品尊重の傳統的觀念去らざるに基く。

◎輸入品と國産品の優劣

輸入品中には優秀なるものもあるが、國産品は最も好く本邦の河川に適當し、實用的價値に於て輸入品よりも優秀である。

◎輸入防止の主要處置

關稅を高率に引上げ、徹底的に輸入防遏策を講ずる事が緊要である。

三三〇、電氣機械

電氣機械の中最も主要なるものは發電機、電動機、變壓機、變流機、周波類變換機、回轉數變相機等である。發電機は機械的エネルギーを電氣的に變ぜしむる機械、電動機はその反對即ち電氣的エネルギーを機械的に變ぜしむる機械、變壓機は電壓を上下する機械、變流機は交流電氣を直流に又は直流電氣を交流に變ぜしむる機械である。

◎輸入税率

一箇二五疋以下は一〇〇斤に付四二圓四〇錢（以下一五圓八〇錢迄各種詳細規定略す）。

◎主要生産者

- 株式会社日立製作所 (東京)
- 株式会社芝浦製作所 (〃)
- 株式会社明電舎 (〃)
- 株式会社小穴製作所 (〃)
- 三菱電機株式会社 (〃)
- 電業社原動機製作所 (〃)
- 株式会社安中電機製作所 (〃)
- 株式会社奥村電機商會 (京都)
- 株式会社川北電機製作所 (大阪)
- 株式会社大阪變壓機製作所 (〃)

	國産額		輸入額	
	數量	價額	數量	價額
大正10	—個	58,287,612圓	7,936,363斤	9,664,446圓
11	—	32,712,622	11,765,796	11,947,498
12	40,287	14,203,077	13,052,598	10,834,686
13	36,626	13,533,719	21,283,678	20,978,224
14	44,398	29,142,595	11,276,187	11,981,351
昭和1	51,080	23,661,235	6,208,775	6,416,372
2	61,131	21,299,433	7,000,760	5,741,506
3	66,900	20,421,677	6,208,775	6,416,372
4	67,543	23,522,098	7,719,317	6,832,409
5	72,899	28,597,007	3,044,363	3,538,611

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
茨城	1,568個	2,328,246圓
東京	35,929	5,408,744
神奈川	6,306	5,786,934
京都	4,486	671,048
大阪	7,333	1,521,899
兵庫	2,627	1,676,057
長崎	1,255	2,182,837

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額
英吉利	9,928擔	911千圓
佛蘭西	151	36
獨逸	10,878	1,378
瑞典	6,068	335
瑞典	702	75
丁抹	182	13
北米	34,043	3,637

株式会社川崎造船所 (神戸)
株式会社安川電機製作所(福岡)

◎主要輸入者

- 三井物産株式会社 (東京)
- 三菱商事株式会社 (〃)
- 大倉商事株式会社 (〃)
- 日瑞貿易株式会社 (大阪)

◎外國競争者

- ゼネラル電氣會社 (米國)
- ウエスチングハウス電氣會社(〃)
- シーメンス電氣會社 (獨逸)
- ハウストン會社 (英國)
- ブリチツシュトムソン會社(〃)
- メトロポリタン會社 (〃)

◎輸入の主要原因

特殊品の外は多く因襲的外國品尊重者の需要に基く。

◎輸入品と國産品の優劣

輸入品に劣らず而も廉價である。

◎輸入防止の主要處置

國産品に對する誤れる觀念を打破することが最も急務である。

三三一、原動力機と結合せる發電機

原動力機と結合せる發電機には、スチームタービンと結合せるもの、蒸汽機關と結合せるもの、瓦斯機關と結合せるもの、或は石油機關、熱

昭和三年) 價額

23千圓
2
33
174
115

- 株式会社大阪鐵工所 (大阪)
- 株式会社宇治川鐵工所 (〃)
- 株式会社奥村電機商會 (京都)
- 株式会社神戸製鋼所 (神戸)

- オリコン會社 (獨逸)
- イングリツシュ電氣會社(英國)
- シー・エー・パーソン會社(〃)
- ブリテツシュトムソン會社(〃)

一箇二五疋以下は一〇〇斤に付四
二圓四〇錢（以下一五圓八〇錢迄
各種詳細規定略す）。

◎主要生産者

- 株式会社日立製作所 (東京)
- 株式会社芝浦製作所 (〃)
- 株式会社明電舎 (〃)
- 株式会社小穴製作所 (〃)
- 三菱電機株式会社 (〃)
- 電業社原動機製作所 (〃)
- 株式会社安中電機製作所 (〃)
- 株式会社奥村電機商會 (京都)
- 株式会社川北電機製作所 (大阪)
- 株式会社大阪變壓機製作所 (〃)

國産額

年次	數量	價額
大正10	—個	58,287,612圓
11	—	32,712,622
12	40,287	14,203,077
13	36,626	13,533,719
14	44,398	29,142,595
昭和1	51,080	23,661,235
2	61,131	21,299,433
3	66,900	20,421,677
4	67,543	23,522,098
5	72,899	28,597,007

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
茨城	1,568個	2,328,246圓
東京	35,929	5,408,744
神奈川	6,306	5,786,934
京都	4,486	671,048
大阪	7,333	1,521,899
兵庫	2,627	1,676,057
長崎	1,255	2,182,837

◎輸入の主要原因

特殊品の外は多く因襲的外國品尊重者の需要に基く。

◎輸入品と國産品の優劣

輸入品に劣らず而も廉價である。

◎輸入防止の主要處置

國産品に對する誤れる觀念を打破することが最も急務である。

三三一、原動力機と結合せる發電機

原動力機と結合せる發電機には、
スチームタービンと結合せるもの、
蒸汽機關と結合せるもの、瓦斯機關
と結合せるもの、或は石油機關、熱
氣機關と結合せるもの等がある。

蒸汽機關と結合せるものは、發電
機の軸と蒸汽機關の軸とが直接連結
せるものと、同一板上に据付けて連
結せしめたるものとの兩種あり、何
れも電車、唧筒、捲揚機、起重機其
他各種機械の原動力機として用ひら
る。スチームタービンと連結せるも
のは、發電機の軸とスチームタービ
ンの軸とが直接連結し、其の用途は
前者と同様である。

◎輸入税率

スチームタービンと連結せるもの
は價額に對する二〇%。
其他は同二五%。

◎主要生産者

- 株式会社日立製作所 (東京)
- 三菱電機株式会社 (〃)
- 東洋電機製造株式会社 (〃)
- 株式会社東京石川島造船所 (〃)
- 富士電機製造株式会社 (〃)

主要國別輸入額(昭和三年)

年次	輸入額		主要國別輸入額	
	數量	價額	國名	價額
大正10	—斤	640,300圓	英吉利	23千圓
11	—	877,057	佛蘭西	2
12	—	524,524	獨逸	33
13	—	367,684	瑞西	174
14	—	901,129	北米	115
昭和1	1,384,665	662,360		
2	1,870,802	1,186,502		
3	294,335	349,421		
4	1,142,723	1,325,975		
5	1,234,121	1,199,824		

◎主要輸入者

- 株式会社大阪鐵工所 (大阪)
- 株式会社宇治川鐵工所 (〃)
- 株式会社奥村電機商會 (京都)
- 株式会社神戸製鋼所 (神戸)
- 株式会社川崎造船所 (〃)

◎外國競争者

- ウエスチングハウス電氣會社(米)
- ゼネラル電氣會社 (〃)
- アリスチャーマー會社 (〃)
- カー會社 (〃)
- シーメンス會社 (獨逸)
- エー・イー・デー會社 (〃)
- タイセン會社 (〃)
- ベルグマン會社 (〃)

◎輸入の主要原因

需要者の因襲的舶來品尊重の觀念に依る場合、外國會社が在庫品を投資する場合等が主たるものである。

◎輸入品と國産品の優劣

過去の製品は何れも輸入品が優秀であるが、現今製造されつゝある國産品は輸入品に比して何等遜色なく却つて輸入品以上の優秀品も少なくない。唯外國製品會社は巨資を擁し大量生産する爲め、價格に於て國産品を壓倒し得る可能性がある。

◎輸入防止の主要處置

國産振興を圖るため優秀生産者を直接保護すると共に、關稅に依つて間接に保護し、且つ國産品の愛用を宣傳する事等が急務である。

三三三二、起重機

起重機は十數種類あり各々その構造及形式を異にす。何れも鑄鐵又は鋼鐵を以て製したるものにして、之を運轉する動力に依つて區別すれば手力起重機、蒸氣起重機、水壓起重機、空氣起重機及び電氣起重機等である。

◎輸入税率

原動力機と結合せるものは一〇〇斤に付一二圓一〇錢。
其他は同一〇圓一〇錢。

◎主要生産者

- 株式会社日立製作所 (東京)
- 株式会社東京石川島造船所(〳)
- 三井鑛山株式会社 (〳)
- 安治川鐵工所 (大阪)
- 鳥羽造船所 (三重)
- 株式会社神戸製鋼所 (神戸)
- ◎主要輸入者
- 三井物産株式会社 (東京)
- 三菱商事株式会社 (〳)
- 大倉商事株式会社 (〳)
- 淺野物産株式会社 (〳)
- 日瑞貿易株式会社 (大阪)

三三三三、捲揚機

捲揚機には種類頗る多く、キャブスタイン、ウインチ、ウインドラス等は其の主たるものである。
キャブスタインは船舶の錨捲揚げ坑内作業等に使用されるものにして

額	價額
670,711圓	
635,224	
379,400	
1,043,918	
660,392	
728,552	
529,700	
584,699	
1,347,797	
1,215,945	

國産額		輸入額	
數量	價額	數量	價額
大正10	—個	1,980,000斤	1,034,439圓
11	—	1,346,299	771,306
12	1,674	3,109,458	2,055,000
13	11,368	1,383,986	827,732
14	15,055	968,456	588,911
昭和1	9,847	1,439,425	808,600
2	2,325	171,432	96,603
3	7,777	500,773	279,085
4	7,890	926,200	479,137
5	7,954	471,600	300,896

(聯送機及運搬機を含む)

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
埼玉	259個	108,000圓
東京	493	2,187,772
石川	28	78,424
愛知	66	70,304
大阪	1,119	2,955,476
兵庫	4,351	742,953
福岡	422	434,664

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額
英吉利	2,178擔	120千圓
獨逸	1,178	49
北米	1,652	109

◎外國競争者

- ブランホイス會社 (米國)
- ブラウニング會社 (〳)
- ストーサピット會社 (〳)
- クレブンプラザー會社 (英國)
- アツプレビー會社 (〳)
- プリーストマン會社 (〳)

◎輸入の主要原因

普通型以下のものは國産豊富であるが、特殊大型物は製作困難なるに拘はらず國內需要は狭小なる範圍に限られ、到底採算不可能なるため内地生産品なく、今尙ほ輸入に仰がざるを得ざる状態である。

◎輸入品と國産品の優劣

歐洲大戰勃發後急激に發達せる本邦起重機製作は、今や二百噸内外のものより小型機に至る各種優良品を製出し、特殊大型物以外は外國品に比して毫も遜色がない。

◎輸入防止の主要處置

特殊型以外の輸入關稅を引上げ、普通品輸入を徹底的に防止すべし。

◎主要輸入者

- 三井物産株式会社 (東京)
- 株式会社高田商會 (〳)
- 米井商店 (〳)

◎主要生産者

株式会社日立製作所 (東京)
株式会社東京石川島造船所 (シ)
三井鑛山株式会社 (シ)
安治川鐵工所 (大阪)
鳥羽造船所 (三重)
株式会社神戸製鋼所 (神戸)

◎主要輸入者

三井物産株式会社 (東京)
三菱商事株式会社 (シ)
大倉商事株式会社 (シ)
淺野物産株式会社 (シ)
日瑞貿易株式会社 (大阪)

大正10 11 12 13 14 昭和1 2 3 4 5	國産額	
	數量	價額
—	—個	—圓
12	1,674	1,575,743
13	11,368	2,182,262
14	15,055	3,199,333
昭和1	9,847	8,727,437
2	2,325	4,369,902
3	7,777	6,757,231
4	7,890	6,789,437
5	7,954	6,797,540

(聯送機及運搬機を含む)

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
埼玉	259個	108,000圓
東京	493	2,187,772
石川	28	78,424
愛知	66	70,304
大阪	1,119	2,955,476
兵庫	4,351	742,953
福岡	422	434,664

限られ、到底採算不可能なるため内地生産品なく、今尚ほ輸入に仰がざるを得ざる状態である。

◎輸入品と國産品の優劣

歐洲大戰勃發後急激に發達せる本邦起重機製作は、今や二百噸内外のものより小型機に至る各種優良品を製出し、特殊大型物以外は外國品に比して毫も遜色がない。

◎輸入防止の主要處置

特殊型以外の輸入關稅を引上げ、普通品輸入を徹底的に防止すべし。

三三三三、捲揚機

捲揚機には種類頗る多く、キャブスタイン、ウインチ、ウインドラス等は其の主たるものである。キャブスタインは船舶の錨捲揚げ坑内作業等に使用されるものにして木製又は鐵製である。ウインチ及びウインドラスは共に貨物の積卸し、或は建築の際材料の捲揚げ等に使用さる。

◎輸入稅率

原動機力と結合したるものにして一箇の重量一千疋以下のものは、一〇〇斤に付二一圓八〇錢。同五千疋以下は同一八圓四〇錢。其他は同一四圓。原動力機と結合せざるものは一〇〇斤に付一〇圓三〇錢。

◎主要生産者

株式会社日立製作所 (東京)
株式会社東京石川島造船所 (シ)
株式会社櫻田機械製造所 (シ)
月島機械株式会社 (シ)
三井鑛山株式会社 (シ)
三菱造船株式会社 (シ)
幸袋機械製作所 (福岡)

大正10 11 12 13 14 昭和1 2 3 4 5	國産額		輸入額	
	數量	價額	數量	價額
—	—個	—圓	972,586斤	670,711圓
11	—	—	628,341	635,224
12	1,674	1,575,743	436,115	379,400
13	11,368	2,182,262	1,199,672	1,043,918
14	5,055	3,199,333	738,068	660,392
昭和1	9,847	8,727,437	952,905	728,552
2	2,325	4,369,902	663,389	529,700
3	7,777	6,757,231	722,013	584,699
4	7,890	6,789,437	1,918,100	1,347,797
5	7,954	6,797,540	2,002,900	1,215,945

(起重機及運搬機を含む)

主要國別輸入額(昭和三年)

縣名	數量	價額	國名	數量	價額
埼玉	259個	108,000圓	英吉利	3,037擔	164千圓
東京	493	2,187,772	獨逸	1,803	156
石川	28	78,424	瑞西	429	20
愛知	66	70,304	和蘭	15	1
大阪	1,119	2,955,476	北米	1,934	241
兵庫	4,351	742,953			
福岡	422	434,664			

◎主要輸入者

三井物産株式会社 (東京)
株式会社高田商會 (シ)
米井商店 (シ)
大倉商事株式会社 (シ)
日瑞貿易株式会社 (大阪)

◎外國競爭者

ブランホイス會社 (米國)
ノードベルグ製造會社 (シ)
ブリス會社 (シ)
アルゲマイネ電氣會社 (獨逸)
ケンプ會社 (シ)
プリーストマン會社 (英國)

◎輸入の主要原因

一千馬力以上のものは國産品少きために輸入さる。

◎輸入品と國産品の優劣

大容量のものは國産品少く、普通容量のものは輸入品に劣らな。

◎輸入防止の主要處置

國産の振興、需要者の國産愛用、關稅の引上等に俟つ外なし。

三三四、氣體壓縮器

氣體壓縮機の中主たるものは空氣壓縮機、酸素壓縮機、炭酸ガス壓縮機、アンモニア壓縮機等である。各機共構造は大同小異にして、氣筒内に働く唧筒の作用に依つて氣體を壓縮する仕掛けである。

◎輸入税率

一箇一千疋以下のものは一〇〇斤に付二五圓四〇錢。
同五千疋以下は同一九圓二〇錢。
同一萬疋以下は同一圓三〇錢。
其他は同九圓一五錢。

◎主要生産者

- 株式會社日立製作所 (東京)
- 株式會社東京石川島造船所 (〳)
- 東京瓦斯電氣工業株式會社 (〳)
- 三國鐵工所 (大阪)
- 安治川鐵工所 (〳)
- ◎主要輸入者
- 三井物産株式會社 (東京)
- 米國貿易株式會社 (〳)
- カデリユース商會 (〳)
- 東洋工業社 (〳)
- ホーン株式會社 (大阪)

	國 産 額		輸 入 額	
	數 量	價 額	數 量	價 額
大正10	—個	—圓	1,533,183斤	1,335,052圓
11	—	—	2,252,129	1,768,778
12	3,814	383,891	3,034,417	2,393,999
13	80,100	3,130,779	2,509,580	2,443,860
14	91,948	3,241,005	1,663,964	1,759,933
昭和 1	69,001	2,327,097	2,272,635	1,970,851
2	35,508	1,407,917	1,836,343	1,637,075
3	2,602	1,551,576	1,845,866	1,979,660
4	3,894	1,658,236	3,011,400	2,539,905
5	4,205	1,870,187	2,546,700	2,024,204

(送風機を含む)

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數 量	價 額
埼玉	144個	83,600圓
東京	443	213,054
大阪	1,513	447,318
兵庫	319	459,589
廣島	5	97,153
福岡	17	41,321
長崎	139	174,776

主要國別輸入額(昭和三年)

國 名	數 量	價 額
英吉利	1,376擔	90千圓
佛蘭西	460	75
獨逸	1,715	203
瑞典	1,847	194
瑞典	135	7
丁抹	543	42
北米	13,034	1,358

◎外國競争者

- インゲルソルランド會社(米國)
- サリバン會社 (〳)
- シカゴニウマチツクツール會社
- アレイエ・エンド・マクレラン會社 (英國)
- デマーク會社 (獨逸)
- アルゲマイネ電氣會社 (〳)

◎輸入の主要原因

氣體壓縮機は比較的近年迄専ら輸入品のみが使用され、國産品は絶無であつた。近時漸く國産品を見るに至つたが尙ほ未だ需要を充すに足らざるため國內需要の過半は輸入に仰がざるを得ざる状態である。

◎輸入品と國産品の優劣

構造その他に於て殆んど輸入品に劣らないが、大量生産されざるため価格は概ね輸入品より割高である。

◎輸入防止の主要處置

製造材料の研究、生産費の低下等に劣め、政府は關稅其他の保護に因つて斯業の基礎確立に劣力すべし。

三三五、唧筒

唧筒には手力に依る手動ポンプと蒸汽、電氣、或は風力、壓搾空氣等を原動力とする機力ポンプの二種がある。更に其の作用上より區別すれば、大氣の壓力を利用する及湯ポン

額	價 額
1,991,377圓	
1,391,078	
1,252,181	
1,949,288	
1,568,618	
1,670,365	
1,512,315	
1,241,416	
2,017,500	
1,883,829	

價 額
229千圓
76
206
10
167
30
28
485

(消防用移動唧筒)

- 東京瓦斯電氣工業株式會社(東京)
- 合名會社市原唧筒諸機械製作所
- 日本自動車株式會社 (〳)
- 株式會社東京石川島造船所(〳)

其他は同九圓一五錢。

◎主要生産者

- 株式会社日立製作所 (東京)
- 株式会社東京石川島造船所(シ)
- 東京瓦斯電気工業株式会社(シ)
- 三國鐵工所 (大阪)
- 安治川鐵工所 (シ)

◎主要輸入者

- 三井物産株式会社 (東京)
- 米國貿易株式会社 (シ)
- カデリユース商會 (シ)
- 東洋工業社 (シ)
- ホーン株式会社 (大阪)

國産額

年	數量	價額
大正10	—個	—圓
11	—	—
12	3,814	383,891
13	80,100	3,130,779
14	91,948	3,241,005
昭和1	69,001	2,327,097
2	35,508	1,407,917
3	2,602	1,551,576
4	3,894	1,658,236
5	4,205	1,870,187

(送風機を含む)

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
埼玉	144個	83,600圓
東京	443	213,054
大阪	1,513	447,318
兵庫	319	459,589
廣島	5	97,158
福岡	17	41,321
長崎	139	174,776

◎輸入品と國産品の優劣

構造その他に於て殆んど輸入品に劣らないが、大量生産されざるため価格は概ね輸入品より割高である。

◎輸入防止の主要處置

製造材料の研究、生産費の低下等に劣め、政府は關稅其他の保護に因つて斯業の基礎確立に劣力すべし。

三三五、唧筒

筒

唧筒には手力に依る手動ポンプと蒸氣、電氣、或は風力、壓搾空氣等を原動力とする機力ポンプの二種がある。更に其の作用上より區別すれば、大氣の壓力を利用する吸揚ポンプ、水に壓力を加へて押揚げる押揚ポンプ、及び圓板、車輪等を急回轉せしめて水を移動せしむる回轉ポンプ(離心動ポンプ)の三種である。

◎輸入稅率

- (一)鐵製唧筒(一箇百疋以下は一〇〇斤に付一八圓七〇錢。五百疋以下は同一四圓三〇錢、五千疋以下は同一三圓四〇錢、一萬疋以下は同一〇圓一〇錢。其他一五%)
- (二)鐵製以外の唧筒は價額の二〇%

◎主要生産者

- (上水道及鑛山用据付唧筒)
- 株式会社日立製作所 (東京)
- 株式会社荏原製作所 (シ)
- 三菱造船株式会社 (シ)
- 宇野澤組鐵工所 (シ)
- 株式会社芝浦製作所 (シ)
- 株式会社奥村電機商會 (京都)
- 株式会社川崎造船所 (神戸)

國産額

年	數量	價額
大正10	—個	6,934,899圓
11	—	13,145,657
12	718,860	6,117,961
13	129,993	7,148,051
14	95,464	6,810,845
昭和1	97,692	7,689,727
2	94,100	7,863,534
3	114,450	9,812,981
4	146,291	9,234,510
5	149,567	9,658,297

輸入額

年	數量	價額
大正10	—斤	1,991,377圓
11	—	1,391,078
12	1,438,219	1,252,181
13	1,473,008	1,949,288
14	1,245,607	1,568,618
昭和1	1,639,213	1,670,365
2	1,606,687	1,512,315
3	1,086,613	1,241,416
4	1,717,139	2,017,500
5	1,832,305	1,883,829

主要府縣別生産額

縣名	數量	價額
栃木	392個	714,000圓
埼玉	7,845	192,325
東京	17,747	3,936,030
愛知	54,079	279,173
大阪	15,003	3,295,026
兵庫	761	646,095
福岡	281	141,771

主要國別輸入額

國名	數量	價額
英吉利	2,072擔	229千圓
佛蘭西	391	76
獨逸	1,734	206
伊太利	121	10
瑞典	1,678	167
瑞典	188	30
丁抹	276	28
北米	4,362	485

◎主要輸入者

- 三井物産株式会社 (東京)
- (消防用移動唧筒)
- 東京瓦斯電気工業株式会社(東京)
- 合名會社市原唧筒諸機械製作所(シ)
- 日本自動車株式会社 (シ)
- 株式会社東京石川島造船所(シ)
- 帝國唧筒株式会社 (シ)
- 東洋消防機製作所 (シ)
- 森田唧筒製作所 (大阪)

◎外國競争者

- ズルツアブラザリス會社(瑞西)
- エツンヤウイス會社 (シ)
- アレーン會社 (英國)
- ドライスデール會社 (シ)

◎輸入品と國産品の優劣

自動車唧筒其他の高級品は未だ外國品に及ばないが、普通品に於ては國産品が優良である。

◎輸入防止の主要處置

國産品の實質的價値を普く知らしめ、且つ特殊品以外の輸入稅を高率に引上げることが肝心である。

三三六、送風機

送風機は製鐵工場の鑄鑪、鍛冶爐、冶金爐等の通風、汽罐の強迫通風、或は坑内の通風等に使用されるものにして、其の種類頗る多く最も普く使用されるは扇風機、回轉式送風機、往復送風機の三種である。更に扇風機には遠心扇風機と螺旋扇風機の兩種、送風機にはレイト送風機その他の各型式がある。夏季家庭用の電氣扇風機は螺旋式扇風機の最も簡單輕小なるものである。

◎輸入税率

價額に對する二〇%。

◎主要生産者

- 株式會社日立製作所 (東京)
- 株式會社東京石川島造船所(〳)
- 三菱造船株式會社 (〳)
- 株式會社芝浦製作所 (〳)
- 三菱電機株式會社 (〳)
- 株式會社川崎造船所 (神戸)
- 株式會社神戸製鋼所 (〳)
- 株式會社奥村電機商會 (京都)
- 富士電機株式會社 (川崎)
- 中島製作所 (大阪)

	國 産 額		輸 入 額	
	數量	價 額	數量	價 額
大正10	—個	—圓	—斤	262,747圓
11	—	—	—	241,005
12	3,814	383,891	259,340	296,187
13	80,100	3,130,779	1,238,163	1,245,897
14	91,948	3,241,105	510,064	676,548
昭和 1	69,001	2,327,097	652,845	684,794
2	35,508	1,407,917	342,883	412,535
3	2,602	1,551,576	478,656	565,763
4	3,894	1,658,236	2,385,813	1,464,357
5	4,205	1,870,187	2,253,846	1,436,258

(氣體壓縮機を含む)

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數量	價 額
埼玉	144個	83,600圓
東京	443	213,244
大阪	1,513	447,318
兵庫	319	306,124
廣島	5	97,158
福岡	17	41,321
長崎	139	174,776

主要國別輸入額(昭和三年)

國 名	數量	價 額
英吉利	1,826擔	144千圓
佛蘭西	19	2
獨逸	717	78
白耳義	20	5
瑞典	695	126
瑞典	37	3
丁抹	10	2
北米	1,423	201

◎主要輸入者

- 三井物産株式會社 (東京)
- 株式會社高田商會 (〳)

◎外國競争者

- スタルトベント會社 (米國)
- クレアレーヂ・ファン會社(〳)
- アメリカン・プロアー會社(〳)
- パファロー・フォーチ會社(〳)
- ニューヨーク・プロア會社(〳)
- ゼネラル電氣會社 (〳)
- ウエスチングハウス電氣會社(〳)
- シーメンズシュケルト會社(獨)
- グリーンフューエル會社(英國)

◎輸入の主要原因

特殊品は採算不能にして國內生産少く、且つ高價なるに基く。

◎輸入品と國産品の優劣

普通品は品質價格略同様であるが特殊品は輸入品より高價である。

◎輸入防止の主要處置

生産奨励金、關稅引上の兩方面より生産者を保護する事が必要である

三三七、金屬工及木工機械

金屬工機械は金屬機械器具類の製作、或は仕上加工等に使用する機械にして、其の主たるものは旋盤、鑽孔機旋削機、旋刀機等である。

額	價 額
10,976,988圓	
6,521,357	
3,808,422	
7,747,156	
5,744,645	
3,042,575	
4,985,827	
4,381,878	
5,624,385	
4,841,017	

昭和三年)

價 額
459千圓
128
1,300
16
148
2,283

- 三菱商事株式會社 (〳)
- 淺野物産株式會社 (〳)
- 帝國貿易株式會社 (〳)
- 日瑞貿易株式會社 (大阪)

價額に對する二〇%。

◎主要生産者

- 株式會社日立製作所 (東京)
- 株式會社東京石川島造船所 (〃)
- 三菱造船株式會社 (〃)
- 株式會社芝浦製作所 (〃)
- 三菱電機株式會社 (〃)
- 株式會社川崎造船所 (神戸)
- 株式會社神戸製鋼所 (〃)
- 株式會社奥村電機商會 (京都)
- 富士電機株式會社 (川崎)
- 中島製作所 (大阪)

國産額

年次	數量	價額
大正10	—個	—圓
11	—	—
12	3,814	383,891
13	80,100	3,130,779
14	91,948	3,241,105
昭和1	69,001	2,327,097
2	35,508	1,407,917
3	2,602	1,551,576
4	3,894	1,658,236
5	4,205	1,870,187

(氣體壓縮機を含む)

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
埼玉	144個	83,600圓
東京	443	213,244
大阪	1,513	447,318
兵庫	319	306,124
廣島	5	97,158
福岡	17	41,321
長崎	139	174,776

◎輸入の主要原因

特殊品は採算不能にして國內生産少く、且つ高價なるに基く。

◎輸入品と國産品の優劣

普通品は品質價格略同様であるが特殊品は輸入品より高價である。

◎輸入防止の主要處置

生産奨励金、關稅引上の兩方面より生産者を保護する事が必要である

三三七、金屬工及木工機械

金屬工機械は金屬機械器具類の製作、或は仕上加工等に使用する機械にして、其の主たるものは旋盤、鑽孔機旋削機、旋刀機等である。木工機械は製材その他に使用する各種機械を謂ひ、鋸切機、木工旋盤削平機其他種類頗る多し。

◎輸入稅率

一箇の重量二五疋以下のものは一〇〇斤に付八四圓四〇錢。百疋以下五二圓六〇錢、五百疋以下三〇圓五〇錢、一疋以下二四圓二〇錢五千疋以下一八圓五〇錢、二萬疋以下一六圓、五萬疋以下九圓、其他八圓。

◎主要生産者

- 株式會社池貝鐵工所 (東京)
- 株式會社新瀉鐵工所 (〃)
- 大隈鐵工所 (〃)
- 東京瓦斯電氣工業株式會社 (〃)
- 汽車製造株式會社 (大阪)
- 株式會社唐津鐵工所 (福岡)

◎主要輸入者

- 三井物産株式會社 (東京)

輸入額

年次	數量	價額	數量	價額
大正10	—	12,323,665圓	119,317擔	10,976,988圓
11	—	9,182,967	68,497	6,521,357
12	—	6,891,078	45,120	3,808,422
13	—	11,633,896	84,034	7,747,156
14	—	9,072,825	53,633	5,744,645
昭和1	—	8,443,303	29,626	3,042,575
2	—	10,101,868	7,389,047	4,985,827
3	—	9,562,207	3,878,240	4,381,878
4	—	9,871,500	6,093,846	5,624,385
5	—	10,200,156	4,250,477	4,841,017

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額
英吉利	4,331擔	459千圓
佛蘭西	1,441	128
獨逸	20,115	1,300
伊太利	64	16
瑞西	533	148
北米	12,032	2,283

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
北海道	—	186,185圓
東京	—	2,990,233
静岡	—	180,162
愛知	—	798,563
大阪	—	3,086,936
兵庫	—	195,697
廣島	—	479,357
佐賀	—	826,400

◎外國競争者

- 三菱商事株式會社 (〃)
- 淺野物産株式會社 (〃)
- 帝國貿易株式會社 (〃)
- 日瑞貿易株式會社 (大阪)
- 海軍省 (東京)

◎輸入の主要原因

一般に價格低廉なるに因る。

◎輸入品と國産品の優劣

品質價格共に未だ輸入品に及ばず且つ特殊品は内地生産僅少である。

◎輸入防止の主要處置

輸入稅率の改正、特殊機械生産者の保護等が急務である。

三三八、紡績機械

紡績機械には綿糸紡績用、絹糸紡績用、毛糸紡績用、麻糸紡績用等の各種あり、又各種とも準備機械より整理機械に至る迄各工程に應じて各種類がある。

◎輸入税率

一〇〇斤に付——六圓九〇錢。

◎主要生産者

- 豊田式織機株式会社 (名古屋)
- 株式会社豊田式自動織機製作所 (シ)
- 株式会社大阪機械工作所(大阪)

◎主要輸入者

- 三井物産株式会社 (東京)
- 三菱商事株式会社 (シ)
- 浅野物産株式会社 (シ)
- 株式会社高田商會 (シ)

◎外國競争者

- プラット兄弟會社 (英國)
- アサリス會社 (シ)
- ジョセフヘザリングトン會社(シ)
- トイードル・スマレー會社(シ)
- ハワードアンドプロフ會社(シ)

年次	國産額		輸入額	
	數量	價額	數量	價額
大正10	—	21,009,922圓	551,763擔	29,180,085圓
11	—	11,481,090	424,815	30,596,030
12	—	16,923,574	327,269	22,690,053
13	—	17,518,680	178,478	12,049,586
14	—	19,360,226	96,026	7,707,043
昭和1	—	18,883,435	136,672	8,166,775
2	—	21,344,424	156,264	10,204,753
3	—	23,804,281	200,552	10,431,087
4	—	24,105,294	277,211	14,486,612
5	—	26,287,105	143,839	6,365,232

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
東京	—	702,644圓
石川	—	881,748
静岡	—	1,029,255
愛知	—	7,567,016
京都	—	545,811
大阪	—	9,398,500
兵庫	—	1,303,590
和歌山	—	731,177

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額
英吉利	178,136擔	8,337千圓
佛蘭西	5,957	442
獨逸	12,543	1,159
白耳義	73	5
伊太利	772	68
瑞西	373	24
奧地利	53	38
北米	2,531	350

◎輸入の主要原因

本邦に於ける紡績機械製作は十數年の歴史を有するに過ぎず、それ以前に輸入されたるものは大部分英國製品にして、紡績會社が事業擴張等の場合には従來の機械と同型の機械即ち主として英國製の機械を便利とする事。本邦に於ける生産設備は規模狭少にして、大紡績會社の大量注文を短期間に生産する能力なき事等が主因である。

◎輸入品と國産品の優劣

紡績機械の部分品製造は相當發達せるも、機械全體を一貫製造するもの少く、且つ材料鋼その他の關係上未だ外國品に及ばざるものが多い。

◎輸入防止の主要處置

需要者と生産者が提携し、本工業の發達を圖る事が最も肝要である。

三三九、織布機械

織布機は手力に依る手織機と動力に依る力織機との兩種があるが、現今使用されるものは大部分力織機にして、織布の種類に應じて綿布機、毛布機、絹布機、麻布機等の各種が

價額
2,973,016圓
1,333,340
1,335,484
816,413
608,239
569,574
366,281
427,747
637,061
270,009

(昭和三年)

價額
14千圓
1
259
123
29

◎主要輸入者

- 三井物産株式会社 (東京)
- 三菱商事株式会社 (シ)
- 株式会社高田商會 (シ)

株式会社大阪機械工作所(大阪)

◎主要輸入者

三井物産株式会社 (東京)
 三菱商事株式会社 (〃)
 浅野物産株式会社 (〃)
 株式会社高田商會 (〃)

◎外國競争者

プラット兄弟會社 (英國)
 アサリース會社 (〃)
 ジョセフヘザリングトン會社(〃)
 トイードル・スマレー會社(〃)
 ハワードアンドブロー會社(〃)

國産額

年次	數量	價額
大正10	—	21,009,922圓
11	—	11,481,090
12	—	16,923,574
13	—	17,518,680
14	—	19,360,226
昭和1	—	18,883,435
2	—	21,344,424
3	—	23,804,281
4	—	24,105,294
5	—	26,287,105

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
東京	—	702,644圓
石川	—	881,748
静岡	—	1,029,255
愛知	—	7,567,016
京都	—	545,811
大阪	—	9,398,500
兵庫	—	1,303,590
和歌山	—	731,177

する事。本邦に於ける生産設備は規模狭小にして、大紡績會社の大量注文を短期間に生産する能力なき事等が主因である。

◎輸入品と國産品の優劣

紡績機械の部分品製造は相當發達せるも、機械全體を一貫製造するもの少く、且つ材料鋼その他の關係上未だ外國品に及ばざるものが多い。

◎輸入防止の主要處置

需要者と生産者が提携し、本工業の發達を圖る事が最も肝要である。

三三九、織布機械

織布機は手力に依る手織機と動力に依る力織機との兩種があるが、現今使用されるものは大部分力織機にして、織布の種類に應じて綿布機、毛布機、絹布機、麻布機等の各種がある。更に特殊織物用としては紋織物に使用するドビー機、或はジャカード機等がある。

◎輸入税率

金屬製は一〇〇斤に付五圓八五錢
 其他は價額に對する一五%。

◎主要生産者

豊田式織機株式会社 (名古屋)
 株式会社豊田式自動織機製作所 (〃)
 野上式織機株式会社 (〃)
 古橋機工廠 (〃)
 平岩鐵工所 (〃)
 鈴木式織機株式会社 (濱松)
 遠州織機株式会社 (〃)
 飯田式織機株式会社 (〃)
 日本絹織機製作所 (東京)
 合資會社壽製作所 (京都)
 津田式織機株式会社 (金澤)
 原田式織機株式会社 (〃)

國産額 輸入額

年次	數量	價額	數量	價額
大正10	—	—圓	—斤	2,973,016圓
11	—	—	—	1,333,340
12	—	3,297,729	3,236,338	1,335,484
13	—	2,040,118	1,395,773	816,413
14	—	1,657,896	1,230,886	608,239
昭和1	—	7,736,500	—	569,574
2	—	3,327,681	—	366,281
3	—	3,488,396	—	427,747
4	—	3,527,465	—	637,061
5	—	3,782,036	—	270,009

(織布整理機を含む)

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額
英吉利	—	14千圓
佛蘭西	—	1
獨逸	—	259
瑞西	—	123
北米	—	29

◎主要輸入者

三井物産株式会社 (東京)
 三菱商事株式会社 (〃)
 株式会社高田商會 (〃)
 株式会社稻畑商店 (大阪)
 日瑞貿易株式会社 (〃)
 株式會社長濱商店 (〃)

◎外國競争者

現今本邦に輸入されるものは特殊機械のみにして、輸入額少く、有力競争者殆んどなし。

◎輸入の主要原因

國産織布機は略國內需要を充し得るが、ジャカード機其他特殊精巧なる機械は尙ほ輸入さる。

◎輸入品と國産品の優劣

一部の特殊精巧機を除けば、輸入品に比して何等の遜色なし。

◎輸入防止の主要處置

國産なき特殊機械が僅少輸入されるに過ぎざる状態なるを以て、特に防止策を講ずる必要なし。

三四〇、織布整理機械

織布整理機は各種織物に糊を施し或は光澤を附し、或は押型を附する等各種仕上げ整理をなすに用ふる機械にして、其の主たるものは糊付機、型付機、刷掃機、毛燒機、濕潤機、蒸氣吹掛機、光澤機、幅出し機、壓搾機、折疊機等である。

◎輸入税率

一〇〇斤に付——一〇圓七〇錢。

◎主要生産者

- 河本製機所 (名古屋)
- 古橋機工廠 (〃)
- 平岩鐵工所 (〃)
- 合資會社壽製作所 (京都)

◎主要輸入者

- 三井物産株式會社 (東京)
- 三菱商事株式會社 (〃)
- 株式會社高田商會 (〃)
- 大倉商事株式會社 (〃)
- 株式會社稻畑商店 (大阪)
- 株式會社長濱商店 (〃)

◎外國競争者

マーザープラット會社 (英國)

年次	國産額		輸入額	
	數量	價額	數量	價額
大正10	—	—圓	2,480,760斤	2,122,599圓
11	—	—	1,778,880	1,466,666
12	—	3,297,729	1,786,837	1,112,399
13	—	2,040,118	1,759,939	1,162,322
14	—	1,657,896	979,302	655,950
昭和1	—	7,736,500	1,171,068	698,364
2	—	3,327,681	587,296	391,567
3	—	3,488,396	450,468	292,785
4	—	3,527,465	769,000	411,283
5	—	3,782,036	615,000	375,457

(織布機を含む)

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
埼玉	—	18,000圓
東京	—	1,077,438
神奈川	—	141,789
愛知	—	115,364
大阪	—	883,310
兵庫	—	1,059,562

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額
英吉利	635擔	34千圓
佛蘭西	36	3
獨逸	3,455	219
瑞西	231	9
北米	148	25

◎輸入の主要原因

本邦に於ける生産は、多く織布製造會社に於て副業的に製造する程度にして、本機専門の製造者少く従つて國産額は未だ國內需要に充當し得ざる状態に在る。且つ生産設備等の關係上大量生産の外國品に比し概して高價である。故に需要者は外國品を歓迎する傾向がある。

◎輸入品と國産品の優劣

國産品は製作技術、能率等に於て敢て輸入品に劣らないが、價格は常に輸入品よりも高價である。

◎輸入防止の主要處置

需要家は可及的に國産品を使用し生産家は生産費の低減に努め、政府は關稅引上をなす事が急務である。

- ラングブリツヂ會社 (〃)
- フアーマーノルトン會社 (〃)
- バターウオース會社 (米國)
- テクスタイルフイニツシン
- グマシナリー會社 (〃)
- ハウボルト會社 (獨逸)
- デバウエル會社 (〃)

三四一、メリヤス機械

メリヤス機械には手編機械と動力機械の兩種あり、又その編方の相違に依り圓形編機械と横編機械との二種に大別さる。各種共シャツ、ズボン下、ジャケツト、襟卷、手袋、靴

額

328,083圓
216,063
227,321
266,093
466,124
210,438
296,463
178,190
222,222
814,423

額(昭和三年)

價額
35千圓
4
62
2
74

ハーガー會社 (獨逸)

ヒルンヤー會社 (〃)

スコットウ・イリアム會社(米國)

ウイルト會社 (英國)

ウイリアム・コツトン會社(〃)

三四一、メリヤス機械

メリヤス機械には手編機械と動力機械の兩種あり、又その編方の相違に依り圓形編機械と横編機械との二種に大別さる。各種共シャツ、ズボン下、ジャケット、襟巻、手袋、靴下その他各種メリヤスの編製に使用されるものにして、圓形編機械は編針を圓筒の周圍に植付け、横編機械は編針を二枚の編針板に並行に植付けて編成す。

◎輸入税率

一箇五百疋以下のものは一〇〇斤に付四三圓八〇錢。
其他は同一二五圓六〇錢。
(但し協定同一二圓九〇錢)

◎主要生産者

永田メリヤス機械株式会社(東京)

◎主要輸入者

レーポールト商會 (東京)
善積武太郎商店 (大阪)
福原友輔商店 (シ)

◎外國競争者

テロツト會社 (獨逸)

年次	國産額		輸入額	
	數量	價額	數量	價額
大正10	—	—圓	138,313斤	328,083圓
11	—	—	90,577	216,063
12	—	1,000,000	90,468	227,321
13	—	800,000	94,396	266,093
14	—	—	185,494	466,124
昭和1	—	800,000	73,343	210,438
2	—	850,000	114,312	296,463
3	—	900,000	70,818	178,190
4	—	850,000	106,600	222,222
5	—	1,000,000	1,114,700	814,423

(推定産額)

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
東京	—	350,000圓
大阪	—	120,000

(推定産額)

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額
英吉利	92擔	35千圓
佛蘭西	9	4
獨逸	413	62
瑞西	7	2
北米	187	74

◎輸入品と國産品の優劣

メリヤス編製に使用される原糸は各國共夫々多少の相違あり、従つて本邦に於けるメリヤス機は本邦原糸に最も適當せる國産品が理想に近く外國製メリヤス機は不適當である。

◎輸入の主要原因

輸入品の主たるものは靴下編機にして、國內需要の二割内外は輸入されつゝある。蓋し該機の需要は靴下消費の激増に伴れて逐年増加し、國産機は不足を告ぐるが爲めである。

ハীগー會社 (獨逸)
ヒルンヤー會社 (シ)
スコットウ・イリアム會社(米國)
ウイルト會社 (英國)
ウイリアム・コットン會社(シ)
レボシー會社 (佛國)

◎輸入防止の主要處置

國産メリヤス機は輸入品よりも優秀なるに拘らず、單に生産不足のため輸入を見る状態なるを以て、當業者が生産設備を擴張して大量生産すれば、輸入は自ら杜絶すべし。

◎主要輸入者

三井物産株式会社 (東京)
三菱商事株式会社 (シ)
株式會社高田商會 (シ)
大倉商事株式会社 (シ)
株式會社稻畑商店 (大阪)
株式會社長濱商店 (シ)

◎外國競争者

マーザープラット會社 (英國)

年次	國産額	
	數量	價額
大正10	—	—圓
11	—	—
12	—	3,297,729
13	—	2,040,118
14	—	1,657,896
昭和1	—	7,736,500
2	—	3,327,681
3	—	3,488,396
4	—	3,527,465
5	—	3,782,036

(織布機を含む)

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
埼玉	—	18,000圓
東京	—	1,077,438
神奈川	—	141,789
愛知	—	115,364
大阪	—	883,310
兵庫	—	1,059,562

◎輸入品と國産品の優劣

關係上大量生産の外國品に比し概して高價である。故に需要者は外國品を歓迎する傾向がある。

◎輸入防止の主要處置

國産品は製作技術、能率等に於て敢て輸入品に劣らないが、價格は常に輸入品よりも高價である。

需要家は可及的に國産品を使用し生産家は生産費の低減に努め、政府は關稅引上をなす事が急務である。

三四二、製紙機械

製紙機械には抄造に使用する洗淨機、叩解機、抄紙機、光澤機等の各種がある。又その準備機械としては襪襪及藁等の原料に對しては截斷機除塵機、蒸煮罐等の各種、木材原紙料に對しては碎木機、削截機、精選機、特殊蒸煮罐等の各種がある。

◎輸入税率

價額に對する——二〇%

◎主要生産者

- 大島製鋼所 (東京)
- 杉浦鐵工所 (〃)
- 南千住製作所 (〃)
- 松井鐵工所 (〃)
- 深川鐵工所 (〃)
- 横濱船渠株式會社 (横濱)
- 日本鑄造株式會社 (〃)
- 旭鐵工所 (大阪)
- 長谷川鐵工所 (〃)
- 泉尾鐵工所 (〃)
- 帝國鑄造株式會社 (福岡)
- 株式會社神戸製鋼所 (神戸)
- 三井物産株式會社 (東京)

年次	國産額		輸入額	
	數量	價額	數量	價額
大正10	—	1,470,682圓	—斤	916,401圓
11	—	369,408	—	954,237
12	—	678,560	1,046,014	630,669
13	—	1,331,984	1,869,051	1,242,666
14	—	1,621,282	699,343	800,772
昭和1	—	2,100,520	1,658,302	990,561
2	—	1,872,688	449,764	254,671
3	—	2,020,132	610,280	379,807
4	—	1,978,541	635,200	346,421
5	—	2,356,877	227,800	127,908

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
北海道	—	545,472圓
東京	—	981,744
静岡	—	28,355
大阪	—	350,901
兵庫	—	33,041
福岡	—	43,992

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額
英吉利	6擔	2千圓
獨逸	5,623	325
丁抹	32	10
北米	442	41

◎外國競争者

- 大倉商事株式會社 (東京)
- 株式會社千代田組 (〃)
- レイボルト商會 (〃)
- チャールスワルムスレー會社(英)
- イムプルード製紙機會社(米國)
- バクレイエンドシウオール社(〃)
- ハードマシナリー會社(〃)
- ファレルフアンドリー會社(〃)
- ホワイト會社 (獨逸)
- エツンヤウイス會社 (瑞西)
- テリー會社 (ベルギー)

◎輸入の主要原因

國內に於て生産少なき特殊のものが僅少輸入されるに過ぎない。

◎輸入品と國産品の優劣

抄紙幅員一〇〇吋以上の大型機其他特殊品は國産がないが、普通機械に於ては敢て輸入品に劣らない。

◎輸入防止の主要處置

需要範圍狭き特殊品の外は、關稅の引上げに依つて内地生産者を保護すべし。

三四三、製紙用フェルト

製紙用フェルトは毛製フェルト地を適當の長さに切斷して製したるものにして、製紙の際壓搾ローラー間を循環運轉せしめ紙の濕氣を吸収せしむるために使用さる。其の大きさ

額	價額
1,520,384圓	
962,150	
991,250	
1,919,149	
1,900,117	
1,844,725	
1,779,248	
1,660,773	
2,206,304	
1,341,606	

額(昭和三年)

價額
367千圓
16
124
124
83
157
802
101

◎外國競争者

- アルバニーフェルト會社(米國)
- オールフェルト會社 (〃)
- ノックスウーレー會社 (〃)
- イー・シーワイヨック會社(〃)

- 南千住製作所 (〃)
- 松井鐵工所 (〃)
- 深川鐵工所 (〃)
- 横濱船渠株式會社 (横濱)
- 日本鑄造株式會社 (〃)
- 旭鐵工所 (大阪)
- 長谷川鐵工所 (〃)
- 泉尾鐵工所 (〃)
- 帝國鑄造株式會社 (福岡)
- 株式會社神戸製鋼所 (神戸)
- 三井物産株式會社 (東京)

三四三、製紙用フェルト

製紙用フェルトは毛製フェルト地を適當の長さに切斷して製したるものにして、製紙の際壓搾ローラー間を循環運轉せしめ紙の濕氣を吸収せしむるために使用さる。其の大きさは一定せざるもジャケツト即ち第一ロールに使用するものは幅一〇吋直徑一八吋乃至二二吋、第二ロールに使用するトップフェルトは幅一〇吋、内外長さ四二呎乃至五九呎、ポットフェルトは幅一〇〇吋長さ三七呎内外である。

◎輸入税率

一〇〇斤に付——七八圓五〇錢。

◎主要生産者

- 日本フェルト株式會社 (東京)
- 東京毛布株式會社 (〃)

◎主要輸入者

- 株式會社千代田組 (東京)
- 大文洋行 (〃)
- 中村商會 (〃)
- チエルベルヂー繼續會社 (〃)
- 立山貿易會社 (〃)
- シングルトン・ベンダ商社 (横濱)

	國 産 額		輸 入 額	
	數量	價 額	數量	價 額
大正10	—	50,259圓	238,035斤	1,520,384圓
11	—	75,352	177,207	962,150
12	—	64,296	191,241	991,250
13	—	77,268	311,880	1,919,149
14	—	71,561	287,160	1,900,117
昭和1	—	63,519	318,746	1,844,725
2	—	78,596	326,375	1,779,248
3	—	110,549	298,898	1,660,773
4	—	130,259	388,025	2,206,304
5	—	112,368	271,492	1,341,606

	國 産 額	
	數量	價 額
大正10	—	1,470,682圓
11	—	369,408
12	—	678,560
13	—	1,331,984
14	—	1,621,282
昭和1	—	2,100,520
2	—	1,872,688
3	—	2,020,132
4	—	1,978,541
5	—	2,356,877

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數量	價 額
東 京	—	58,296圓
大 阪	—	12,654
京 都	—	11,258

主要國別輸入額(昭和三年)

國 名	數量	價 額
英 吉 利	697擔	367千圓
佛 蘭 西	44	16
獨 逸	270	124
瑞 西	7	124
奧 地 利	178	83
瑞 典	279	157
北 米	1,295	802
加 奈 陀	214	101

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數量	價 額
北海道	—	545,472圓
東 京	—	981,744
靜 岡	—	28,355
大 阪	—	350,901
兵 庫	—	33,041
福 岡	—	43,992

國內に於て生産少なき特殊のものが僅少輸入されるに過ぎない。

◎輸入品と國産品の優劣

抄紙幅員一〇〇吋以上の大型機其他特殊品は國産がないが、普通機械に於ては敢て輸入品に劣らない。

◎輸入防止の主要處置

需要範圍狭き特殊品の外は、關稅の引上げに依つて内地生産者を保護すべし。

◎外國競争者

- アルバニーフェルト會社(米國)
- オールフェルト會社 (〃)
- ノックススワレー會社 (〃)
- イー・シー・フイヨック會社(〃)
- トーマスハルトマン會社(英國)
- ポリツトエンドスペンサー會社 (〃)
- ノルヂスカ會社 (瑞典)
- マスキングフェルト會社 (〃)
- アクチボラツゲル會社(〃)
- エイエルコーパニー (濠洲)

◎輸入の主要原因

新聞紙用及更紙田下級品は國産豊富であるが、優良紙用及バルプ用フェルトは國産少き爲めである。

◎外國品と國産品の優劣

優良品は遠く輸入品に及ばず、普通品に於ても製造技術未だ輸入品に匹敵するに至らない。

◎輸入防止の主要處置

フェルト製造の發達を圖り、生産額の増加を期することが先決問題と見られてゐる。

三四四、印刷機械

印刷機械には種類頗る多く、普通活版印刷に使用するものに於ても手引機、足踏機、圓筒機及び輪轉機等の種類ありて、それら其の構造を異にす。

◎輸入税率

一臺二五〇疋以下のものは價額に對する二〇%。
其他は一〇〇斤に付一六圓五〇錢

◎主要生産者

- 株式会社池貝鐵工所 (東京)
- 株式會社東京機械製作所 (〃)
- 金津印刷機械製作所 (〃)
- 共同印刷株式會社 (〃)
- 濱田印刷機製造所 (〃)
- 中村鐵工所 (〃)
- 津田鐵工所 (大阪)
- 中島機械製作所 (〃)
- ◎主要輸入者
- 三井物産株式會社 (東京)
- ベツカー商會 (〃)
- レイポルト商會 (〃)
- 米國貿易株式會社 (〃)
- 深川商會 (〃)

年次	國産額		輸入額	
	數量	價額	數量	價額
大正10	—	9,015,262圓	—	1,328,922圓
11	—	1,692,421	—	2,003,535
12	—	3,532,792	1,445,958斤	1,572,576
13	—	3,257,527	2,310,095	2,615,523
14	—	2,588,489	1,478,598	2,064,172
昭和1	—	2,440,522	962,086	1,287,882
2	—	4,018,304	564,157	651,175
3	—	4,826,703	1,439,038	1,577,789
4	—	5,205,469	1,225,039	1,631,375
5	—	5,742,389	565,011	690,106

(製本機を含む)

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
宮城	—	30,211圓
東京	—	3,389,648
愛知	—	17,982
大阪	—	1,356,430
廣島	—	7,500

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額
英吉利	1,835擔	85千圓
佛蘭西	97	10
獨逸	4,677	479
北米	7,781	1,001

◎外國競争者

- イリス商會 (東京)
- カーチング商會 (神戸)
- アルバート會社 (獨逸)
- パウエルマン會社 (〃)
- シエルトウインドギトゼツク(〃)
- エム・エ・エヌ會社 (米國)
- ミツシエル會社 (〃)
- ペイン會社 (〃)
- ホー會社 (〃)
- エル・エンド・エム會社(英國)

◎輸入の主要原因

ツレポリユーション機其他高速度輪轉機の如き特殊高級品は國産なきためである。

◎輸入品と國産品の優劣

高級品は未だ輸入品に及ばないが普通機械に於ては遜色なく、特に手引機及足踏機の如きは寧ろ輸入品に優るものが少くない。

◎輸入防止の主要處置

内地生産の増加、及び製造技術の向上に俟つ外なし。

三四五、鑛山用機械

鑛山用機械は鑛石の採掘、選鑛等に使用する機械の總稱にして、其の種類頗る多く、用途に依りて構造形状等千差萬別であるが、最も主要なるものは鑿岩機、磁石選鑛機、洗炭

額	價額
—	—
—	—
—	—
—	—
—	—
1,078,401圓	—
792,082	—
1,143,303	—
1,193,227	—
581,770	—

額(昭和三年)

價額
14千圓
425
11
286
8
384

◎輸入の主要原因

- ジエーアンドイーホール會社(英)
- デヨーデ・フレツチアア會社(〃)
- ミリス・ワットソン會社(〃)
- シーメンズ會社 (獨逸)

金津印刷機械製作所 (〃)
 共同印刷株式會社 (〃)
 濱田印刷機製造所 (〃)
 中村鐵工所 (〃)
 津田鐵工所 (大阪)
 中島機械製作所 (〃)

◎主要輸入者

三井物産株式會社 (東京)
 ベツカー商會 (〃)
 レイボルト商會 (〃)
 米國貿易株式會社 (〃)
 深川商會 (〃)

	國産額	
	數量	價額
大正10	—	9,015,262圓
11	—	1,692,421
12	—	3,532,792
13	—	3,257,527
14	—	2,588,489
昭和1	—	2,440,522
2	—	4,018,304
3	—	4,826,703
4	—	5,205,469
5	—	5,742,389

(製本機を含む)

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
宮城	—	30,211圓
東京	—	3,389,648
愛知	—	17,982
大阪	—	1,356,430
廣島	—	7,500

ツレボリユニシオン機其の他高速度輪轉機の如き特殊高級品は國産なきためである。

◎輸入品と國産品の優劣

高級品は未だ輸入品に及ばないが普通機械に於ては遜色なく、特に手引機及足踏機の如きは寧ろ輸入品に優るものが少くない。

◎輸入防止の主要處置

内地生産の増加、及び製造技術の向上に俟つ外なし。

三四五、鑛山用機械

鑛山用機械は鑛石の採掘、選鑛等に使用する機械の總稱にして、其の種類頗る多く、用途に依りて構造形状等千差萬別であるが、最も主要なるものは鑿岩機、磁石選鑛機、洗炭機等である。

◎輸入税率

價額に對する二〇%。

◎主要生産者

株式會社大塚鐵工場 (東京)
 神原工業會社 (〃)
 株式會社安治川鐵工所 (〃)

◎主要輸入者

三井物産株式會社 (東京)
 三菱商事株式會社 (〃)
 大倉商事株式會社 (〃)
 株式會社高田商會 (〃)
 株式會社東洋工業社 (〃)

◎外國競争者

ウオンントン會社 (米國)
 ウイルフレイ會社 (〃)
 テレバー會社 (〃)
 アリス・チャーマー會社 (〃)

	國産額		輸入額	
	數量	價額	數量	價額
大正10	—	2,202,287圓	—	—
11	—	1,641,807	—	—
12	—	1,717,117	—	—
13	—	3,178,640	—	—
14	—	2,547,155	—	—
昭和1	—	2,241,981	—	1,078,401圓
2	—	3,335,031	—	792,082
3	—	5,221,161	—	1,143,303
4	—	—	—	1,193,227
5	—	—	—	581,770

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額
支那	—	14千圓
英吉利	—	425
佛蘭西	—	11
獨逸	—	286
奧地利	—	8
北米	—	384

◎輸入の主要原因

多年の因襲に依り外國製品崇拜の傾向ある事、國內に於ては生産設備不完全にして大規模の機械は生産少なき事、原料鋼に乏しきため國産品は概ね高價なる事が主たる原因である。

◎輸入品と國産品の優劣

材料、設計及び製造技術等の各方面より觀て、國産品は必ずしも輸入品に劣らないが、材料を輸入する爲め、及び生産設備狭少不完全にして大量生産せざる事等諸種の原因に依り、輸入品に比し幾分高價である。

◎輸入防止の主要處置

内地生産の發達を圖り粗製濫造を防止するため製造規格を統一し、且つ優秀製作者に對しては奨勵金を交付する事及び關稅を重量税に改正して相當引上を爲す事等が最も緊要。

三四六、航空機

航空機には飛行船と飛行機の兩種がある。飛行船は水素瓦斯を充滿せる氣囊を以て囊下に吊したる機全體を維持し、推進機と舵機の操縦に依つて運航す。飛行機は空氣の壓力を利用し推進機、舵機及翼の作用に依つて自由に航行昇降す。水上飛行機と陸上飛行機及び單葉飛行機と複葉飛行機の別あり、陸上飛行機は底部に滑走用車輪及着陸用橋を備へ、水上飛行機は滑走に橋狀艇を以て代用す。各種共原動力としては輕油發動機を用ふ。

◎輸入税率

- (一) 飛行機は價額に對する二〇%。
- (二) 飛行機用發動機は、一箇の重量百斤以下のものは一〇〇斤に付三〇圓、二百五十斤以下は同二〇圓千斤以下は同一七圓七〇錢、二千五百斤以下は同一七圓、一萬斤以下は同一四圓七〇錢、五萬斤以下は同一三圓七〇錢。
- (三) 其他は同一四圓九〇錢。

◎主要生産者

三菱内燃機株式會社 (東京)

主要府縣別生産額(昭和三年)

國名	數量	額價
群馬	115臺	2,297,520千圓
東京	24	747,360
兵庫	40	1,706,762

國産額

數量	價額
大正10	—臺 3,489,429圓
11	— 4,524,265
12	162 3,100,620
13	213 3,428,925
14	75 3,934,824
昭和1	81 4,592,375
2	150 3,555,998
3	179 4,751,642
4	185 4,986,547
5	197 5,125,458

三四七、鐵製車輪

鐵製車輪は動力の傳達、速力の調節或は運轉の方向轉換等の作用に普く用ひられ、其の種類枚舉に遑なく形状、大小等千差萬別であるが、之を大別すれば有齒輪と無齒輪の兩種

額

價額
871,592圓
384,066
234,707
233,516
139,014
190,482
145,662
250,424
245,250
111,953

額(昭和三年)

價額
90千圓
40
11
1
3
102

株式會社石川島飛行機製作所(シ) 川西飛行機製作所 (神戸) 中島飛行機製作所 (群馬) 株式會社川崎造船所 (神戸)

◎主要輸入者

飛行機及飛行船は一般貿易品の如く常時輸入するものにはあらず、必要に應じて需要者直接に注文購入するを例とするが故に特定の輸入者と見做すべきものはないが、強いて舉げれば陸軍省及び海軍省である。又航空機用發動機その他の部分品及附屬品は、前記各飛行機製作者が直接輸入するのが通例である。

◎外國競争者

前項の理由に依り、競争者と見做すべきものなし。

◎輸入の主要原因

從來は専ら輸入に仰ぎつゝあつたが、近年我が航空機製作業は長足の進歩を遂げ、陸海軍々用機及び民間飛行機も略々需要を充し得る生産能力を有するに至つた。従つて輸入機は陸海軍に於て試験用に供するもの

が時々輸入されるに過ぎざる状態である。唯部分品中には優良國産なきもの、及び國産あるも外國品に比して著しく高價なるもの等少なからざるため、今尚ほ相當輸入されつゝあるが、是れ亦逐年漸減しつゝある。

◎輸入品と國産品の優劣

製作の技術上に於ては殆んど遜色を認めないが、設計に於ては尚ほ獨逸、米國、英國等の先進國に及ばざる點少なからず、外國に於て考案されたる製造權の買收絶えざる状態である。

◎輸入防止の主要處置

我が製造業者が投機的に外國の各種製造權を買収するが如き弊を掃し、大いに國産の振興を圖つて萬一に備へることが根本問題である。同時に飛行機製作者のみならず、優秀なる部分品製作者に對しても或は奨励金の下附、或は製品の買上其他適當なる保護施設を講じ、更に輸入關稅に關しても飛行機は勿論各部分品に至るまで、適宜改正を加へることが緊要である。

◎外國競争者

- イングリッシュ電氣會社(英國)
- ナツタル會社 (シ)
- 米國ゼネラル電氣會社 (シ)

三四七、鐵製車輪

鐵製車輪は動力の傳達、速力の調節或は運轉の方向轉換等の作用に普く用ひられ、其の種類枚舉に遑なく形狀、大小等千差萬別であるが、之を大別すれば有齒輪と無齒輪の兩種がある。有齒輪即ち齒車には正齒輪、斜齒輪、螺旋齒輪等の各種あり、無齒輪は普通の圓板車にして共に、各種機械類に普く應用さる。

◎輸入税率

齒車は一〇〇斤に付一一圓八〇錢
其他は同七圓四五錢。

◎主要生産者

- 株式會社日本製鋼所 (東京)
- 株式會社神戸製鋼所 (神戸)
- 株式會社住友製鋼所 (大阪)

◎主要輸入者

- 三井物産株式會社 (東京)
- 三菱商事株式會社 (東京)
- 大倉商事株式會社 (東京)
- 淺野物産株式會社 (東京)
- セールフレーザー商會 (東京)
- 株式會社米井商店 (東京)
- 株式會社高田商會 (東京)

	國 産 額		輸 入 額	
	數量	價 額	數量	價 額
大正10	—	—圓	999,862斤	871,592圓
11	—	—	386,511	384,066
12	—	1,746,078	363,409	234,707
13	—	1,329,859	354,068	233,516
14	—	5,218,128	174,516	139,014
昭和1	—	10,626,359	264,762	190,482
2	—	12,104,986	256,859	145,662
3	—	10,628,050	304,233	250,424
4	—	10,548,256	492,114	245,250
5	—	12,540,587	188,303	111,953

(車軸及軸承を含む)

主要府縣別生産額(昭和三年)

國 名	數量	額 價
群馬	115臺	2,297,520千圓
東京	24	747,360
兵庫	40	1,706,762

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數量	價 額
埼玉	—	54,800圓
東京	—	2,142,584
神奈川	—	59,000
石川	—	50,058
愛知	—	147,592
三重	—	51,160
大阪	—	6,709,884
兵庫	—	1,262,946

主要國別輸入額(昭和三年)

國 名	數量	價 額
英 吉 利	921擔	90千圓
獨 逸	677	40
瑞 西	192	11
瑞 典	19	1
丁 抹	65	3
北 米	1,194	102

輸入するのが通例である。

◎外國競争者

前項の理由に依り、競争者と見做すべきものなし。

◎輸入の主要原因

從來は専ら輸入に仰ぎつゝあつたが、近年我が航空機製作業は長足の進歩を遂げ、陸海軍々用機及び民間飛行機も略々需要を充し得る生産能力を有するに至つた。従つて輸入機は陸海軍に於て試験用に供するものが緊要である。

◎輸入防止の主要處置

我が製造業者が投機的に外國の各種製造權を買収するが如き弊を掃し、大いに國産の振興を圖つて萬一に備へることが根本問題である。同時に飛行機製作者のみならず、優秀なる部分品製作者に對しても或は奨励金の下附、或は製品の買上其他適當なる保護施設を講じ、更に輸入關稅に關しても飛行機は勿論各部分品に至るまで、適宜改正を加へることが緊要である。

◎外國競争者

- イングリツシユ電氣會社(英國)
- ナツタル會社 (英)
- 米國ゼネラル電氣會社 (米)
- フリードリツヒクルツプ會社(獨)
- ヘンシエルエンドソンス會社(獨)
- ダブリユー會社 (米國)
- エツチ・ワイナー會社 (英)

◎輸入の主要原因

多年の因襲に依る外國品尊重の傾向ある事、外國品は國産品よりも概して廉價なる事、國産品中には粗悪なるもの多き事等。

◎輸入品と國産品の優劣

素材に特殊なる鋼鐵を要するもの等を除けば、輸入品に比して殆んど遜色がないが、原料鋼材の輸入等の關係上、輸入品よりも高價である。

◎輸入防止の主要處置

内地生産者相互の競争を抑制し、關稅引上げに依つて生産者を保護すると共に、生産當事者に於て生産費の低下に努める事が緊要である。

三四八、フノリ及テングサ類

フノリは紅色藻に屬する海草にして赤褐色を呈し、晒製したるものは淡黄色を呈す。商業上に於てはマフノリ、マザリ及並物の三種に區別され、優良品は織布用糊、下等品は壁塗材料等に用ひらる。
 テングサは尊ら寒天の原料、トコロテン製造等に用ひられ、マクサ、ヒラクラの二種がある。

◎輸入税率

無税

◎主要生産者

フノリは静岡、三重、長崎、鹿児島、朝鮮金羅南道及金羅北道等に於ける漁村の副業として生産され、テングサは北海道、静岡、三重、神奈川、東京等の各府縣に産し、朝鮮釜山及蔚山近海も亦本品の主産地として知られてゐる。

◎主要輸入者

中田秀次郎商店 (大阪)
 國廣清一郎商店 (シ)
 中村庄太郎商店 (シ)
 中村豊次郎商店 (シ)

	國産		輸入	
	數量	價額	數量	價額
大正10	1,755,370貫	1,566,503圓	—	—
11	2,041,990	2,170,257	—	—
12	2,710,568	2,822,409	145,659斤	62,232圓
13	2,544,487	3,289,805	39,004	11,701
14	2,422,838	3,031,339	227,978	41,770
昭和1	3,217,574	3,004,356	—	—
2	2,939,242	2,617,477	—	—
3	3,173,414	3,224,525	—	—
4	3,350,465	3,425,000	—	—
5	3,285,767	3,265,897	—	—

(昭和年度の輸入額不詳)

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
北海道	747,871貫	391,984圓
東京	172,652	201,640
神奈川	147,506	100,812
静岡	402,442	886,663
三重	223,388	175,759
和歌山	66,054	153,778
高知	72,273	129,568

主要國別輸入額(大正十四年)

國名	數量	價額
支那	96,273斤	15,239圓
蘭領印度	70,566	9,996
關東州	34,755	8,273
北米	15,907	744
海峽殖民地	6,848	542
英領印度	3,629	306

堀内重藏商店

(大阪)

◎外國競争者

本邦に輸入されるものは大部分テングサ及びテングサの一種たるアイリツシユモスにして、テングサはメキシコ在住邦人が其の海岸に於ける採取權を一手に獲得し、一ヶ年五千圓内外を本邦に輸出す。其他のものは主として北米産品である。

◎輸入の主要原因

本邦に於ける寒天の製造は頗る盛んにして、内地産テングサのみにては不足なること、及びアイリツシユモスは織布及捺染用の糊料又は食料として需要多きに拘らず、内地生産僅少なる事、等に因る。

◎輸入品と國産品の優劣

メキシコ産テングサは寒天分少く内地産に及ばず、アイリツシユモスは北海道産と大差なし。

◎輸入防止の主要處置

輸入額僅少なるを以て特に防止策を講ずる必要なし。

◎輸入の主要原因

本品を材料とする畳表及花筵の製造は逐年隆盛に赴き、従つて本品の需要も逐年増加しつつあるに拘ら

三四九、藺

藺は燈心草科に屬する一年生草にして、葦細長く圓形又は稜形をなして叢生し、長きものは七尺内外に達す。乾燥したるものは蓆・花筵・畳表等の材料に使用さる。本邦に於ては

額	價額
—	—
190,000圓	—
220,000	—
330,000	—
300,000	—
280,000	—
270,000	—
280,000	—
250,000	—
250,000	—

額(昭和三年)

價額
280,000圓

フノリは静岡、三重、長崎、鹿児島、朝鮮金羅南道及金羅北道等に於ける漁村の副業として生産され、テングサは北海道、静岡、三重、神奈川県、東京等の各府縣に産し、朝鮮釜山及蔚山近海も亦本品の主産地として知られてゐる。

◎主要輸入者

中田秀次郎商店 (大阪)
 國廣清一郎商店 ()
 中村庄太郎商店 ()
 中村豊次郎商店 ()

三四九、蘭

蘭は燈心草科に屬する一年生草にして、莖細長く圓形又は稜形をなして叢生し、長きものは七尺内外に達す。乾燥したるものは蒨、花莖、疊表等の材料に使用さる。本邦に於ては岡山、廣島兩縣下を始めとして各府縣に生産されるが、尙ほ需要に充たざる場合は支那方面より輸入さる。

◎輸入税率

漂白、染色又は着色したるものは價額に對する一〇%
 其他は同五%

◎主要生産者

各地農家の副業的生産にして、特掲すべきものなし。

◎主要輸入者

三井物産株式會社 (東京)
 加藤商行 (名古屋)

◎外國競争者

輸入品の殆んど全部は支那産品にして、就中廣東省産品最も多く、又水草は廣東省肇慶産が大部分を占めてゐる。

	國 産 額		輸 入 額	
	數量	價 額	數量	價 額
大正10	8,593,508貫	8,757,060圓	—	—
11	9,802,080	8,169,322	—	190,000圓
12	10,925,666	9,556,977	—	220,000
13	14,915,089	10,052,402	—	330,000
14	12,932,933	7,284,507	—	300,000
昭和1	11,447,978	6,564,647	—	280,000
2	11,049,228	6,336,133	—	270,000
3	12,356,211	7,296,129	—	280,000
4	11,987,050	6,458,262	—	250,000
5	12,375,896	7,189,549	—	250,000

(推定輸入額)

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數量	價 額
石 川	454,495貫	392,393圓
靜 岡	340,613	139,856
鳥 取	334,015	164,179
岡 山	5,593,827	3,361,745
廣 島	3,185,887	2,050,717
福 岡	729,088	401,647
熊 本	725,464	278,874

主要國別輸入額(昭和三年)

國 名	數量	價 額
支 那	—	280,000圓

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數量	價 額
北海道	747,871貫	391,984圓
東 京	172,652	201,640
神奈川	147,506	100,812
靜 岡	402,442	886,663
三 重	223,388	175,759
和歌山	66,054	153,778
高 知	72,273	129,568

は不足なること、及びアイリツシュモスは織布及捺染用の糊料又は食料として需要多きに拘らず、内地生産僅少なる事、等に因る。

◎輸入品と國産品の優劣

メキシコ産テングサは寒天分少く内地産に及ばず、アイリツシュモスは北海道産と大差なし。

◎輸入防止の主要處置

輸入額僅少なるを以て特に防止策を講ずる必要なし。

◎輸入の主要原因

本品を材料とする疊表及花莖の製造は逐年隆盛に赴き、従つて本品の需要も逐年増加しつつあるに拘らず、國內生産は辛うじて需要を充し得る程度にして、不作等の場合に於ては供給不足となる。加ふるに支那産品は品質に於て内地品に及ばざるも價格頗る低廉なるため、下等品の材料に好適せるを以て、國産不足の場合には勿論、國産寧ろ過剰なる場合に於ても輸入さる。

◎輸入品と國産品の優劣

蘭は主として水田に栽培されるため、耕地不足の本邦に於ては勢ひ高價なるを免れないが、支那産品は耕地の豊富、勞働賃銀の低廉等のため國産品よりも遙かに低廉である。但し品質に於ては國産品は遙かに支那産に優る。

◎輸入防止の主要處置

廉價品を輸入して輸出向花莖等の原料となすは頗る有利なるを以て、寧ろ輸入を奨励すべきである。

三五〇、籐

籐は棕櫚科に属する植物にして熱帯地方に多く産し、印度、シヤム、安南、馬來半島等はその主産地である。長さ數百尺に達するもの少なからず、之を商品として市場に出すものは六呎乃至二〇呎に切斷して束となす。商業上に於ては丸籐、割籐及肉籐の三種に區別され、何れも椅子籃、蓆等の籐細工に用ひられ、用途頗る廣汎である。

輸入品の包装は、丸籐は二ツ折として下端をアンペラにて包み、割籐は全部アンペラ包とし、一包の重量は普通一五〇封度内外である。

◎輸入税率

割らざるものは無税。
其他は一〇〇斤に斤一圓七〇錢

◎主要生産者

臺灣南部に産するも生産者として特掲すべきものなし。

◎主要輸入者

三井物産株式會社 (東京)
加藤商事株式會社 (シ)
小管恭太郎商店 (シ)

年次	國 産 額		輸 入 額	
	數量	價 額	數量	價 額
大正10	—	—	6,608,919斤	1,291,646圓
11	—	—	5,473,862	1,008,035
12	—	—	6,004,622	988,527
13	—	—	7,136,196	1,238,661
14	—	—	7,153,007	1,228,082
昭和1	—	—	9,466,200	1,523,596
2	—	239,915圓	7,235,700	1,239,220
3	—	179,234	9,340,700	1,543,881
4	—	195,269	9,695,500	1,515,080
5	—	236,294	6,924,600	998,984

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數量	價 額
臺 灣	—	179,234圓

主要國別輸入額(昭和三年)

國 名	數量	價 額
支 那	14,786擔	244千圓
香 港	1,963	34
英領印度	3,754	67
海峽殖民地	54,029	942
蘭領印度	18,013	241
比律賓諸島	518	7
獨 逸	239	4

◎外國競争者

輸入品は主としてジャバ、スマトラ、及びスマラン地方の産品にしてシンガポール、香港等の輸出商の手を経て輸入さる。

◎輸入の主要原因

各種籐細工用として本品の需要多きに拘らず、本邦産即ち臺灣南部に産するものは其の品質粗悪にして實用に適せず、且つ生産額僅少にして需要の一少部分を充すに過ぎざるが爲めである。

◎外國品と國産品の優劣

臺灣産品は脆弱にして折れ易く、且つ色相不良にして細工用に適せず輸入品に比し遙かに劣る。

◎輸入防止の主要處置

國産なく且つ適當な代用品なきを以て輸入は止むを得ない。

出村總太郎商店 (東京)
阪井商店 (シ)
柳田商店 (大阪)
圓宇兵衛商店 (シ)

三五二、コルク製品

コルク製品は地中海沿岸、スペイン、ポルトガル、伊太利、佛蘭西、及アフリカ等に多く産するコルク樹皮を以て製したるものを總稱し、其の主たるものはコルク栓、及びコルク

價 額
604,114圓
435,689
261,681
340,422
301,704
156,112
167,823
149,429
232,570
198,136

額(昭和三年度)

價 額
47千圓
4
61
31
1
1

合名會社永柳商店 (東京)
赤松一二商店 (大阪)
喜多鐵造商店 (シ)
但し右は主としてコルク樹皮の輸入を取扱ひ、製品の輸入取扱ひは僅

は普通一五〇封度内外である。

◎輸入税率

割らざるものは無税。
其他は一〇〇斤に斤一圓七〇銭

◎主要生産者

臺灣南部に産するも生産者として
特掲すべきものなし。

◎主要輸入者

三井物産株式会社 (東京)
加藤商事株式会社 (大阪)
小管恭太郎商店 (〃)

三五二、コルク製品

コルク製品は地中海沿岸、スペイン、ポルトガル、伊太利、佛蘭西、及アフリカ等に多く産するコルク樹皮を以て製したるものを總稱し、其の主たるものはコルク栓、及びコルク輪である。コルク栓は直接酒類その他罎口に用ひられ、コルク輪も亦中に硝子栓等を挿入して罎口に使用さる。輸入品の包は裝麻袋入にして普通一萬個乃至二萬個入りである。

◎輸入税率

コルクのみの製品は一〇〇斤に付一六圓三〇銭。
其他は價額に對する三五%。

◎主要生産者

合名會社永柳商店 (東京)
石橋浩治 (〃)
東金次郎 (〃)
本島嘉平次 (〃)
東京コルク工業會社 (〃)
岩崎新次郎商店 (大阪)
赤松一二商店 (〃)

◎主要輸入者

三井物産株式会社 (東京)

	國 産 額		輸 入 額	
	數量	價 額	數量	價 額
大正10	—	—圓	—斤	604,114圓
11	—	—	—	435,689
12	—	1,769,485	150,690	261,681
13	—	2,118,696	186,220	340,422
14	—	2,143,829	142,471	301,704
昭和 1	—	3,462,596	81,888	156,112
2	—	4,959,971	92,734	167,823
3	—	4,726,161	80,223	149,429
4	—	3,548,909	120,024	232,570
5	—	4,654,863	87,057	198,136

	國 産 額	
	數量	價 額
大正10	—	—
11	—	—
12	—	—
13	—	—
14	—	—
昭和 1	—	—
2	—	239,915圓
3	—	179,234
4	—	195,269
5	—	236,294

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數量	價 額
東 京	—	2,361,545圓
靜 岡	—	186,000
大 阪	—	1,541,845
奈 良	—	28,430
岡 山	—	23,000
廣 島	—	539,699

主要國別輸入額(昭和三年度)

國 名	數量	價 額
佛 蘭 西	270擔	47千圓
波 蘭	23	4
西 班 牙	244	61
葡 萄 牙	233	31
北 米	10	1
其他アフリカ諸國	18	1

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數量	價 額
臺 灣	—	179,234圓

産するものは其の品質粗悪にして實用に適せず、且つ生産額僅少にして需要の一少部分を充すに過ぎざるが爲めである。

◎外國品と國産品の優劣

臺灣産品は脆弱にして折れ易く、且つ色相不良にして細工用に適せず輸入品に比し遙かに劣る。

◎輸入防止の主要處置

國産なく且つ適當な代用品なきを以て輸入は止むを得ない。

合名會社永柳商店 (東京)
赤松一二商店 (大阪)
喜多鐵造商店 (〃)
但し右は主としてコルク樹皮の輸入を取扱ひ、製品の輸入取扱ひは僅少である。

◎外國競争者

西班牙産品、葡萄牙産品、及び佛蘭西産品等。

◎輸入の主要原因

コルク樹皮は國産なきため國內需要は全部輸入品であるが、コルク製品は國産豊富なるため輸入少く、價格暴落その他の輸入に有利の特殊なる場合に限り輸入さる。

◎輸入品と國産品の優劣

國産品は品質、價格共に輸入品に比して何等遜色なし。

◎輸入防止の主要處置

原料即ちコルク樹皮の輸入を圓滑ならしめると共に、製品の輸入に對しては高率の輸入税を課することが最も有効なる策であらう。

三五二、花梨・黄楊及紫檀類

花梨は薔薇科に屬する落葉喬木にして、支那、シヤム、馬來半島等に多く産し、安南産は最も優良である。木理細かく質硬く、建築材としては床柱等に用ひられ、或は机、茶卓、箆等の他の家具類、三味線の胴及棹、琵琶等の製作材料に供せらる。黄楊は淡黄色を帯び木理緻密にして質硬く、主として櫛、将棋の駒、印刷の臺木等の細工物に用ひらる。紫檀は支那、印度、安南地方を主産地とし、木理緻密にして頗る堅く帯紅紫色又は柴赤色にして光澤に富み、机、茶卓、盆、三味線棹その他各種家具材に供せられ、又建築用としては床柱等に用ひらる。此の外本項に屬する輸入品には鐵木即ちタガヤサン、黒檀等の各種がある。

◎輸入税率
一〇〇斤に付——五〇錢。

◎主要生産者
黄楊は千葉、鹿兒島其他に産し、花梨は沖繩縣、黒檀は臺灣に夫々僅少産出す。

	國 産 額		輸 入 額	
	數量	價 額	數量	價 額
大正10	6,556石	134,129圓	12,517,640斤	1,034,294圓
11	5,339	212,522	14,008,299	1,033,736
12	2,824	205,129	13,198,884	864,087
13	1,510	136,547	19,446,449	1,240,842
14	2,301	236,937	14,154,092	729,638
昭和1	1,623	181,079	9,912,861	412,768
2	3,532	143,557	9,016,529	352,413
3	3,299	107,759	10,485,329	406,414
4	3,548	116,985	11,001,100	423,109
5	3,269	98,246	10,127,100	360,544

(黄楊のみの産額)

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數量	價 額
青 森	5石	200圓
埼 玉	315	2,050
千 葉	1,837	54,380
山 梨	300	1,500
島 根	46	322
宮 崎	224	217
鹿兒島	541	49,010

主要國別輸入額(昭和三年)

國 名	數量	價 額
支 那	4,062擔	17千圓
英領印度	1,052	8
暹 羅	99,265	375
英 吉 利	30	0
北 米	388	3

◎主要輸入者

- 日印通商株式會社 (東京)
- 日蘭貿易株式會社 ()
- 川原商店 ()
- 加藤商業株式會社 ()

◎外國競争者

支那産品及英領印度産品等もあるもシヤム産品は輸入の大部分を占め、最も優勢である。

◎輸入の主要原因

黄楊の外は殆んど國産なく、少量の國産品は外國品に比して頗る高價なるが爲めである。

◎輸入品と國産品の優劣

品質に於ては略同様であるが、國産品は價格高く且つ生産量少くして到底輸入品と對抗し難い。

◎輸入防止の主要處置

代用材として黒柿、桑等あるも産額少く、且つ各材共夫々獨特の長所を有するを以て、國産なきものゝ輸入は止むを得ない。

◎外國競争者

シヤム産品最も多く、英領印度産品、支那産品等之に次ぐ。而して輸入品は殆んど全部産地に於て直接買

三五三、チーク

チークはビルマ、シヤム、ジャバ其他の熱帯地方に産する喬木にして質頗る硬く、木理緻密にして光澤に富み、歪みを生じ難く且つ耐久力に富めるを以て、船舶建材、汽車、電

額	價 額
1,059,429圓	
1,099,769	
1,183,163	
1,610,352	
1,246,143	
1,749,496	
1,371,870	
2,618,875	
1,655,827	
995,301	

(昭和三年)

價 額
35千圓
162
169
14
39
2,177
3
13

三五三、チーク

チークはビルマ、シヤム、ジヤバ
 其他の熱帯地方に産する喬木にして
 質頗る硬く、木理緻密にして光澤に
 富み、歪みを生じ難く且つ耐久力に
 富めるを以て、船舶建材、汽車、電
 車或は一般建築材、家具材などに廣
 く用ひらる。
 輸入品は大部分角材にして、一二
 吋乃至二四吋角、長さ一五呎乃至二
 五呎内外のものが普通である。

◎輸入税率
 無税

◎主要生産者

純粹のチークは國産なく、類似の
 木材として擧ぐべきものも少くない
 が、強いて擧げれば樺等之に近きも
 生産量頗る僅少である。

◎主要輸入者

- 三井物産株式会社 (東京)
- 日印通商株式会社 (〃)
- 日蘭貿易株式会社 (〃)
- 川原商店 (〃)
- 範多商會 (大阪)
- 西岡商店 (〃)

	國産額		輸入額	
	數量	價額	數量	價額
大正10	165,142石	1,547,833圓	6,468立方米	1,059,429圓
11	172,127	1,281,166	6,615	1,099,769
12	151,000	1,299,266	7,599	1,183,163
13	124,986	975,211	20,090	1,610,352
14	146,061	895,558	17,031	1,246,143
昭和1	155,388	948,953	12,599	1,749,496
2	181,979	1,047,712	8,990	1,371,870
3	301,018	1,503,623	17,055	2,618,875
4	311,589	1,654,811	11,741	1,655,827
5	315,540	1,770,341	6,348	995,301

(参考として樺の産額を掲ぐ)

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
福島	121,774石	491,843圓
石川	6,067	52,133
福井	5,576	59,793
山梨	7,281	44,717
静岡	14,994	101,257
島根	8,058	52,595
大分	13,231	60,765

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額
支那	192立方米	35千圓
香港	795	162
英領印度	2,347	169
蘭領印度	86	14
佛領印度支那	276	39
暹羅	13,215	2,177
佛蘭西	28	3
北米	85	13

◎主要生産者

黄楊は千葉、鹿兒島其他に産し、
 花梨は沖繩縣、黒檀は臺灣に夫々僅
 少産出す。

一〇〇斤に付——五〇錢。

◎輸入税率

此の外本項に屬する輸入品には鐵
 木即ちタガヤサン、黒檀等の各種が
 ある。

	國産額	
	數量	價額
大正10	6,556石	134,129圓
11	5,339	212,522
12	2,824	205,129
13	1,510	136,547
14	2,301	236,937
昭和1	1,623	181,079
2	3,532	143,557
3	3,299	107,759
4	3,548	116,985
5	3,269	98,246

(黄楊のみの産額)

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
青森	5石	200圓
埼玉	315	2,050
千葉	1,837	54,380
山梨	300	1,500
島根	46	322
宮崎	224	217
鹿兒島	541	49,010

◎輸入品と國産品の優劣

品質に於ては略同様であるが、國
 産品は價格高く且つ生産量少くして
 到底輸入品と對抗し難い。

◎輸入防止の主要處置

代用材として黒柿、桑等あるも産
 額少く、且つ各材共夫々獨特の長所
 を有するを以て、國産なきものゝ輸
 入は止むを得ない。

◎外國競争者

シヤム産品最も多く、英領印度産
 品、支那産品等之に次ぐ。而して輸
 入品は殆んど全部産地に於て直接買
 付輸入するものにして、産地に於け
 る主要木材業者はランバ一商會等
 ある。

◎輸入の主要原因

本材は木質堅硬にして耐久力に富
 み且つ耐水性強く、船舶の甲板及び
 鐵の背板等に用ひて殆んど理想的に
 して、國産材には之に代用すべきも
 の少く、而も比較的廉價なるが爲め
 である。

◎輸入品と國産品の優劣

本品と優劣を比較すべき適材なし

◎輸入防止の主要處置

國産なきため輸入は止むを得ない
 が、之に代るべき國産材の増植を圖
 り、又は之よりも安價にして且つ比
 較的優秀なるファイリツピン材の利
 用を研究する等は輸入防止の一策と
 して緊要なる措置である。

三五四、松・杉及其他の針葉樹用材

針葉樹用材の主たるものは松、杉、扁柏、花柏、ヒバ、樅、白檜、榲桲等にして種類頗る多く、何れも主として建築材料に使用さる。輸入品は鉛筆軸用シダー、建築用白パイン、赤パイン及黄パイン、家具用フアー、及びヘムロック、スプルス等が主たるものである。

◎輸入税率

(一)長さ二〇糎幅七糎厚さ七糎以下のシダーは無税。厚さ六〇糎以下は一立方方に付三圓一〇銭。厚さ二〇〇糎以下は一立方方に付一圓九五銭。

◎主要生産者

全国の林業家及び農家。

◎主要輸入者

- 三井物産株式会社 (東京)
- 三菱商事株式会社 (シ)
- アメリカントレーディング会社(シ)
- ナショナルトレーディング会社(シ)
- エス・エル・ジョンソン商會(シ)
- 長島商店 (シ)

三五五、桐

桐は玄參科に屬する落葉樹にして木質柔軟にして軽く、彎曲し難き特徴を有するを以て、箆笥、箱其他の家具類、下駄琴等の材料、或は建築裝飾材等に用ひらる。全國各府縣及

入 額	國 産 額		輸 入 額	
	數量	價 額	數量	價 額
5,701,769圓	大正10 37,914,043石	158,101,425圓	933,157立方米	31,382,543圓
4,258,111	11 33,623,610	134,174,108	2,299,845	74,706,976
3,775,992	12 41,733,430	163,428,099	2,233,637	80,618,123
2,843,702	13 35,603,000	129,751,704	3,147,664	119,799,514
1,819,850	14 35,197,861	110,476,767	2,101,283	69,940,688
1,524,658	昭和1 36,981,868	102,648,575	3,925,189	101,699,525
842,226	2 38,009,289	100,829,915	3,480,841	95,720,666
700,716	3 40,367,680	102,279,871	3,232,368	95,599,947
459,835	4 41,287,501	112,890,541	3,104,027	80,167,486
288,526	5 43,549,820	121,546,218	2,391,550	46,412,387

(針葉樹用材の伐採額)

額(昭和三年)

價 額

568千圓
132

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數量	價 額
北海道	7,979,026石	9,013,188圓
秋 田	1,609,586	4,909,107
長 野	1,821,154	6,077,846
靜 岡	1,386,461	4,631,971
三 重	1,387,246	5,240,378
奈 良	1,010,815	5,053,217
山 口	1,126,105	3,145,154
宮 崎	2,250,313	4,083,775

主要國別輸入額(昭和三年)

國 名	數量	價 額
支 那	4,025立方米	97千圓
露 領 亞 細 亞	423,646	10,425
英 吉 利	907	30
北 米	3,224,258	84,145
加 奈 陀	265,406	6,683

範多商會
田村商會

(大阪)
(神戸)

◎外國競争者

主として米國産品加奈陀産品にして、米國産品はワシントン州及オレゴン州の製材業者、加奈陀産品はブリテツシユコロンビヤ州の製材業者が主たる競争者である。

◎輸入の主要原因

所謂米松及び米杉は國産松及杉類に比較して頗る廉價にして、而も國産少き大材に富み、建築用として内地需要逐年激増しつゝあるが爲めである。

◎輸入品と國産品の優劣

國産材は材質に於て米材よりも優良であるが、米材の如き長大なるもの少く、且つ價格に於て到底米材に對抗し難い。

◎輸入防止の主要處置

造材を奨励して國産を豊富ならしめ、以て價格の低下を圖ることが根本策である。

◎輸入の主要原因

はれるため、競争手段を講ずる場合は稀れである。

支那桐は明治四十年頃より輸入さ

三五五、桐

二〇〇耗以下は一立方米に付一圓九五錢。

(二)其他(丸太割材を含む)は無税

◎主要生産者
全国の林業家及び農家。

◎主要輸入者

- 三井物産株式会社 (東京)
- 三菱商事株式会社 (〃)
- アメリカントレーディング會社(〃)
- ナショナルトレーディング會社(〃)
- エス・エル・ジョンズ商會(〃)
- 長島商店 (〃)

國 産 額
數量 價 額

大正10	37,914,043石	158,101,425圓
11	33,623,610	134,174,108
12	41,733,430	163,428,099
13	35,603,000	129,751,704
14	35,197,861	110,476,767
昭和1	36,981,868	102,648,575
2	38,009,289	100,829,915
3	40,367,680	102,279,871
4	41,287,501	112,890,541
5	43,549,820	121,546,218

(針葉樹用材の伐採額)

◎輸入防止の主要處置

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數量	價 額
北海道	7,979,026石	9,013,188圓
秋 田	1,609,586	4,909,107
長 野	1,821,154	6,077,846
靜 岡	1,386,461	4,631,971
三 重	1,387,246	5,240,378
奈 良	1,010,815	5,053,217
山 口	1,126,105	3,145,154
宮 崎	2,250,313	4,083,775

地需要逐年激増しつゝあるが爲めである。

◎輸入品と國産品の優劣

國産材は材質に於て米材よりも優良であるが、米材の如き長大なるもの少く、且つ價格に於て到底米材に對抗し難い。

◎輸入防止の主要處置

造材を奨励して國産を豊富ならしめ、以て價格の低下を圖ることが根本策である。

桐は玄參科に屬する落葉樹にして木質柔軟にして軽く、彎曲し難き特徴を有するを以て、箆笥、箱其他の家具類、下駄琴等の材料、或は建築裝飾材等に用ひらる。全國各府縣及び朝鮮の中部及南部等に産するも、又支那方面より輸入さる。

◎輸入税率

一〇〇斤に付——九〇錢。

◎主要生産者

福島、岩手、其他各府縣の山林業者及び農家。

◎主要輸入者

- 恩田龜太郎商店 (東京)
- 星野周元商店 (大阪)
- 範多商會 (〃)
- 田村商會 (神戸)

◎外國競争者

輸入品は大部分支那桐にして、四川省、山東省等の産品最も多く、優良材は北部寒地の産品である。而して輸入に際しては殆んど外人の手を経ず、支那在留邦人の手に依つて行

國 産 額 輸 入 額
數量 價 額 數量 價 額

大正10	200,793石	3,954,489圓	277,883擔	5,701,769圓
11	1,173,615	2,977,044	217,487	4,253,111
12	1,219,905	3,093,524	255,026	3,775,992
13	1,183,222	2,628,732	214,977	2,843,702
14	265,070	2,824,058	122,377	1,819,850
昭和1	210,376	2,005,092	107,806	1,524,658
2	250,932	1,833,739	69,808	842,226
3	284,909	2,110,973	56,306	700,716
4	279,648	1,954,967	36,770	459,835
5	287,002	2,179,543	24,951	288,526

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數量	價 額
岩 手	16,824石	179,237圓
福 島	49,766	448,148
茨 城	28,693	270,388
栃 木	9,679	86,281
群 馬	13,186	88,451
新 潟	45,703	230,454
石 川	9,319	74,576
山 口	9,802	64,987

主要國別輸入額(昭和三年)

國 名	數量	價 額
支 那	43,051擔	568千圓
關 東 州	13,255	132

◎輸入の主要原因

はれるため、競争手段を講ずる場合は稀れである。

支那桐は明治四十年頃より輸入され始めたが、當初は安價品のみ輸入されたため、聲價擧らず、僅少額の輸入を維持するに過ぎざる状態であつた。然るに歐洲大戰當時内地桐暴騰のため大量輸入されて以來支那桐の眞價漸く認められ、一時數百萬圓の輸入を見るに至つた。大正十年以來は逐年減少しつゝあるが、國産品に比して廉價なるため今尚ほ各方面に使用されつゝある。

◎輸入品と國産品の優劣

支那桐は目立良好にして材色の變化少きため、箆笥その他の家具用に適當であるが、下駄材としては破損し易く、琴に用ひては變音の憂ひあり、國産桐に及ばない。

◎輸入防止の主要處置

桐材の生産増加を圖ることが第一義であるが、近年輸入漸減の傾向に在るを以て、防止策の必要なし。

三五六、ドロノキ及ハコヤナギ

ドロノキは揚柳科に屬する落葉樹にして多く寒地に産す、木質緻密にして柔軟、色白く、火に燃え易きため主としてマッチの軸木として用ひらる。

ハコヤナギも亦揚柳科に屬し、寒帯及温帯に亘つて廣く産す。ドロノキに似て色白く、質柔軟にしてマッチの軸木、楊子、製紙原料等として需要廣汎である。

◎輸入税率
無税

◎主要生産者

北海道を主産地とし、其他全國各府縣に産するも、特掲すべき生産者詳かならず。

◎主要輸入者

- 東洋燐寸株式会社 (神戸)
- 日本燐寸株式会社 ()
- 帝國燐寸株式会社 ()
- 日本燐寸株式会社 ()
- 大同燐寸株式会社 ()
- 株式会社公益社 ()

	國産額		輸入額	
	數量	價額	數量	價額
大正10	88,175石	201,840圓	768,600擔	3,552,620圓
11	14,293	30,334	706,096	3,049,649
12	15,213	22,285	564,331	2,209,133
13	29,648	40,524	547,559	2,201,131
14	19,111	24,205	808,362	2,405,804
昭和1	17,990	29,207	692,769	2,293,560
2	30,082	37,839	882,340	2,891,023
3	11,317	13,249	797,488	2,306,203
4	13,500	14,507	692,047	1,791,469
5	17,586	18,949	550,904	1,627,052

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
北海道	7,177石	7,104圓
青森	1,212	965
岩手	1,010	1,346
京都	92	630
島根	493	403
山口	319	1,359
鹿兒島	188	690

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額
露領亞細亞	797,476擔	2,306千圓
北米	11	0

◎外國競争者

輸入品の殆んど全部露領アジア産品にして、他國品の競争なく、又國産品は産額僅少にして輸入品と對抗し得ざる状態である。

◎輸入の主要原因

燐寸製造は本邦重要工業の一にして、軸木の需要巨額に達するに拘はらず、國産品は僅かに北海道その他に産する微少額にして、需要の百分ノ一にも足らざる状態なるが爲めである。

◎輸入品と國産品の優劣

國産品中最も良質の北海道産品は露領アジア産品に比し、品質に於ては略同様であるが、價格は概ね高價である。

◎輸入防止の主要處置

内地増産を圖ることがその根本策であるが、急激なる増加は望み難く加ふるに本品は燐寸材料に用ひ海外に輸入されるものなるを以て、目下輸入防止策を講ずる必要なし。

三五七、木炭

木炭は燃料として一般家庭に使用されるのみならず、冶金、炭化石灰製造、液體の濾過等に用ひられ、又樹脂の含有量少き柳、梧桐、菩提樹等の木材を原料として焼成せる木炭

額
價額
209,362圓
1,004,417
2,097,969
33,295,373
1,556,861
1,653,764
1,612,409
1,146,485
584,053
457,788

(昭和三年)

價額
1,145千圓
0
0
0
0

◎輸入の主要原因

内地生産の不足に因つて輸入される場合も少くないが、主として價格關係に因るものにして、支那産木炭

◎主要生産者
北海道を主産地とし、其他全國各府縣に産するも、特掲すべき生産者詳かならず。

◎主要輸入者

- 東洋燐寸株式會社 (神戸)
- 日本燐寸株式會社 (〃)
- 帝國燐寸株式會社 (〃)
- 日本燐寸株式會社 (〃)
- 大同燐寸株式會社 (〃)
- 株式會社公益社 (〃)

三五七、木

炭

木炭は燃料として一般家庭に使用されるのみならず、冶金、炭化石灰製造、液體の濾過等に用ひられ、又樹脂の含有量少き柳、梧桐、菩提樹等の木材を原料として焼成せる木炭は、化學用及び火藥製造原料等に用ひらる。

◎輸入税率

燃料用は一〇〇斤に付五五錢其他は價額に對する二〇%

◎主要生産者

大規模生産者殆んどなく、大部分は副業的に生産さるゝを以て特掲すべきものなし。

◎主要輸入者

- 三井物産株式會社 (東京)
- 合資會社清田商店 (〃)
- 株式會社岩井商店 (大阪)

◎外國競争者

競争者として特掲すべき者なきも輸入品は殆んど支那産品にして、主として浙江省温州地方に於て生産されたる堅炭である。

	國産額		輸入額	
	數量	價額	數量	價額
大正10	462,694,325貫	130,848,339圓	1,084,777貫	209,362圓
11	462,542,742	119,765,374	4,947,867	1,004,417
12	466,920,513	124,221,517	9,066,240	2,097,969
13	473,783,105	127,017,802	13,548,653	33,295,373
14	468,936,839	117,478,768	6,889,913	1,556,861
昭和1	444,570,861	100,736,234	45,217,635	1,658,764
2	470,070,690	102,579,659	35,572,109	1,612,409
3	489,842,132	99,315,680	25,517,423	1,146,485
4	492,583,672	101,054,971	12,785,000	584,053
5	491,643,589	100,182,013	12,394,300	457,788

	國産額	
	數量	價額
大正10	88,175石	201,840圓
11	14,293	30,334
12	15,213	22,285
13	29,648	40,524
14	19,111	24,205
昭和1	17,990	29,207
2	30,082	37,839
3	11,317	13,249
4	13,500	14,507
5	17,586	18,949

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
北海道	7,177石	7,104圓
青森	1,212	965
岩手	1,010	1,346
京都	92	630
島根	493	403
山口	319	1,359
鹿兒島	188	690

主要府縣別生産額(昭和四年)

縣名	數量	價額
北海道	52,262,964貫	6,678,388圓
青森	17,969,856	3,482,701
岩手	34,029,482	6,326,406
福島	20,624,541	4,081,209
新潟	12,999,521	3,175,606
岐阜	16,143,339	3,467,513
静岡	13,150,165	3,597,856
島根	17,892,928	3,420,109

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額
支那	254,697百貫	1,145千圓
關東州	16	0
蘭領印度	450	0
露領亞細亞	7	0
暹羅	2	0

◎輸入品と國産品の優劣

國産品中最も良質の北海道産品は露領アジア産品に比し、品質に於ては略同様であるが、價格は概ね高價である。

◎輸入防止の主要處置

内地増産を圖ることがその根本策であるが、急激なる増加は望み難く加ふるに本品は燐寸材料に用ひ海外に輸入されるものなるを以て、目下輸入防止策を講ずる必要なし。

◎輸入の主要原因

内地生産の不足に因つて輸入される場合も少くないが、主として價格關係に因るものにして、支那産木炭は材料の豊富生活程度の低きこと等に依つて國産木炭よりも遙かに廉價にして、運賃及關稅を附加するも尙ほ國産品以下の安値を以て輸入し得るが爲めである。

◎輸入品と國産品の優劣

國産品は概して支那品よりも優良であるが、同格價のものに就て比較すれば寧ろ支那炭が優良である。

◎輸入防止の主要處置

在來の一般燒法に改良を加へて生産費の低減を圖る事、鐵道運賃を引下げて市價の低下を圖る事、薪炭林を保護する事、等が最も肝要である。

◎政府の特別施設

農林省に於ては有利なる製炭方法を研究して其の普及に努め、木炭の貯藏及運搬に補助金を交附する等、斯業の發達を圖りつゝある。

三五八、電氣用カーボン

電氣用カーボンは、電氣に使用する各種の炭素にして、其の主たるものは弧光電燈に使用する炭素棒、發電機用の炭素刷子、電話機用の炭板等である。

◎輸入税率

粉状及粒状は一〇〇斤八圓三〇錢
其他一箇三百瓦以下のものは價額に對する二〇%。

◎主要生産者

日本カーボン株式会社 (東京)
東海電極製造株式会社 (〃)

◎主要輸入者

(カーボンブラツシュ)
精電舎 (東京)
ヒーリング商會 (〃)
株式会社日立製作所 (〃)
株式会社芝浦製作所 (〃)
(アークカーボン)
大洋商會 (東京)
大倉商事株式会社 (〃)
日本カーボン株式会社 (〃)
三井物産株式会社 (〃)
藤岡商會 (神戸)

	國産額		輸入額	
	數量	價額	數量	價額
大正10	2,146,843封度	344,729圓	276,007斤	258,120圓
11	1,552,314	163,315	369,443	358,395
12	3,622,399	422,482	315,585	313,953
13	4,748,737	1,137,726	575,721	606,009
14	3,740,243	1,013,306	669,019	793,714
昭和1	2,628,655	934,419	665,865	670,284
2	3,794,474	1,201,495	612,776	630,841
3	4,138,155	656,624	654,449	696,653
4	3,859,163	587,964	882,435	834,744
5	4,005,262	618,469	909,382	743,802

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
栃木	2,240封度	50圓
東京	166,000	464,853
山梨	4,432	190
岐阜	855,680	50,000
愛知	3,087,077	140,741
兵庫	20,522	750

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額
英吉利	154擔	89千圓
佛蘭西	13	13
獨逸	1,046	101
瑞西	10	3
和蘭	33	13
北米	5,288	474

◎外國競争者

ナショナルカーボン會社(米國)
コロンビアカーボン會社(〃)
モルガナイトカーボン會社(〃)
アチソンングラフアイト會社(〃)
コンランヂカーボン會社(獨逸)
エレクトラカーボン會社(〃)
シーメンヌシケルト會社(〃)
プラニアカーボン會社(〃)
ローレンカーボン會社(〃)

◎輸入の主要原因

需要者が外國品尊重の傾向ある事
カーボンブラツシュの如きは之を使用する發電機電動機が多く外國製なるため、外國製刷子を使用する方が便利なる事、アークカーボンの如きは優良國産なき事等に基く。

◎輸入品と國産品の優劣

輸入品は概して國産品よりも優良にして、而も廉價である。

◎輸入防止の主要處置

製作技術の向上を圖り、生産費の低下及大量生産に努める事が急務。

三五九、製帽用眞田

帽子製造に用ひらるゝ眞田には麥稈眞田、經木眞田及麥稈經木混製眞田等がある。麥稈眞田は大麥、小麥又は裸麥等の麥稈を精練漂白して編成したるものにして、組み方には平

額
價額

—圓
—
—
—
—
937,417
929,531
973,070
815,635
590,147

(昭和三年)

價額

958千圓
3
4
6

◎外國競争者

越智商店 (大阪)
藤井商店 (〃)

輸入の殆んど全部支那産品として

◎主要輸入者

(カーボンブラツシユ)	(東京)
精電舎	(東京)
ヒーリング商會	(東京)
株式會社日立製作所	(東京)
株式會社芝浦製作所	(東京)
(アークカーボン)	(東京)
大洋商會	(東京)
大倉商事株式會社	(東京)
日本カーボン株式會社	(東京)
三井物産株式會社	(東京)
藤岡商會	(神戸)

國産額

年	數量	價額
大正10	2,146,843封度	344,729圓
11	1,552,314	163,315
12	3,622,399	422,482
13	4,748,737	1,137,726
14	3,740,243	1,013,306
昭和1	2,628,655	934,419
2	3,794,474	1,201,495
3	4,138,155	656,624
4	3,859,163	587,964
5	4,005,262	618,469

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
栃木	2,240封度	50圓
東京	166,000	464,853
山梨	4,432	190
岐阜	855,680	50,000
愛知	3,087,077	140,741
兵庫	20,522	750

カーボンブラツシユの如きは之を使用する發電機電動機が多く外國製なるため、外國製刷子を使用する方が便利なる事、アークカーボンの如きは優良國産なき事等に基く。

◎輸入品と國産品の優劣

輸入品は概して國産品よりも優良にして、而も廉價である。

◎輸入防止の主要處置

製作技術の向上を圖り、生産費の低下及大量生産に努める事が急務。

三五九、製帽用眞田

帽子製造に用ひらるゝ眞田には麥稈眞田、經木眞田及麥稈經木混製眞田等がある。麥稈眞田は大麥、小麥又は裸麥等の麥稈を精練漂白して編成したるものにして、組み方には平編、角形、菱形等あり、又細物と粗物との別がある。普通一束の長さは六〇碼、九〇碼又は一二〇碼である。經木眞田は白楊、扁柏、椴松、ハコヤナギ等の木材を薄く削り、精練漂白し又は染色して紐状に組みたるものにして、一束の長さは普通六〇碼である。

◎輸入税率

(一) 麥稈眞田——巾五ミリ以下は價額に對する三〇%、一〇ミリ以下は一〇〇斤に付二一圓七〇錢、其他は同一〇圓九〇錢。
(二) 其他の眞田は價額の二五%。

◎主要生産者

全国各地に生産あるも大部分家内工業的又は副業的生産である。

◎主要輸入者

吉澤商店

(東京)

輸入額

年	數量	價額	數量	價額
大正10	26,943,476束	7,547,606圓	1,811,418斤	—圓
11	20,206,627	6,561,283	1,717,348	—
12	26,937,621	9,845,336	1,815,935	—
13	24,821,865	8,675,876	1,751,954	—
14	32,063,094	12,404,950	1,708,412	—
昭和1	29,139,706	8,878,918	1,799,395	937,417
2	22,403,529	6,745,660	1,808,896	929,531
3	16,950,420	4,767,047	1,784,942	973,070
4	18,610,583	4,572,753	1,888,200	815,635
5	19,860,559	4,429,876	1,522,900	590,147

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額
支那	17,702擔	958千圓
英吉利	2	3
佛蘭西	3	4
獨逸	143	6

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
新潟	4,671,140束	528,387圓
石川	428,683	171,084
静岡	939,958	233,771
愛知	1,837,556	530,237
岡山	3,329,574	1,280,803
廣島	2,305,100	383,688
香川	3,487,079	1,109,528

◎外國競争者

越智商店 (大阪)
藤井商店 (〃)

輸入の殆んど全部支那産品にして支那中部地方の農家に於て副業的に生産されたるものが問屋に買集められ、更に上海等の輸出商の手を経て本邦に輸入さる。

◎輸入の主要原因

國內生産額は需要を充し得るが、支那産品は價格頗る低廉にして而も品質優良なるがためである。

◎輸入品と國産品の優劣

國産品は麥の副産物たる麥稈を原料とし、支那産品は眞田の原料とすることを目的として栽培したる麥稈を原料とす。故に支那産品は國産品に比して品質頗る良好にして而も價格は低廉である、經木眞田は輸入殆んどなし。

◎輸入防止の主要處置

加工原料に使用するものなるを以て、寧ろ輸入を奨励すべきである。

三六〇、包蓆及藺蓆

包蓆(アンペラ)は支那廣東地方に産する蒲を原料として製したるものにして、生糸、絹反物、茶、砂糖花苳、眞田等の輸出品包装、及び一般包装用に供せらる。大きさは用途に依り種々あり、生糸用は縦五〇吋横四〇吋、茶箱用は縦四〇吋横三〇吋、砂糖用は縦二四吋横一四吋乃至一五吋が普通である。

藺蓆は藺を以て織製したるものにして、單製と連製、及び無地物と染色物との別がある。單製は幅三尺二三寸、長さ五尺四、五寸、連製は幅三六吋、長さ一卷四〇碼、共に室内及廊下等の敷物として用ひらる。

◎輸入税率

包蓆は無税。

藺蓆は一〇〇斤に付五圓六五錢。

◎主要生産者

アンペラは國産殆んどなく、藺蓆は岡山、福岡、廣島等各縣下に於て家内工業的に生産さる。

◎主要輸入者

三井物産株式會社

(東京)

	國産額		輸入額	
	數量	價額	數量	價額
大正10	—	10,874,533圓	7,860千枚	1,037,248圓
11	—	8,312,065	11,844	1,335,882
12	—	9,994,899	9,164	1,094,130
13	—	10,380,884	11,398	1,935,265
14	—	9,862,968	14,012	2,598,864
昭和1	—	7,990,014	14,140	2,741,718
2	—	7,751,586	15,114	1,793,180
3	—	8,133,581	14,893	1,536,652
4	—	8,825,685	15,729	1,462,858
5	—	8,876,590	15,614	1,165,521

(藺蓆の産額)

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
石川	—	61,434圓
福井	—	47,529
静岡	—	129,861
愛知	—	78,100
岡山	—	6,736,113
廣島	—	429,111
香川	—	50,000
福岡	—	974,636

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額
支那	14,540千枚	1,481千圓
關東州	22	2
香港	330	53

◎外國競争者

アンペラは廣東省雷州府及肇慶府の産品多く、藺蓆は輸入僅少である

◎輸入の主要原因

アンペラは輸出品の包装用として最適、之に代るべき安價なる代用品なきためである。

◎輸入品と國産品の優劣

支那産品は價格低廉であるが、品質は粗悪である。

◎輸入防止の主要處置

アンペラに對しては適當なる代用品なきため、輸入は止むを得ず。

- 株式會社安宅商會 (大阪)
- 湯淺貿易株式會社 (神戸)
- 濱口商事株式會社 (神戸)
- 赤尾商店 (神戸)
- 角中商店 (神戸)
- 山上商事株式會社 (神戸)
- 亞米三商店 (横濱)
- ストロング商會 (横濱)
- ジャイルス商會 (神戸)
- サンマー貿易會社 (神戸)

三六一、傘

傘には洋傘と和傘とあり、洋傘は絹布、綾織、グロリヤ、綿繻子、綾綿布等の布帛を以て張り、和傘は竹柄、竹骨に紙を張りたるものにして洋傘は歐米諸國より、和傘は専ら支

額 價額

—圓
—
—
235,414
27,503
25,148
—
—
—

額(大正十四年)

價額
21,221圓
4,952
1,050
177
90

◎主要輸入者

- 岡本信太郎商店 (東京)
- 伊勢勘商店 (横濱)
- 近文商店 (神戸)

三六二、萬年筆

萬年筆は普通軸にエボナイトを用ひ嘴に金ペンを使用するも、其の構造に種々あり、形状大小等亦千差萬別である。多年輸入に仰ぎつゝあつたが、現今に於ては國産發達し、輸入額は逐年減少しつゝある。

◎輸入税率

價額に對する三〇%。

◎主要生産者

- 株式会社並木製作所 (東京)
- 細沼株式會社 (シ)
- 伊藤農夫雄(スワン萬年筆)(シ)
- 丸善株式會社 (シ)
- 伊東屋 (シ)
- プラトン文具製造株式會社(大阪)
- 坂田製作所 (廣島)

◎主要輸入者

- 伊東屋 (東京)
- 米國貿易株式會社 (シ)
- 三越呉服店 (シ)
- 丸善株式會社 (シ)

◎外國競争者

米國産品及英國産品、獨逸産品等

年次	國産額		輸入額	
	數量	價額	數量	價額
大正10	—	1,322,192圓	—	—圓
11	—	2,838,551	—	—
12	—	279,565	—	—
13	—	1,530,901	—	—
14	—	262,250	—	—
昭和1	—	1,628,461	—	400,000 (大正年間平均)
2	—	1,651,883	—	38,355
3	—	2,121,069	—	230,825
4	—	2,654,187	—	180,675
5	—	2,885,468	—	252,625
				119,155

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
東京	—	1,764,279圓
静岡	—	19,700
大阪	—	277,090
廣島	—	30,000
大分	—	30,000

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額
英吉利	—	70千圓
獨逸	—	10
北米	—	135

にして、著名品左の如し。

- ムーア萬年筆 (米國製品)
- ウオターマン萬年筆 (シ)
- コンクリー萬年筆 (シ)
- カエコ萬年筆 (シ)
- カーター萬年筆 (シ)
- オフト萬年筆 (英國製品)
- モンブラン萬年筆 (獨逸製品)

◎輸入の主要原因

本品は元來外國産品にして、多年輸入せられたる結果現今に於ても外國製尊重の觀念去らず、且つ外國製は概して優良なるが爲めである。

◎輸入品と國産品の優劣

輸入品は凡て高價なる優等品のみである。故に國産品に比すれば何れも優秀であるが、同價格のものに就て比較すれば國産品は寧ろ實用に適す。但しイリヂウムの融着及研磨等に就ては國産品は尙ほ研究の餘地が少くない。

◎輸入防止の主要處置

現今の輸入品は殆んど贅澤品なるを以て、關稅引上を要す。

三六三、護謨製品

(タイヤ、靴及玩具を除く)

ゴム製品の中生ゴムより製するものにはゴム液、ゴムペースト、デンタルゴム等の各種、軟質ゴムより製するものには塊、竿、紐、板、管、帶、糸、ストリップ、リング、ワッ

額	價額
1,088,993圓	
1,133,047	
918,076	
2,028,813	
1,650,561	
1,858,050	
1,789,128	
1,735,515	
1,480,991	
966,177	

額	價額
166千圓	
2	
102	
3	
1,409	
48	

◎主要輸入者

- 横濱ゴム製造株式會社 (東京)
- 三井物産株式會社 (シ)
- 三菱商事株式會社 (シ)

伊藤農夫社(フロン万年筆)
丸善株式會社
伊東屋
プラトン文具製造株式會社(大阪)
坂田製作所 (廣島)

◎主要輸入者

伊東屋 (東京)
米國貿易株式會社 (シ)
三越呉服店 (シ)
丸善株式會社 (シ)

◎外國競争者

米國産品及英國産品、獨逸産品等

三六三、護謨製品

(タイヤ・靴及玩具を除く)

ゴム製品の中生ゴムより製するものにはゴム液、ゴムペースト、デンタルゴム等の各種、軟質ゴムより製するものには塊、竿、紐、板、管、帶、糸、ストリップ、リング、ワッシャー、字消ゴム等の各種、及びゴム製海綿、嚙口、靴底、水囊、敷布、サツク、煙草袋等の各種製品、又確實ゴムより製するものには塊、條、竿、管、リング、ワッシャー、櫛、或はペン軸、万年筆等の各種製品がある。

◎輸入税率

ゴム液は價額に對する二五%。
其他各種類に依り一〇〇斤に付五圓〇五錢乃至一〇九圓、又は一五%乃至三〇%(詳細規定略す)

◎主要生産者

三田土ゴム製造株式會社(東京)
合資會社明治ゴム製造所(シ)
東京ゴム株式會社 (シ)
角一ゴム合資會社 (大阪)
攝津ゴム株式會社 (神戸)
内外ゴム合資會社 (シ)
阪東式調帶合資會社 (シ)

	國産額		輸入額	
	數量	價額	數量	價額
大正10	—	20,872,388圓	425,157斤	1,088,993圓
11	—	27,429,955	482,373	1,133,047
12	—	15,210,928	458,257	918,076
13	—	20,875,649	987,903	2,028,813
14	—	24,845,021	909,961	1,650,561
昭和1	—	23,204,860	—	1,858,050
2	—	24,963,972	—	1,789,128
3	—	24,971,080	—	1,735,515
4	—	25,205,321	—	1,480,991
5	—	25,541,387	—	966,177

備考(ゴム製品中タイヤ、靴、玩具を除く) (タイヤ、靴及玩具を除く)

	國産額	
	數量	價額
大正10	—	1,322,192圓
11	—	2,838,551
12	—	279,565
13	—	1,530,901
14	—	262,250
昭和1	—	1,628,461
2	—	1,651,883
3	—	2,121,069
4	—	2,654,187
5	—	2,885,468

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
東京	—	1,764,279圓
静岡	—	19,700
大阪	—	277,090
廣島	—	30,000
大分	—	30,000

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額
英吉利	—	166千圓
佛蘭西	—	2
獨逸	—	102
白耳義	—	3
北米	—	1,409
加奈陀	—	48

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
北海道	—	216,854圓
東京	—	11,584,431
京都	—	396,769
大阪	—	5,233,819
兵庫	—	5,220,127
岡山	—	537,060
廣島	—	622,780

◎輸入品と國産品の優劣

輸入品は凡て高價なる優等品のみである。故に國産品に比すれば何れも優秀であるが、同價格のものに就て比較すれば國産品は寧ろ實用に適す。但しイリヂウムの融着及研磨等に就ては國産品は尙ほ研究の餘地が少くない。

◎輸入防止の主要處置

現今の輸入品は殆んど贅澤品なるを以て、關稅引上を要す。

◎主要輸入者

横濱ゴム製造株式會社 (東京)
三井物産株式會社 (シ)
三菱商事株式會社 (シ)

◎外國競争者

グットイヤー會社 (米國)
ユナイテッドステーツゴム輸出會社 (シ)
グールドリッチ會社 (シ)
ダンロップラバー會社 (英國)

◎輸入の主要原因

輸入品は國産不足のもの、國産品よりも品質優良又は價格低廉なる特殊品にして、醫療用各種ゴム製品等の類が大部分である。

◎輸入品と國産品の優劣

普通品に於ては大差ないが、特殊の技術を有するものは輸入品が優良且つ比較的廉價である。

◎輸入防止の主要處置

原料の輸入を奨励し、製品に對しては高率の關稅を課すべし。

三六四、フィルム (寫眞用及活動寫眞用)

寫眞用フィルムはセルロイドの薄板に感光性臭化ゼラチン膜を附したるものにして、平フィルムと巻フィルムとの二種がある。又平フィルムにはキヤビネ型と手札型の兩種あり、巻フィルムは普通手札型六枚乃至十二枚を連せしめたるものである。活動寫眞用フィルムは數百尺以上連續せるものにして、映寫の際發火の虞れあるを以て、普通醋酸纖維素を原料とせるセルロイドを使用す。

◎輸入税率

感光性フィルムは一斤(内裝共)に付一圓。

現像済フィルムは同八圓二五錢。其他は價額に對する四〇%。

◎主要生産者

- 日本活動寫眞株式会社 (東京)
 - 松竹キネマ株式会社 (シ)
 - 帝國キネマ株式会社 (大阪)
 - 東亞キネマ株式会社 (シ)
- (但し右は現像済活動寫眞用フィルムの生産者にして、感光性フィルムは國産見るべきものなく、殆んど全部輸入しつゝある)

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量		價額	
	數量	價額	數量	價額
利西逸義利米	142	百斤	104	千圓
吉蘭 耳大	422		248	
英佛獨白伊北	1,552		534	
	188		78	
	90		61	
	3,389		2,668	

(活動寫眞用フィルム、寫眞用フィルムの合計)

◎主要輸入者

- 淺沼商會 (東京)
- 小西六本店 (シ)
- 近江屋寫眞部 (シ)
- 三國貿易株式会社 (シ)
- 三隆商會 (京都)
- 日本活動寫眞株式会社 (東京)
- 松竹キネマ株式会社 (シ)
- 桑田商會 (大阪)
- 長瀬商店 (シ)
- 藤岡商會 (神戸)

◎外國競争者

- (感光性フィルム)
- イーストマン・コダック會社(米)
- アグファ會社 (獨逸)
- (現像フィルム)
- パラマウント會社 (米國)
- ユニバアサル會社 (シ)
- ユニナイテッドアーチスト社(シ)
- フォックス會社 (シ)
- セルメトロ會社 (シ)
- ファーストナショナル會社(シ)

◎輸入の主要原因

感光性フィルムの製造に就ては各

方面に於て研究されつゝあるも、未だ完全なる製品なきため内地消費の殆んど全部輸入に仰ぐ外なく、現像フィルム即ち映寫用フィルムは日活松竹其の他の各映畫會社に於て盛んに製作され、一部は海外に輸出されるに至つたが、外國映畫には又國産映畫に於て望み得ざる獨特の興趣あるを以て愛好者少なからず、需要依然として減ぜざるに因る。

◎輸入品と國産品の優劣

生フィルムは優劣を比較すべき國産品なく、現像フィルムは各國産共にそれ〴〵獨特の長所ありて優劣を斷じ難いが、世界的に販路を有し幾千萬のファンを有する外國大映畫會社製品には國産品の及ばざる點が少くない。

◎輸入防止の主要處置

生フィルムは國産困難なるを以て俄に輸入を防止し難く、映畫に於ては各映畫會社の努力に依る外國映畫ファンの減少に俟つの外なかるべし。

三六五、玩具

玩具には日常器具、人物、禽獸或は魚介類を摸したるもの、又は教育的玩具、機械的玩具、自動玩具、或は幻燈、樂器、活動寫眞器等の構造簡單なるもの等々種類頗る多く、其

額 價額

—圓
—
—
202,699
54,569
46,298
52,378
53,645
41,696
38,973

(昭和三年)

價額
7,564圓
35,236
5,205
4,632
1,200
500
300

◎主要輸入者

- 八千代商會 (横濱)
- 金剛商會 (神戸)
- 謙信洋行 (シ)

感光性フィルムは一斤(内装共)に付一圓。
現像済フィルムは同八圓二五錢。
其他は價額に對する四〇%。

◎主要生産者

- 日本活動寫真株式會社 (東京)
 - 松竹キネマ株式會社 (シ)
 - 帝國キネマ株式會社 (大阪)
 - 東亞キネマ株式會社 (シ)
- (但し右は現像済活動寫真用フィルムを生産者にして、感光性フィルムは國産見るべきものなく、殆んど全部輸入しつゝある)

輸入額

年次	數量	價額
大正10	247,293斤	4,171,469圓
11	550,569	5,126,110
12	485,719	3,892,909
13	654,148	5,181,356
14	329,845	3,183,133
昭和1	470,541	3,448,467
2	531,043	3,325,997
3	581,426	3,728,900
4	568,420	3,794,310
5	636,339	3,640,703

(活動寫真用フィルム、寫真用フィルム)

◎輸入の主要原因

感光性フィルムの製造に就ては各

- (感光性フィルム)
- イーストマン・コダック會社(米)
- アグファ會社 (獨逸)
- (現像フィルム)
- バラマウント會社 (米國)
- ユニバアサル會社 (シ)
- ユナイテッドアーチスツ社(シ)
- フオックス會社 (シ)
- セルメトロ會社 (シ)
- フリーストナショナル會社(シ)

◎輸入防止の主要處置

生フィルムは國産困難なるを以て俄に輸入を防止し難く、映畫に於ては各映畫會社の努力に依る外國映畫フアン減少に俟つの外なかるべし。

三六五、玩具

玩具には日常器具、人物、禽獸或は魚介類を摸したるもの、又は教育的玩具、機械的玩具、自動玩具、或は幻燈、樂器、活動寫真器等の構造簡單なるもの等々種類頗る多く、其の製作材料も木、金屬、セルロイド、ゴム、紙等各種がある。

◎輸入税率

價額に對する五〇%。

◎主要生産者

- 東京玩具製造株式會社 (東京)
- 北川金屬玩具工場 (シ)
- 東洋堂 (シ)
- 川澄製作所 (シ)
- 倉持長吉商店 (シ)
- 千代田工業株式會社 (シ)
- 東京セルロイド加工所 (シ)
- 東京ゴム株式會社 (シ)
- 筒中セルロイド工業所 (大阪)
- 小山セルロイド株式會社(シ)
- 角一ゴム合資會社 (シ)
- 三田倉吉商店 (シ)
- 株式會社ミカド商會 (京都)
- 合資會社中京玩具商會 (名古屋)
- 千種製陶合名會社 (シ)

輸入額

年次	數量	價額
大正10	—	5,438,998圓
11	—	4,628,564
12	—	4,032,675
13	—	6,480,481
14	—	7,054,612
昭和1	—	6,146,386
2	—	7,082,520
3	—	6,716,985
4	—	6,547,296
5	—	6,858,567

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
埼玉	—	45,800圓
東京	—	4,239,642
神奈川	—	46,518
愛知	—	404,171
大阪	—	649,322
福岡	—	28,800

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額
北米	—	7,564圓
獨逸	—	35,236
英吉利	—	5,205
佛蘭西	—	4,632
白耳	—	1,200
支那	—	500
丁抹	—	300

◎主要輸入者

- 八千代商會 (横濱)
- 金剛商會 (神戸)
- 謙信洋行 (シ)

◎外國競争者

- レイマン會社 (獨逸)
- ピング會社 (シ)
- スチーフ會社 (シ)

◎輸入の主要原因

輸入品就中獨逸製品はゼンマイ物の構造及製作技術に於て特長あり。又モヘア布を使用せる玩具は優良國産なき事等に因る。

◎輸入品と國産品の優劣

機械物、モヘア布製等特殊なるものを除けば大差なく、木製及紙製に於ては寧ろ國産品が優秀である。

◎輸入防止の主要處置

現今に於ては一部特殊品が僅少輸入されるに過ぎざるを以て、輸入防止策を講ずるに及ばず。

三六六、家畜飼料

牛馬其他家畜類の飼料は、家畜の種類に依つて夫々異り。又同一家畜の飼料にも生草及乾草を始めとし其の種類頗る雑多であるが、輸入品の主たるものは各種粕類、糠類、及び製糖の廢棄糖蜜と甘蔗搾粕を以て製したるモラスキツト、モラスシンミール等である。

◎輸入税率
無税

◎主要生産者
全國の農家、及び製粉業者、製油業者、製糖業者、醸造業者等。

- ◎主要輸入者
三井物産株式會社 (東京)
三菱商事株式會社 ()
室田商店 ()
平本卯之吉商店 ()
木村徳兵衛商店 ()
峰崎商店 ()
阿部幸商店 ()
山口光太郎商店 (神戸)
田村商會 ()
株式會社安宅商會 (大阪)

年	國産額		輸入額	
	數量	價額	數量	價額
大正10	—	29,795,001圓	—擔	—圓
11	—	6,585,853	—	—
12	—	10,604,539	—	—
13	—	8,098,551	24,174	73,599
14	—	13,101,107	157,025	202,332
昭和1	—	8,233,252	60,983	512,444
2	—	9,328,271	341,141	1,443,799
3	—	19,222,662	1,411,227	6,741,640
4	—	12,543,028	2,603,803	12,260,648
5	—	17,586,545	2,605,480	10,030,506

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
群馬	—	1,549,217圓
埼玉	—	1,143,039
東京	—	1,305,660
神奈川	—	4,023,255
愛知	—	870,588
岡山	—	529,648
兵庫	—	2,937,025
福岡	—	1,900,124

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額
支那	43,696擔	165千圓
關東州	155,907	677
蘭領印度	4,144	12
佛蘭印度支那	11,988	49
露領亞細亞	3,796	8
暹羅	3,578	13
北米	54,879	263
加奈陀	723,631	3,487

◎外國競争者

支那就中南部支那產品、滿洲產品米國產品及び露領亞細亞產品。

◎輸入の主要原因

家畜飼養者の激増、外國產品就中支那及び滿洲等の產品は頗る廉價にして、運賃を加算するも尚ほ國產品より低廉なる事、輸入税を要せざる事等が主たるものである。

◎輸入品と國産品の優劣

輸入品の中米國産粉末飼料は、輸出に對する検査嚴重なるため品質優良、夾雜物少くして遙かに國産品に優る。支那產品は著しく低廉ではあるが土砂其他の夾雜物多く、國産品以下の劣等品である。

◎輸入防止の主要處置

飼料の國産増加を圖る事、牧草及野草の貯藏方法を改善する事等が急務であるが、畜産の發展を期するには飼料の安價供給が最も肝要なるを以て、安價なる外國飼料の輸入は必ずしも防止の必要を認めない。

三六七、麵

麥粉製造の副産物たる麵は、蛋白質、脂肪分、及び可溶無窒物を多量に含有するを以て、牛、馬、豚等の家畜飼料に好適せるのみならず、糖化酵素、ペプターゼ等を含有するた

年	價額
大正10	8,915,119圓
11	11,831,769
12	10,937,013
13	14,930,172
14	15,033,355
昭和1	13,382,278
2	11,881,206
3	14,236,900
4	12,384,793
5	10,898,554

年	價額
昭和3	10,040千圓
4	4,175
5	3
6	16

- ◎外國競争者
阿部幸商店 (東京)
峰崎商店 ()
山口光太郎商店 ()
田村商店 ()

業者、製糖業者、醸造業者等。

◎主要輸入者

三井物産株式会社	(東京)
三菱商事株式会社	()
室田商店	()
平本卯之吉商店	()
木村徳兵衛商店	()
峰崎商店	()
阿部幸商店	()
山口光太郎商店	(神戸)
田村商會	()
株式會社安宅商會	(大阪)

三六七 麩

麥粉製造の副産物たる麩は、蛋白質、脂肪分、及び可溶無窒物を多量に含有するを以て、牛、馬、豚等の家畜飼料に好適せるのみならず、糖化酵素、ペプターゼ等を含有するため、麵麩、醬油、デンプターゼ、乳酸、味の素等の製造原料に供せられ、用途頗る廣汎である。

輸入品の包装は麻袋入にして、普通一〇〇斤入である。

◎輸入税率

無税

◎主要生産者

日本製粉株式会社	(東京)
日清製粉株式会社	()
松本米穀製粉株式会社	(埼玉)
株式會社増田製粉所	(神戸)
日本精米製粉株式会社	()
大阪製粉株式会社	(大阪)
名古屋製粉株式会社	(名古屋)

◎主要輸入者

三井物産株式会社	(東京)
三菱商事株式会社	()
木村徳兵衛商店	()

	國産額		輸入額	
	數量	價額	數量	價額
大正10	—	484,755圓	2,447,263擔	8,915,119圓
11	—	559,963	2,726,925	11,831,769
12	—	747,206	2,671,293	10,937,013
13	—	1,179,956	3,372,117	14,930,172
14	—	1,135,997	3,061,156	15,033,355
昭和1	—	1,348,400	3,033,082	13,382,278
2	—	1,181,914	3,120,583	11,881,206
3	—	1,322,289	3,760,325	14,236,900
4	—	1,410,564	3,433,415	12,384,793
5	—	1,432,876	3,453,348	10,898,554

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
栃木	—	52,341圓
群馬	—	107,013
東京	—	87,639
神奈川	—	309,340
愛知	—	147,940
兵庫	—	191,983
福岡	—	143,964

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額
支那	2,626,868擔	10,040千圓
關東州	1,127,993	4,175
英領印度	899	3
露領亞細亞	4,307	16

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
群馬	—	1,549,217圓
埼玉	—	1,143,039
東京	—	1,305,660
神奈川	—	4,023,255
愛知	—	870,588
岡山	—	529,648
兵庫	—	2,937,025
福岡	—	1,900,124

◎輸入防止の主要處置

飼料の國産増加を圖る事、牧草及野草の貯藏方法を改善する事等が急務であるが、畜産の發展を期するには飼料の安價供給が最も肝要なるを以て、安價なる外國飼料の輸入は必ずしも防止の必要を認めない。

輸入品の中米國産粉未飼料は輸出に對する検査嚴重なるため品質優良、夾雜物少くして遙かに國産品に優る。支那産品は著しく低廉ではあるが土砂其他の夾雜物多く、國産品以下の劣等品である。

◎外國競争者

阿部幸商店	(東京)
峰崎商店	()
山口光太郎商店	()
田村商店	()

◎輸入の主要原因

近年飼料經濟上麩の需要逐年激増しつつあるに拘らず、國産額は僅少にして到底需要を充すに足らず、且つ支那及滿洲産は價格頗る低廉なるに因る。

◎輸入品と國産品の優劣

品質に於ては殆んど同等である。

◎輸入防止の主要處置

價格に於て到底支那及滿洲産品に對抗し難く、且つ國産額は不足勝ちなるを以て輸入は止むを得ず、之を防止する必要はない。

三六八、大豆糟

大豆糟は大豆より大豆油を搾取したる残滓にして、普通扁平なる圓形塊状をなすため俗に大豆玉と稱す。搾残りの油分を含み、且つ窒素を多量に含有するを以て、米、麥其他一般農作物の肥料に好適し、又家畜の飼料に供せらる。

◎輸入税率

無税

◎主要生産者

- 日清製油株式会社 (東京)
- 豊年製油株式会社 (シ)
- 四日市豆粕製造會社 (四日市)
- 日華製油株式会社 (福岡)
- 萬三商店 (愛知)

◎主要輸入者

- 三井物産株式会社 (東京)
- 三菱商事株式会社 (シ)
- 株式會社安宅商會 (大阪)
- 武齊洋行 (シ)

◎外國競争者

滿洲産品最も多く輸入され、支那産品之に亞ぐ。

	國産額		輸入額	
	數量	價額	數量	價額
大正10	52,927,266貫	17,622,078圓	20,106,925擔	85,793,475圓
11	60,157,183	21,234,527	18,366,601	89,375,154
12	67,835,842	23,574,970	21,339,605	97,122,850
13	57,322,506	20,813,039	18,638,469	91,675,248
14	62,357,738	24,260,685	16,802,572	92,895,084
昭和1	72,110,959	26,595,066	21,110,690	109,777,049
2	61,379,612	19,541,439	19,764,658	88,471,018
3	64,999,370	21,068,148	16,359,564	73,362,606
4	65,327,546	21,189,360	13,864,279	64,804,797
5	63,869,557	20,540,986	15,450,044	57,731,093

主要府縣別生産額(昭和四年)

縣名	數量	價額
群馬	1,474,459貫	465,514圓
神奈川	1,582,165	526,076
静岡	24,785,553	7,994,794
愛知	6,188,818	1,964,972
三重	1,833,383	620,560
兵庫	12,182,547	3,897,405
廣島	1,042,910	339,594
福岡	9,368,344	3,138,706

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額
支那	7,906,220擔	34,844千圓
關東州	8,438,441	38,449
露領亞細亞	14,903	68

◎輸入の主要原因

肥料としての大豆粕の需要は頗る巨額に達するが、國內に於ける生産は頗る微々たるものにして到底需要を充し得ない。然るに大豆油の國內需要は生産全量を消化し得ざる状態にして、現在以上に製油する時は當然供給過剩に陥る虞れがある。故に大豆油の副産物として製造される大豆粕の國産額は、或る程度以上に増加すること困難であるが、さればとて大豆油の賣行きを無視して大豆粕のみを生産することは是れ亦到底採算不可能である。是れ安價なる滿洲産品が巨額に輸入される第一の原因である。

◎輸入品と國産品の優劣

品質に於ては優劣がないが、價格は國産品が概ね高價である。

◎輸入防止の主要處置

國産の増加は困難なる状態に在り、而も需要は減少せざるを以て輸入は止むを得ざるものにして、特に防止策を講ずる必要なし。

三六九、棉子糟

棉子糟は棉の子實より棉實油を搾取したる残滓にして、扁平なる塊状に製せられたるものと、粉末のものがある。搾残の油分の外に窒素化

額
價額

- 4,387,443圓
- 2,978,912
- 4,860,424
- 3,032,120
- 5,941,714
- 5,220,175
- 4,785,918
- 4,320,485
- 4,795,242
- 5,032,511

昭和三年)

價額

- 4,320千圓
- 0

◎輸入の主要原因

る場合もあるが、平素に於ては専ら支那産品が輸入され、市場獨占の状態である。

豊年製油株式会社 (シ)
 四日市豆粕製造會社 (四日市)
 日華製油株式會社 (福岡)
 萬三商店 (愛知)

◎主要輸入者

三井物産株式會社 (東京)
 三菱商事株式會社 (シ)
 株式會社安宅商會 (大阪)
 武齊洋行 (シ)

◎外國競争者

滿洲産品最も多く輸入され、支那産品之に亞ぐ。

三六九、棉子槽

棉子槽は棉の子實より棉實油を搾取したる殘滓にして、扁平なる塊状に製せられたるものと、粉末のものがある。搾殘の油分の外に窒素化合物を多量に含有するを以て、主として肥料に供せらる。

◎輸入税率

無税

◎主要生産者

攝津製油株式會社 (大阪)
 吉原製油所 (シ)
 太田製油株式會社 (シ)
 平野製油株式會社 (シ)
 大阪製油所 (シ)
 阪口製油所 (シ)
 高井製油株式會社 (シ)
 共同製油株式會社 (シ)

◎主要輸入者

三井物産株式會社 (シ)
 東京三菱商事株式會社 (シ)
 吉原定次郎商店 (大阪)

◎外國競争者

英領印度及滿洲方面より輸入され

	國 産 額		輸 入 額	
	數量	價 額	數量	價 額
大正10	5,237,679貫	1,568,342圓	974,809貫	4,387,443圓
11	4,285,712	1,446,423	583,284	2,978,912
12	3,816,216	1,306,650	901,088	4,860,424
13	3,774,561	1,401,913	708,870	3,032,120
14	5,708,393	2,120,819	1,044,915	5,941,714
昭和1	7,885,157	2,588,308	965,662	5,220,175
2	7,822,160	2,021,838	1,004,361	4,785,918
3	8,596,507	2,622,067	869,551	4,320,485
4	8,336,818	2,318,545	976,246	4,795,242
5	8,437,007	2,454,687	1,368,750	5,032,511

	國 産 額	
	數量	價 額
大正10	52,927,266貫	17,622,078圓
11	60,157,183	21,234,527
12	67,835,842	23,574,970
13	57,322,506	20,813,039
14	62,357,738	24,260,685
昭和1	72,110,959	26,595,066
2	61,379,612	19,541,439
3	64,999,370	21,068,148
4	65,327,546	21,189,360
5	63,869,557	20,540,986

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數量	價 額
東 京	8,302貫	1,598圓
靜 岡	18,550	6,559
愛 知	69,610	22,789
大 阪	6,700,523	1,994,714
奈 良	50,283	18,696
愛 媛	90,840	36,970
福 岡	1,642,864	533,931

主要國別輸入額(昭和三年)

國 名	數量	價 額
支 那	869,649貫	4,320千圓
英領印度	2	0

主要府縣別生産額(昭和四年)

縣 名	數量	價 額
群 馬	1,474,459貫	465,514圓
神奈川	1,582,165	526,076
靜 岡	24,785,553	7,994,794
愛 知	6,188,818	1,964,972
三 重	1,833,383	620,560
兵 庫	12,182,547	3,897,405
廣 島	1,042,910	339,594
福 岡	9,368,344	3,138,706

のみを生産することは是れ亦至底採算不可能である。是れ安價なる滿洲産品が巨額に輸入される第一の原因である。

◎輸入品と國産品の優劣

品質に於ては優劣がないが、價格は國産品が概ね高價である。

◎輸入防止の主要處置

國産の増加は困難なる状態に在り、而も需要は減少せざるを以て輸入は止むを得ざるものにして、特に防止策を講ずる必要なし。

る場合もあるが、平素に於ては専ら支那産品が輸入され、市場獨占の状態である。

◎輸入の主要原因

本品は専ら棉子油製造の副産物として生産されるものである。然るに本邦に於ける棉子油の需要は比較的少量にして、棉子油生産額も亦微々たるものである。故に本品の國産額も少く、到底需要を充し得ざる状態に在る。是れ本品輸入の第一因であるが、更に棉子槽は肥料として頗る有効にして而も比較的低廉なるため、一般農家の需要漸増しつつあることも亦一因である。

◎輸入品と國産品の優劣

品質に於ては毫も優劣なく、價格も大差はないが、概して國産品が高價である。

◎輸入防止の主要處置

肥料に使用して頗る有利であり、而も國內生産は常に需要を充すに足らざる状態なるを以て、輸入を防止することは却つて不得策である。

三七〇、菜子糟

菜子糟は菜種油の搾滓にして、扁平塊状を爲す。多量の窒素分と多量の油分を含有するを以て、古來一般農作物の肥料に供せらる。

◎輸入税率

無税

◎主要生産者

- 攝津製油株式会社 (大阪)
- 吉原製油所 (〃)
- 熊澤製油合資會社 (四日市)
- 四日市豆粕製造會社 (〃)
- 井上豆粕製造所 (神戸)
- 株式會社奥田製油所 (滋賀)

◎主要輸入者

- 三井物産株式會社 (東京)
- 三菱商事株式會社 (〃)
- 室田商店 (〃)
- 平本卯之吉商店 (〃)
- 峰崎商店 (〃)
- 木村徳兵衛商店 (〃)
- 山口光太郎商店 (神戸)
- 田村商店 (〃)
- 吉原定次郎商店 (大阪)

	國産額		輸入額	
	數量	價額	數量	價額
大正10	22,251,828貫	8,470,659圓	776,000擔	3,169,110圓
11	19,543,828	7,948,458	1,184,710	5,350,549
12	17,219,855	7,451,696	1,290,871	6,243,141
13	26,668,310	8,008,155	1,503,393	7,087,244
14	18,503,134	8,185,825	1,438,833	7,488,899
昭和1	27,554,321	11,072,583	1,639,662	7,360,459
2	26,315,739	9,871,772	1,079,989	4,435,603
3	21,164,632	9,098,477	1,469,746	7,699,598
4	23,548,054	9,154,326	1,160,579	5,051,823
5	26,017,563	9,504,767	800,646	2,716,675

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
神奈川	1,707,212貫	778,519圓
三重	2,643,804	4,876,752
滋賀	2,936,361	1,429,614
大阪	3,800,882	1,707,220
福岡	1,882,625	795,648
佐賀	236,678	99,531
鹿兒島	2,488,127	968,315

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額
支那	809,822擔	3,844千圓
關東州	1,695	9
英領印度	646,085	3,783
英吉利	2,117	7
白耳義	831	3
濠太刺利	2,550	9

◎外國競争者

支那産品、及び英領印度産品最も多く、支那産品は主として漢口種糟及び上海種糟の兩者、英領印度産品は雜植物の油糟である。

◎輸入の主要原因

本品は一般農作物の肥料として効力あるのみならず、煙草の肥料に用ふれば煙草の風味を増し、且つ火附けを好くする特効あるを以て、煙草栽培には缺く可らざる必需肥料である。又一般植物に用ひても最も穩健なる肥料とし愛用され、各方面に於ける需要頗る多きに拘らず、國産少きを爲めである。

◎輸入品と國産品の優劣

國産品は品質に於て輸入品よりも優良であるが、生産量僅少、且つ價格概ね高價である。

◎輸入防止の主要處置

國産少く、而も必需肥料なるを以て輸入を防止すべき理由なく、寧ろ輸入を奨励すべきである。

三七一、獸骨粉

獸骨粉は牛、馬其他各種獸類の骨を煮沸して脂肪を除去し、更に之を粉碎して粉末となしたるものにして、窒素約五%酸二五%を含有し、主と

額價額

- 2,375,700圓
- 3,789,465
- 3,829,958
- 4,462,959
- 4,581,730
- 3,710,795
- 3,454,831
- 3,405,017
- 3,851,473
- 2,276,478

昭和三年)

價額

- 1,917千圓
- 740
- 708
- 13
- 1
- 3
- 18

◎外國競争者

支那産品、關東州産品及び英領印度産品等。

株式会社奥田製油所 (滋賀)

◎主要輸入者

三井物産株式会社 (東京)
 三菱商事株式会社 (〃)
 室田商店 (〃)
 平本卯之吉商店 (〃)
 峰崎商店 (〃)
 木村徳兵衛商店 (〃)
 山口光太郎商店 (神戸)
 田村商店 (〃)
 吉原定次郎商店 (大阪)

國産額

年次	數量	價額
大正10	22,251,828貫	8,470,659圓
11	19,543,828	7,948,458
12	17,219,855	7,451,696
13	26,668,310	8,008,155
14	18,503,134	8,185,825
昭和1	27,554,321	11,072,583
2	26,315,739	9,871,772
3	21,164,632	9,098,477
4	23,548,054	9,154,326
5	26,017,563	9,504,767

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
神奈川	1,707,212貫	778,519圓
三重	2,643,804	4,876,752
滋賀	2,936,361	1,429,614
大阪	3,800,882	1,707,220
福岡	1,882,625	795,648
佐賀	236,678	99,531
鹿兒島	2,488,127	968,315

なる肥料とし愛用され、各方面に於ける需要頗る多きに拘らず、國産少なき爲めである。

◎輸入品と國産品の優劣

國産品は品質に於て輸入品よりも優良であるが、生産量僅少、且つ價格概ね高價である。

◎輸入防止の主要處置

國産少く、而も必需肥料なるを以て輸入を防止すべき理由なく、寧ろ輸入を奨励すべきである。

三七一、獸骨粉

獸骨粉は牛、馬其他各種獸類の骨を煮沸して脂肪を除去し、更に之を粉碎して粉末となしたるものにして窒素約五%酸二五%を含有し、主として肥料に用ひらる。

◎輸入税率

無税

◎主要生産者

武齊洋行 (大阪)

(本邦に於ける獸骨粉は市場品として見るべきものなく、各地方に於て生産されたるものを夫々その地方に於て消費する状態にして、大規模の生産者として擧ぐべきは、邦人の投資に依り支那天津及青島方面に於て獸骨粉製造を爲しつつある武齊洋行のみである)

◎主要輸入者

武齊洋行 (大阪)
 株式會社安宅商會 (〃)
 三井物産株式会社 (東京)
 三菱商事株式会社 (〃)
 鈴鹿商店 (〃)

輸入額

年次	數量	價額	輸入額	數量	價額
大正10	7,961,890貫	3,062,014圓	488,858擔	2,375,700圓
11	7,676,583	3,100,963	679,207	3,789,465
12	8,807,851	3,703,624	675,262	3,829,958
13	6,385,819	3,699,732	719,288	4,462,959
14	9,269,775	4,310,594	717,597	4,581,730
昭和1	9,712,342	4,148,364	610,080	3,710,795
2	8,806,778	3,493,027	626,728	3,454,831
3	8,962,210	3,492,358	599,922	3,405,017
4	8,677,544	3,281,586	666,776	3,851,473
5	8,894,321	3,445,267	503,613	2,276,478

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
山形	144,702貫	54,341圓
東京	142,680	353,055
奈良	326,770	108,744
宮崎	260,572	108,219
鹿兒島	7,156,683	2,853,998

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額
支那	335,185擔	1,917千圓
關東州	127,021	740
英領印度	128,942	708
露領亞細亞	4,063	13
白耳義	169	1
和蘭	847	3
加奈陀	3,398	18

◎外國競争者

支那産品、關東州産品及び英領印度産品等。

◎輸入の主要原因

獸骨粉は過燐酸肥料にして、本邦の如き傾斜地多き國に於ては他の即効性過燐酸肥料に比し著しく好適す。即ち普通の過燐酸肥料は傾斜地に於ては雨等のため流失の憂ひがあるが、骨粉の如き遅効性肥料に於ては其の憂ひ少く、従つて一般農作物肥料として農家に歡迎さる。然るに國內に於ける産額は微々たるものにして到底需要に應じ得ざる状態に在るを以て輸入さる。

◎輸入品と國産品の優劣

國産品は市場に現れるもの少く、従つて優劣を比較し難いが、品質に於ては大差ない。

◎輸入防止の主要處置

需要多きに拘らず國産之に伴はざるを以て輸入は止むを得ざるべく、特に防止策の必要を認めぬ。

三七二、水産肥料

水産肥料の主たるものは鯨、鰯、鱈、鯨等を乾燥したるものにして、窒素、及び燐酸を多量に含有するを以て一般農作物の肥料に好適す、國産豊富にして略國內需要を充し得るが、價格關係等に依り輸入される場合も少なからず、輸入品の主たるものは乾鰹にして主として露領亞細亞産である。

◎輸入税率

無税

◎主要生産者

北海道、樺太、千葉縣其他全國的に生産さる。其の主要取扱者は左の如し。

- 岩手惣兵衛商店 (東京)
- 伊藤宇兵衛商店 (〃)
- 柴鹿商店 (〃)
- 鈴鹿商店 (〃)
- 新井卯三郎商店 (〃)
- ◎主要輸入者
- 三井物産株式會社 (東京)
- 三菱商事株式會社 (〃)
- 鈴鹿商店 (〃)

	國産額		輸入額	
	數量	價額	數量	價額
大正10	—	26,180,733圓	21,093擔	163,879圓
11	—	23,053,347	374,784	3,043,951
12	—	26,837,153	403,381	3,453,852
13	—	28,065,312	254,671	2,193,565
14	—	33,529,628	285,178	2,732,312
昭和1	60,702,502貫	29,880,409	328,479	2,745,226
2	65,385,681	29,448,175	25,667	163,736
3	57,780,466	24,170,128	2,508	14,792
4	60,182,346	26,587,010	48,378	399,021
5	59,010,874	25,874,226	74,391	430,123

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
北海道	33,216,238貫	15,906,984圓
青森	2,416,787	946,214
岩手	1,086,026	538,357
茨城	1,246,817	632,379
千葉	5,092,690	1,613,573
富山	1,723,124	574,398
石川	1,512,080	704,235

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額
露領亞細亞	2,503擔	14千圓
比律賓諸島	3	0
英吉利	2	0

◎外國競争者

往時巨額輸入されたる當時に於ては、濠洲産品、スエーデン産品、ノルウェー産品、英國産品及び英領印度産品等の間に競争行はれ、又國産品は是等外國産品に壓迫され勝ちであつたが、近時輸入激減し、僅かに露領亞細亞産品等の輸入を見るに過ぎず、有力競争者として特に掲ぐべきものなきに至つた。

◎輸入の主要原因

主として國産の不足に基く。

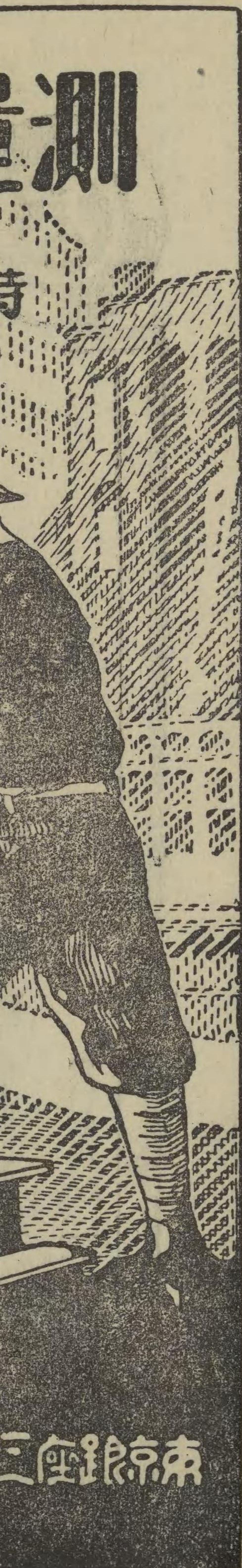
◎輸入品と國産品の優劣

品質に於ては國産品が優良であるが、價格は概ね輸入品よりも高價である。

◎輸入防止の主要處置

肥料經濟上何等輸入防止の必要なく、寧ろ輸入を奨励し、輸入の圓滑を圖るべきである。

- 株式會社岩井商店 (大阪)
- 株式會社安宅商店 (〃)



三座銀京東

測量製圖氣象器

時計 装身具 金銀盃



東京銀座三丁目 玉屋商店

電話 七〇三・六〇三・五〇三
二〇八・一〇八

北海道、樺太、千葉縣其他全国的に生産さる。其の主要取扱者は左の如し。

- ◎主要輸入者
- 岩手物産兵衛商店 (東京)
 - 伊藤宇兵衛商店 (東京)
 - 柴鹿商店 (東京)
 - 鈴鹿商店 (東京)
 - 新井卯三郎商店 (東京)
 - 三井物産株式会社 (東京)
 - 三菱商事株式会社 (東京)
 - 鈴鹿商店 (東京)

	國 産 額	
	數 量	價 額
大正10	—	26,180,733圓
11	—	23,053,347
12	—	26,837,153
13	—	28,065,312
14	—	33,529,628
昭和1	60,702,502貫	29,880,409
2	65,385,681	29,448,175
3	57,780,466	24,170,128
4	60,182,346	26,587,010
5	59,010,874	25,874,226

◎主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數 量	價 額
北海道	33,216,238貫	15,906,984圓
青 森	2,416,787	946,214
岩 手	1,086,026	538,357
茨 城	1,246,817	632,379
千 葉	5,092,690	1,613,573
富 山	1,723,124	574,398
石 川	1,512,080	704,235

◎輸入の主要原因

主として國産の不足に基く。

◎輸入品と國産品の優劣

品質に於ては國産品が優良であるが、價格は概ね輸入品よりも高價である。

◎輸入防止の主要處置

肥料經濟上何等輸入防止の必要なく、寧ろ輸入を奨励し、輸入の圓滑を圖るべきである。

良優
國產絹洋服
 紳士用、御婦人用のこらず
 取揃へ…皆様の御用命
 を御待ち申上げます

地方より御注文と御照會は高島屋通信販賣部へ
 振替口座東京・五一〇番

東京
 京橋
高島屋

電話京橋(代表)一一五〇番
 長一一五〇番

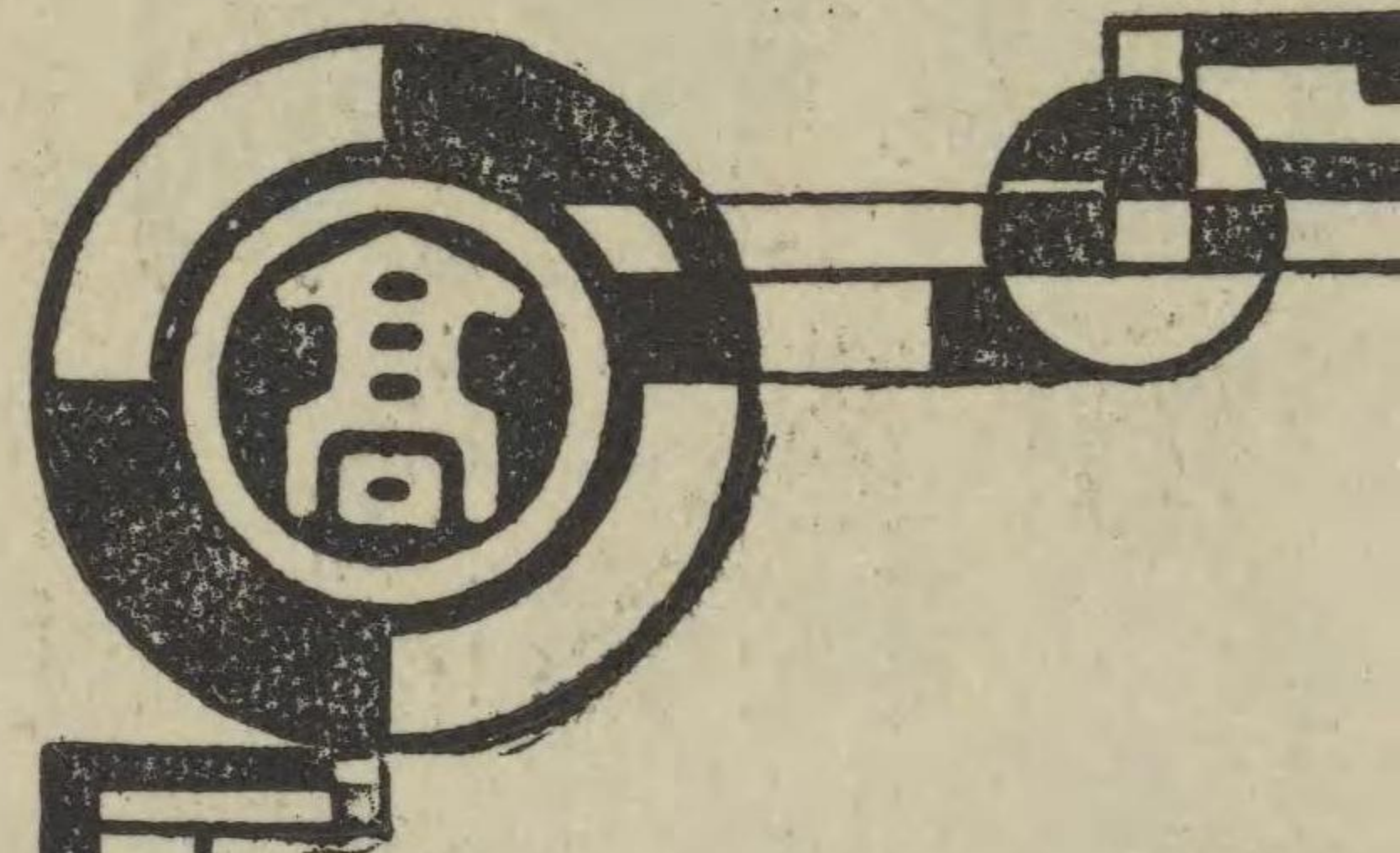


實用百貨店

松坂屋

營業所

東京 東
京 東
名古屋 大
阪 日
上 津 大 筋
野座町三



地方より御注文と御照會は高島屋通信販賣部へ
振替口座東京・五一〇番

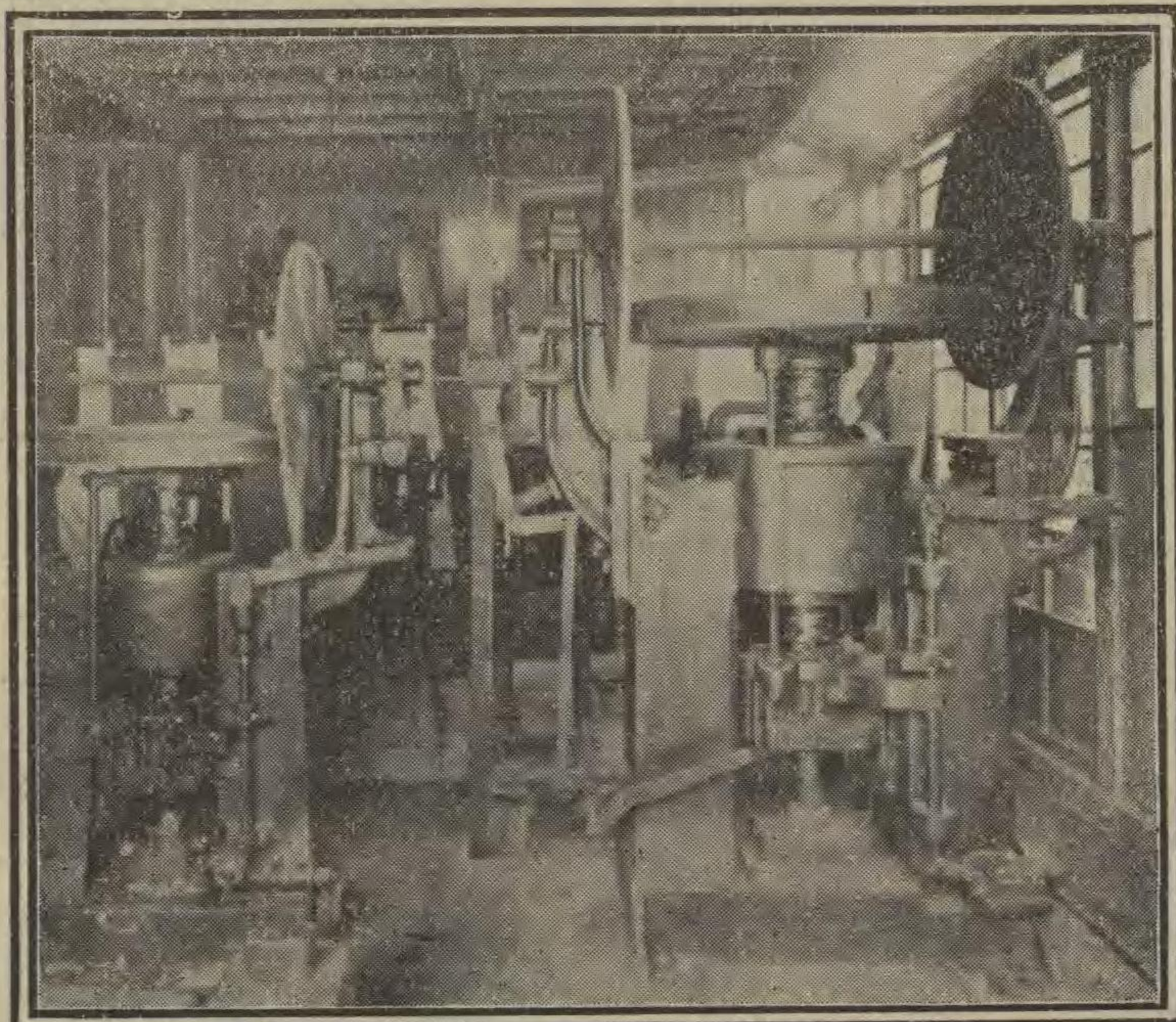
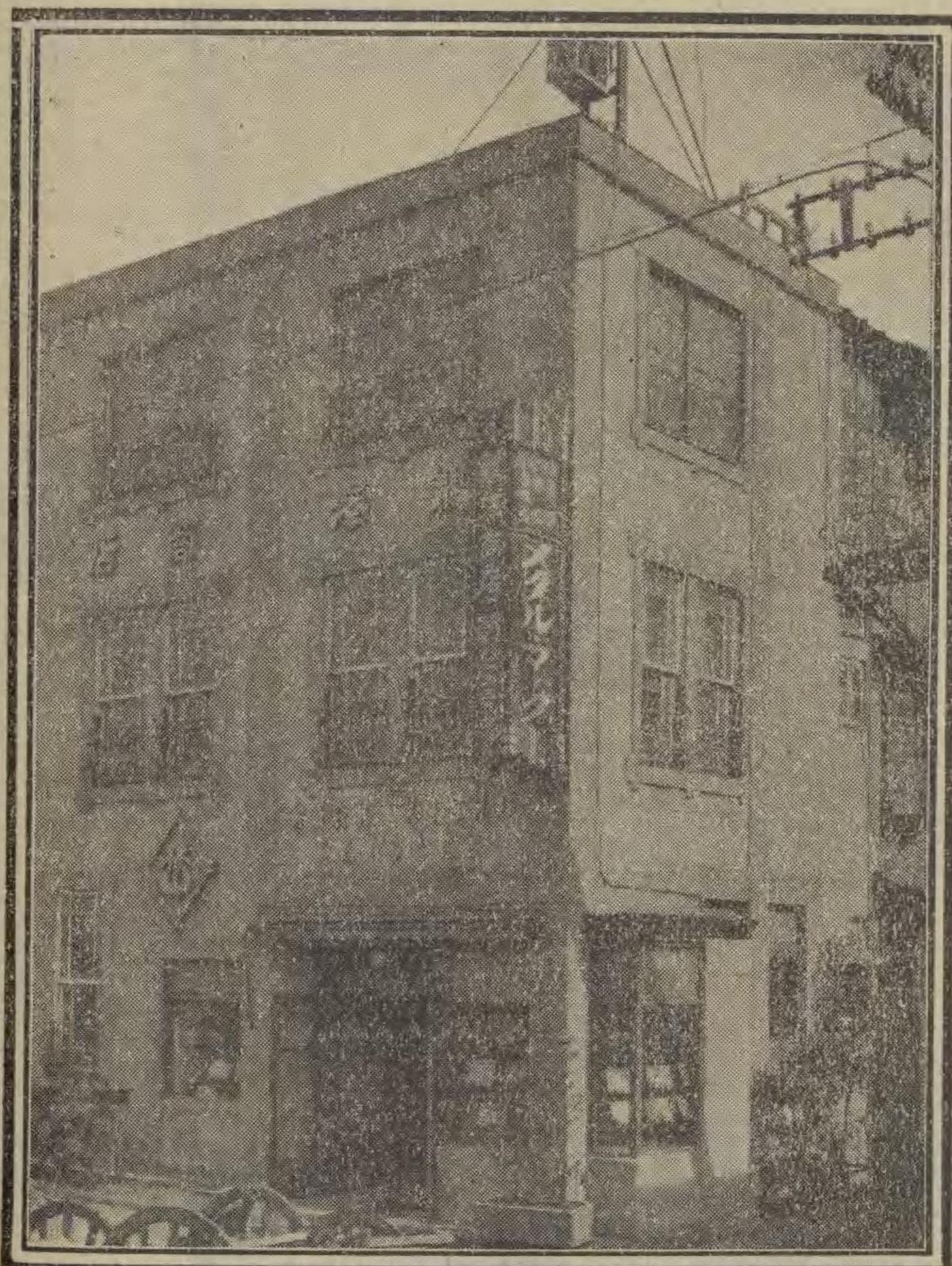
東京
京橋

高島屋

電話京橋(代表)一一五〇番
長一一五〇番



カタログ送呈



鵜澤留吉

東京市神田區西小川町二ノ五
電話九段(33)二三三九番
振替口座一九四八〇番

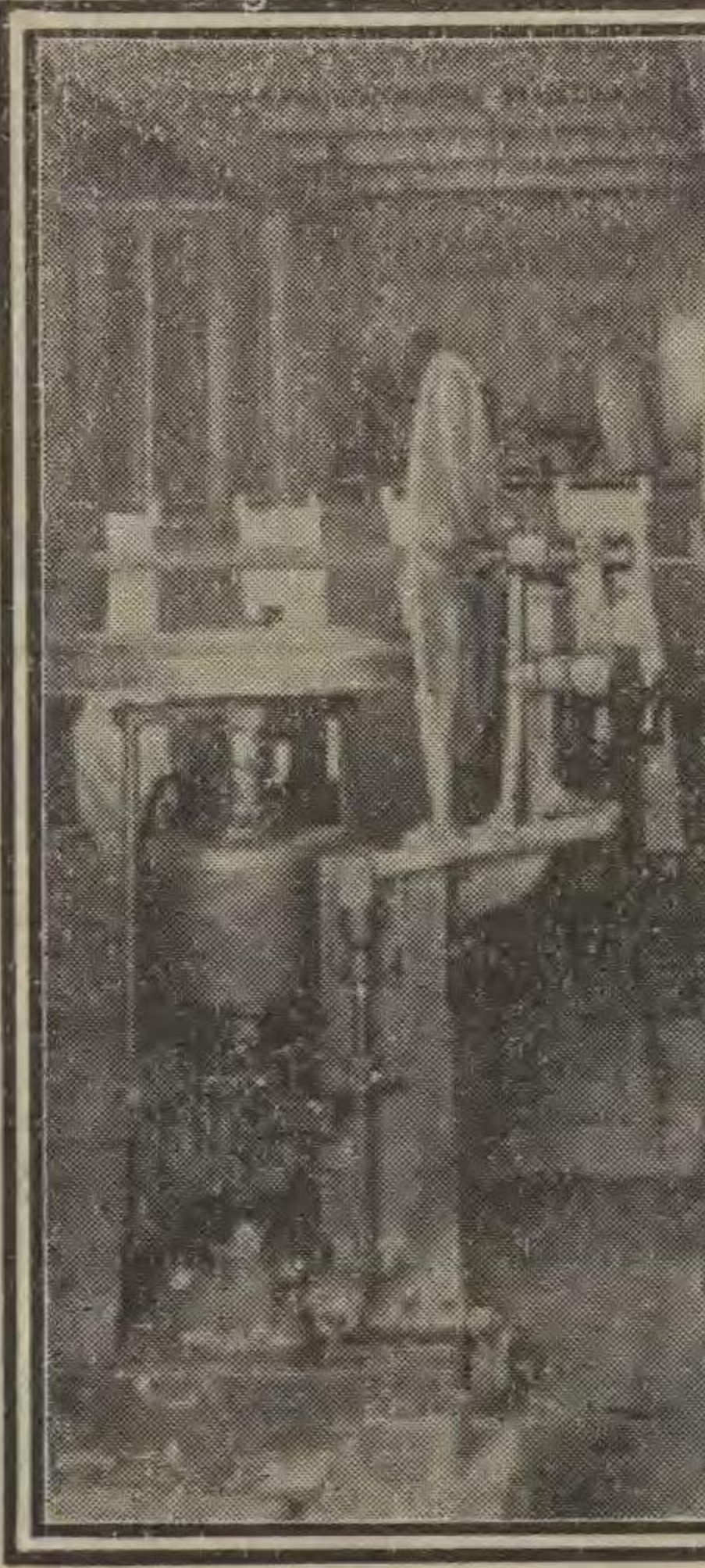
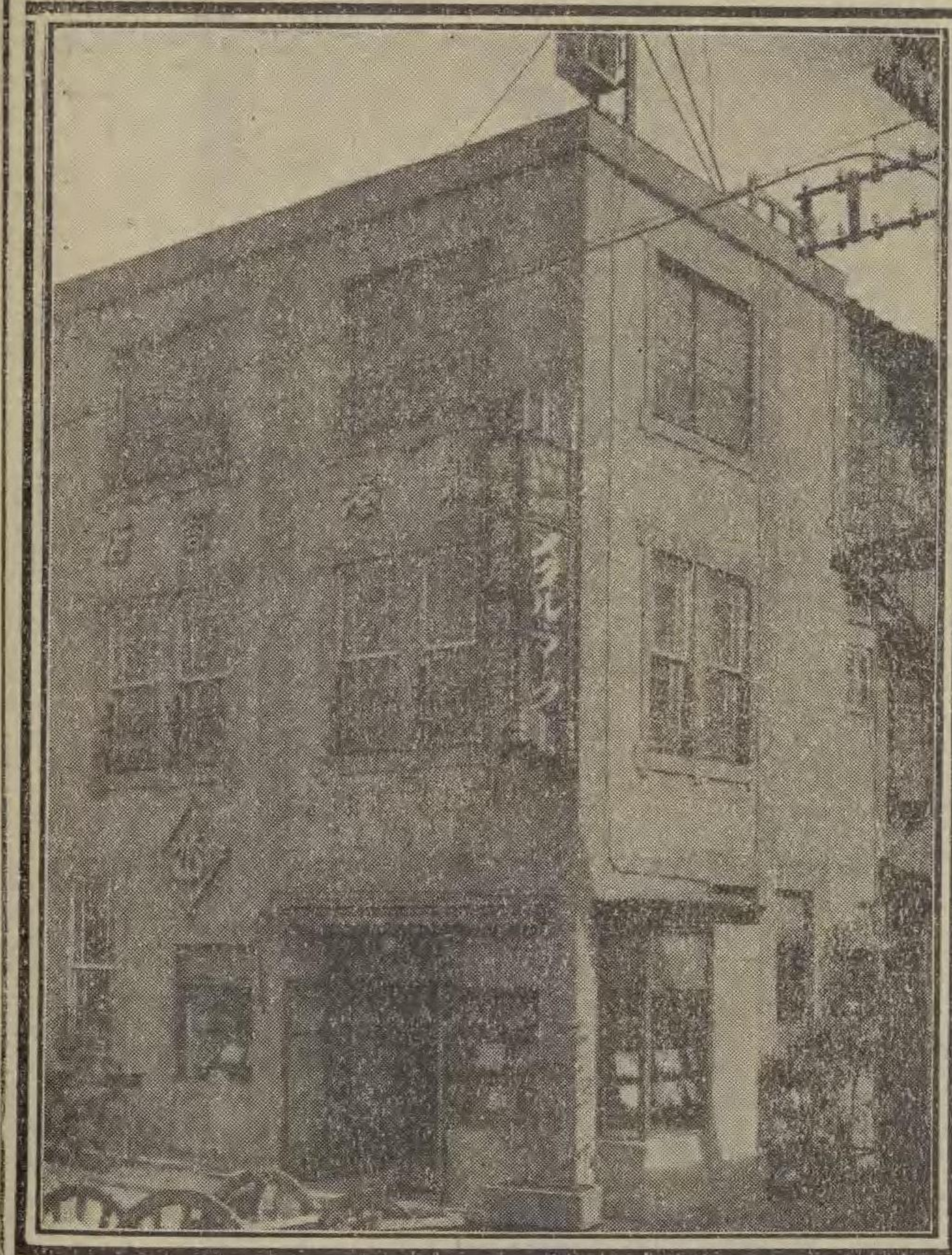
貴金屬品
美術七寶
徽章、賞牌
メダル
マメ
優勝カップ
優

製作所

各種運動競技用メダル
優勝カップ金銀盃木杯
銀行、會社、商店員徽章
青訓及女子青年團徽章
各種團體及組合員徽章
麻雀其他遊戲用メダル

カタク送呈

諸官廳御用
會社
名
所作製章徽外内
東京市神田區南區保町二番地
電話九段三二六・三五二番



鵜澤留吉

東京市神田區西小川町二ノ五
電話九段(33)二三三九番
振替口座一九四八〇番

コーヒーを豆から一々つくる時代は去りました
 香味を永く完全に保留する事に成功せし

ダコスタ コーヒー

熱湯を	加ふれば	すぐ	ハット	コーヒー
氷水を	加ふれば	すぐ	アイスド	コーヒー

香味 優良

原料たるコーヒー豆の撰擇と其の配合に
 最善をつくしてあります

コーヒーの豆一ポンドに相當する

小瓶 (半パイント入) 一圓

コーヒーの豆二ポンドに相當する

大瓶 (一パイント入) 一圓九十錢

紐育市 パーク アヴェニュー 一二五〇

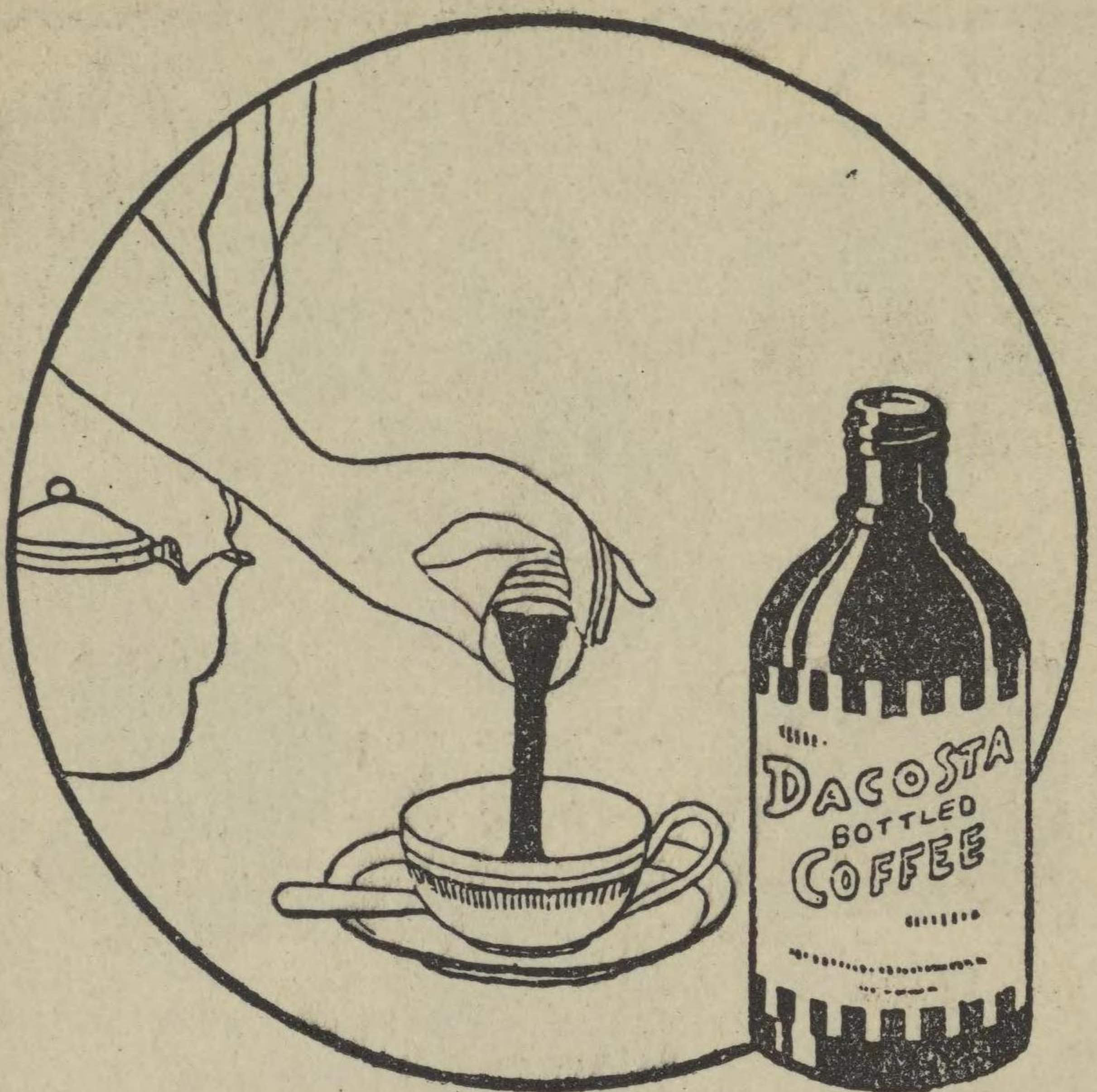
ダコスタ コーヒー コーポレーション

東京市日本橋區江戸橋一丁目福壽ビル

ダコスタ コーヒー 日本販賣所

電話 日本橋 三九一九

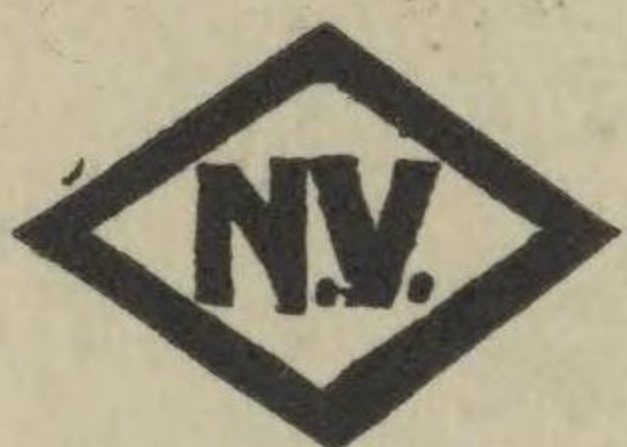
販賣店 酒店 食品店 百貨店 常販賣所



營業課目



ベニヤ板
 人造空
 角丸卓
 許特
 製造



日進ベニヤ製作所

東京府大森新宿新田四三六

電話大森二四九二番
 第二工場 大森町貴船二八五三



紐育市 パーク アヴェニュー 一二五〇

ダコスタ コーヒー コーポレーション

東京市日本橋區江戸橋一丁目福壽ビル

ダコスタ コーヒー 日本販賣所

電話日本橋三九一九

販賣店 酒店 食料品店 百貨店 常販賣所

營業種

- 一、各種ベニヤ板
- 一、輸出貨
- 一、茶函

理想的亞鉛鍍金

セラードライジング

亞鉛乾式鍍金

- 電鐵用架線用品
- 電氣附屬品並ニ外燈類
- コンチットチューブ及附屬品
- 建築金物ポールトナツト類
- 其ノ他一般の鍍金

日本乾式鍍金工場

保坂勝人

東京澁谷町豊澤十四

電話高輪(44)七一七九番

建金問

築物屋

N・K・S・印製品
グロリー印製品

發賣元

中

敷

商

店

出張店

東京市神田區東紺屋町一番地
電話浪花(67)四二〇四番
振替東京五四八二番
埼玉縣川口町榮町二丁目(中央道路)
電話川口五〇七番

N. K. S. 印刷製品
グロリー印刷製品
發賣元

建築金問
屋物築

中

敷

商

店

東京市神田區東紺屋町一番地

電話浪花(67)四二〇四番

振替東京五四八二番

出張店 埼玉縣川口町榮町二丁目(中央道路)
電話川口五〇七番

營業種目

- 一、各種ベニヤ板
- 一、輸出向ゴム函
- 一、ベニヤドア



合資
會社

丸玉ベニヤ板製造所

東京市外砂町本砂三一一番地

電話本所(73)〇九七四番



關西ベニヤ板製造所

大阪市港區南恩加島町一番地

電話櫻川七五三番

海陸諸機械、火造品、鐵骨
橋梁、建築金物、自動車用
品、鐵道、土木、鑛山用品類
製造業

諸官省御用

田太田鐵工所

東京市芝區白金志田町三〇
電話高輪(44)七五八二番

專賣特許
第七六三三六號

川島「エロフィンヒーター」

時代の要求が生む「エロフィンヒーター」は熱汽器として又冷
器として

は弊社にて



光は東方より

浦
株式會社

專賣特許

モリタポンプ

專賣特許

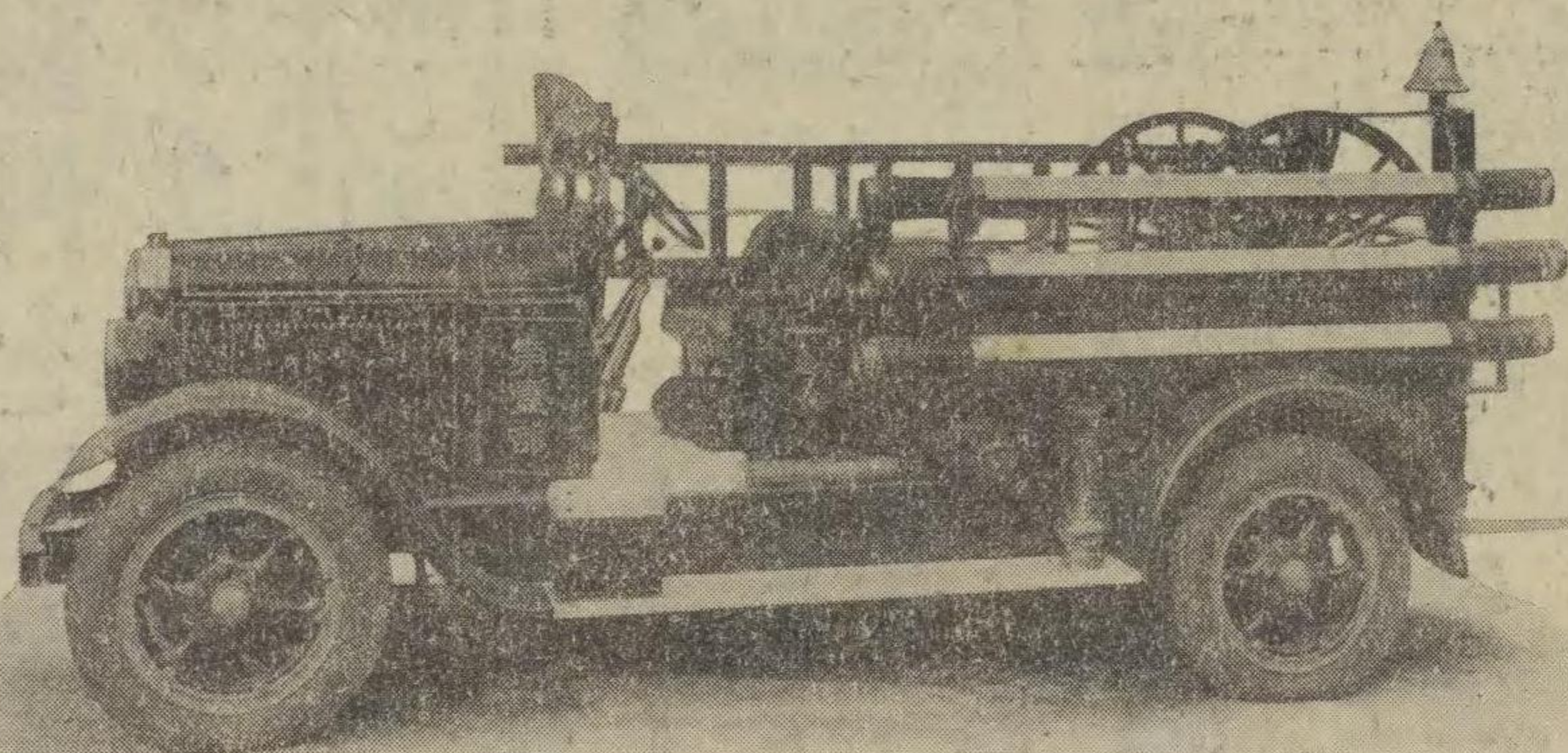
日 65236號

英 262292號

佛 610664號

獨 93067號

米 81690號



ベントウ唧筒自動車
唧筒自動車
手挽カソリンポンプ
布ホース
ゴムホース
消防器具一式
消防器具一式

一手販賣店



三菱商事株式會社機械部



獨逸ベントウ會社東洋總代理店

株式會社 森田製作所

大阪 市港區八雲町
電話西(三七三一)長四一一九四

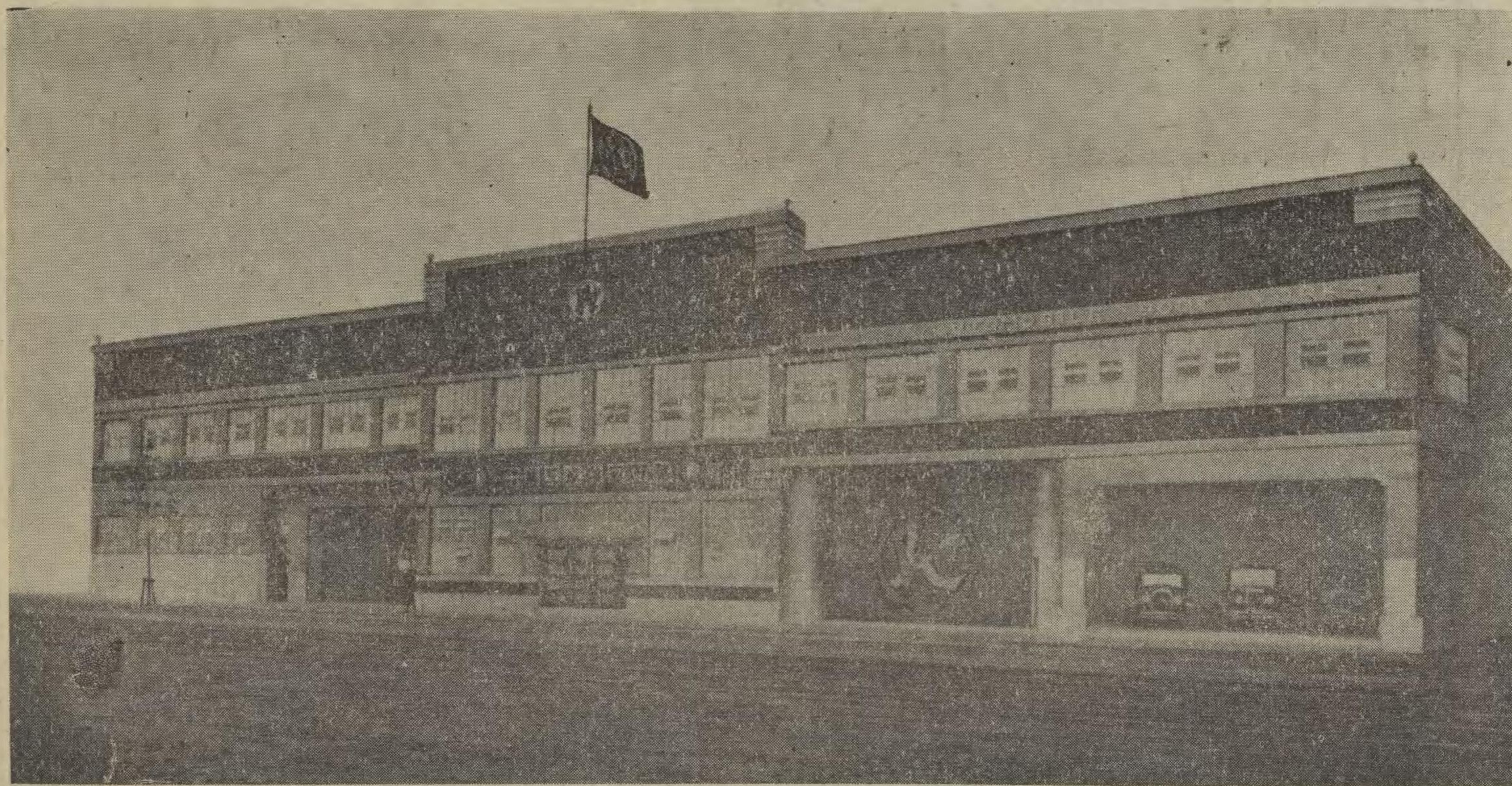
東京營業所

日本橋區馬喰町二丁目
電話浪花(二二七三番)
代表番號(二二七三番)

金澤出張所

金澤市木ノ新保二番町
電話 八五六番

颯爽たる高級各種バスボディーは弊社にて



光は東方より

脇田スピリット

を構成しつゝ

前人未踏の

處女地へ

東京 芝 浦

脇田自動車工業株式會社

許

ブシカ

專賣特許

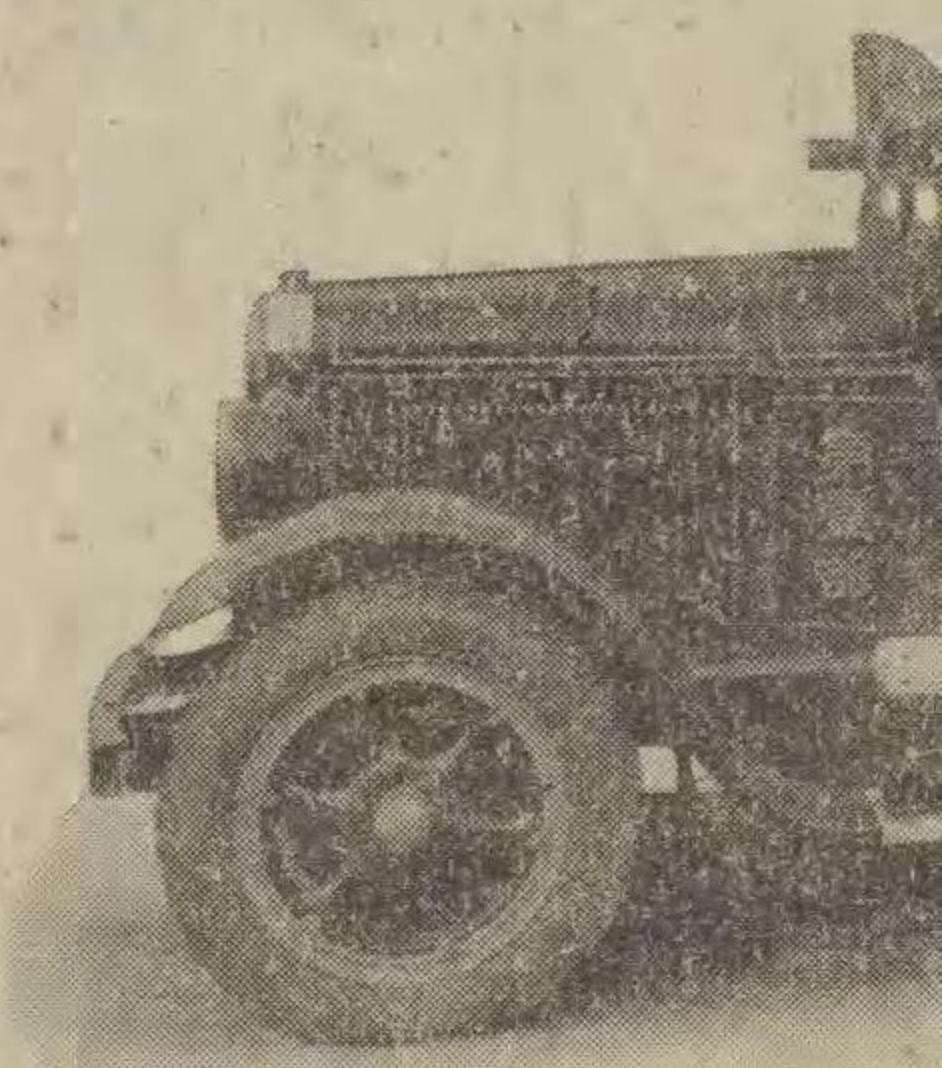
日 65236號

英 262292號

佛 610664號

獨 93067號

米 81690號



消 防 器 具 一 式
消 火 器 具 一 式

一手販賣店



三菱商事株式會社機械部

金澤市木ノ新保二番町
電話 八五六番

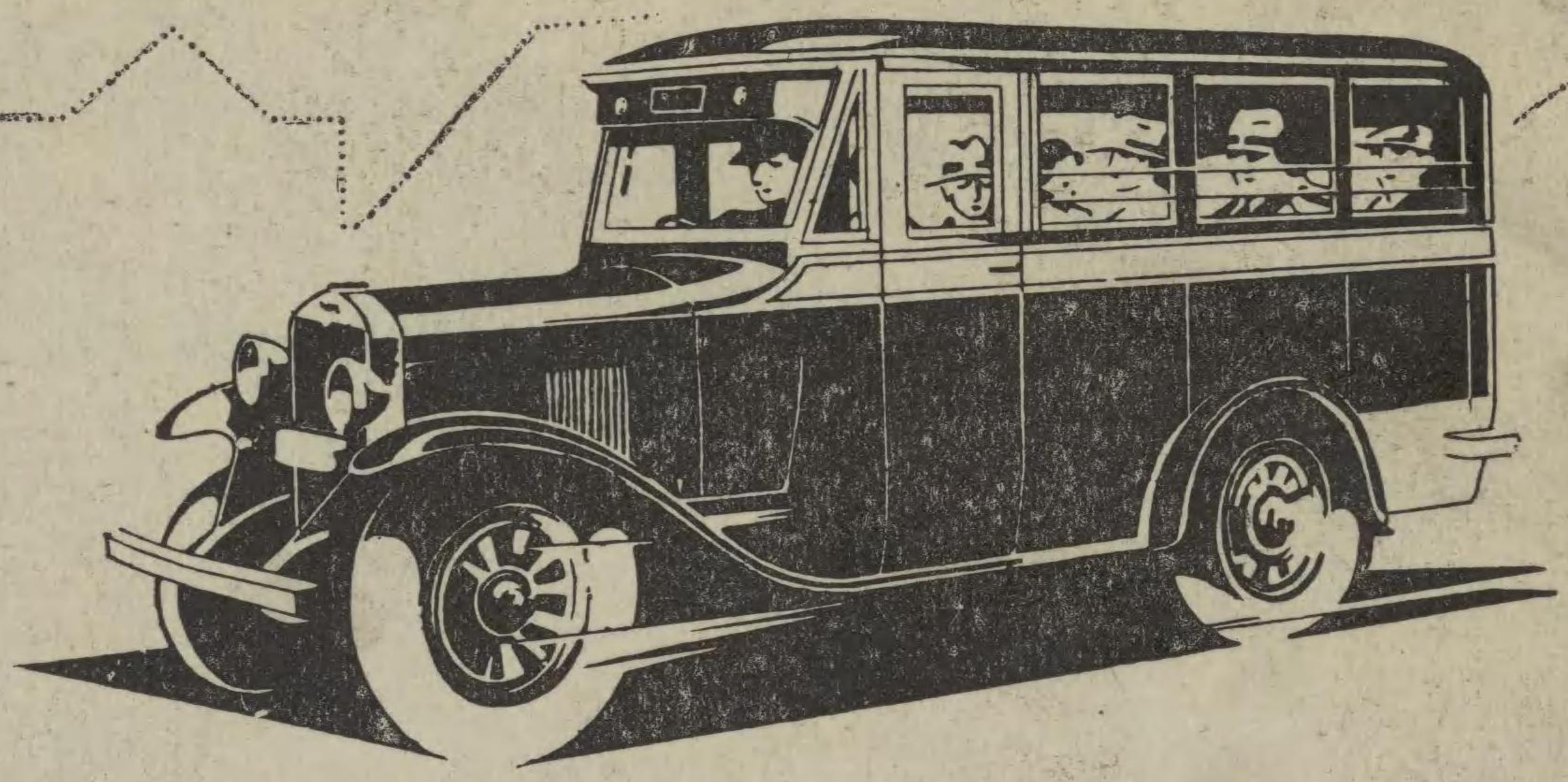


新井

單式・復式
數種あり

東
東

THE BUS AGE



ナカヨノバスホデー

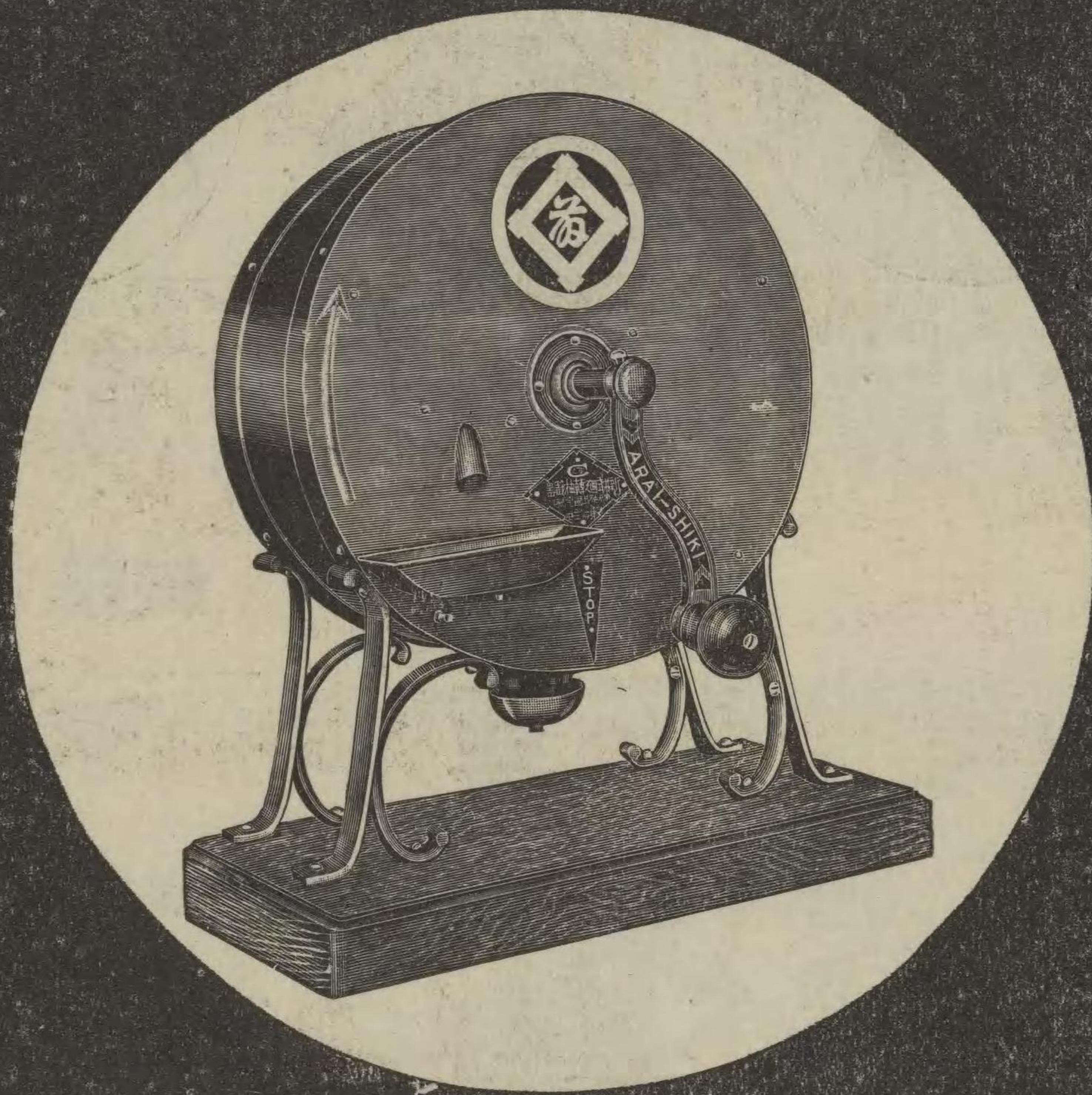
優美 堅牢 經濟

東京市外大井町

長尾車體製作所

電話 大森一六五九番

國產の精華
新式廻轉抽籤器



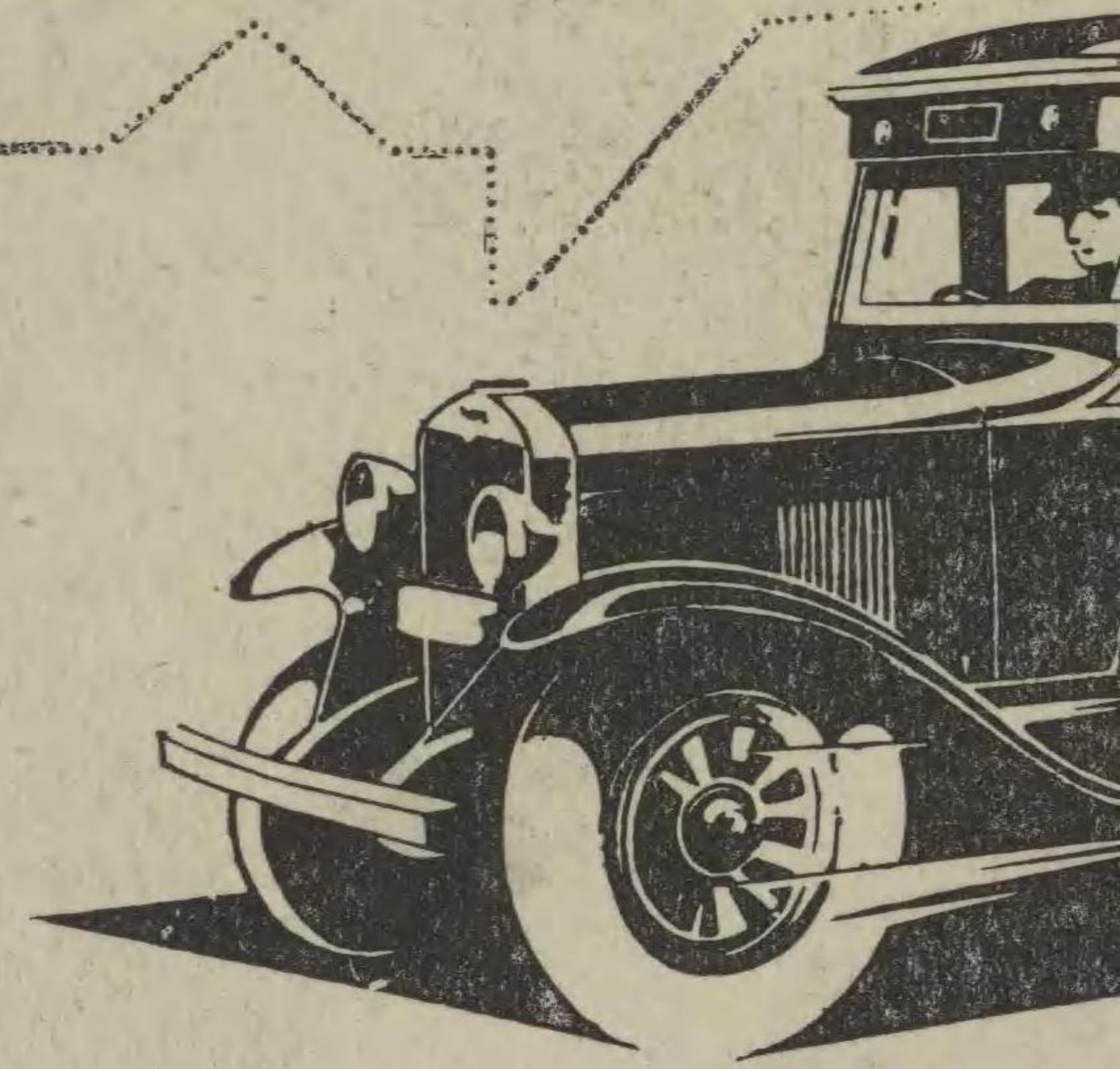
カタログ御申越次第進呈

單式・複式 數種あり

東京抽籤器製作所

東京市芝區三田三丁目二番地

THE BU



トカヨノ


優美

堅

東京市
長尾車

電話大

IE



材料科
及費

株式會社
高輪 5241番



製作種目

—[◇]—

貴美マメ徽金カ
金術 七屬
章銀ツ 一ダ
賞木プ 七屬
品寶クル牌盃楯

東洋徽章製作所

東京市神田區表猿樂町二番地
電話神田 (25) 三四三六五番
振替東京四五九〇三番

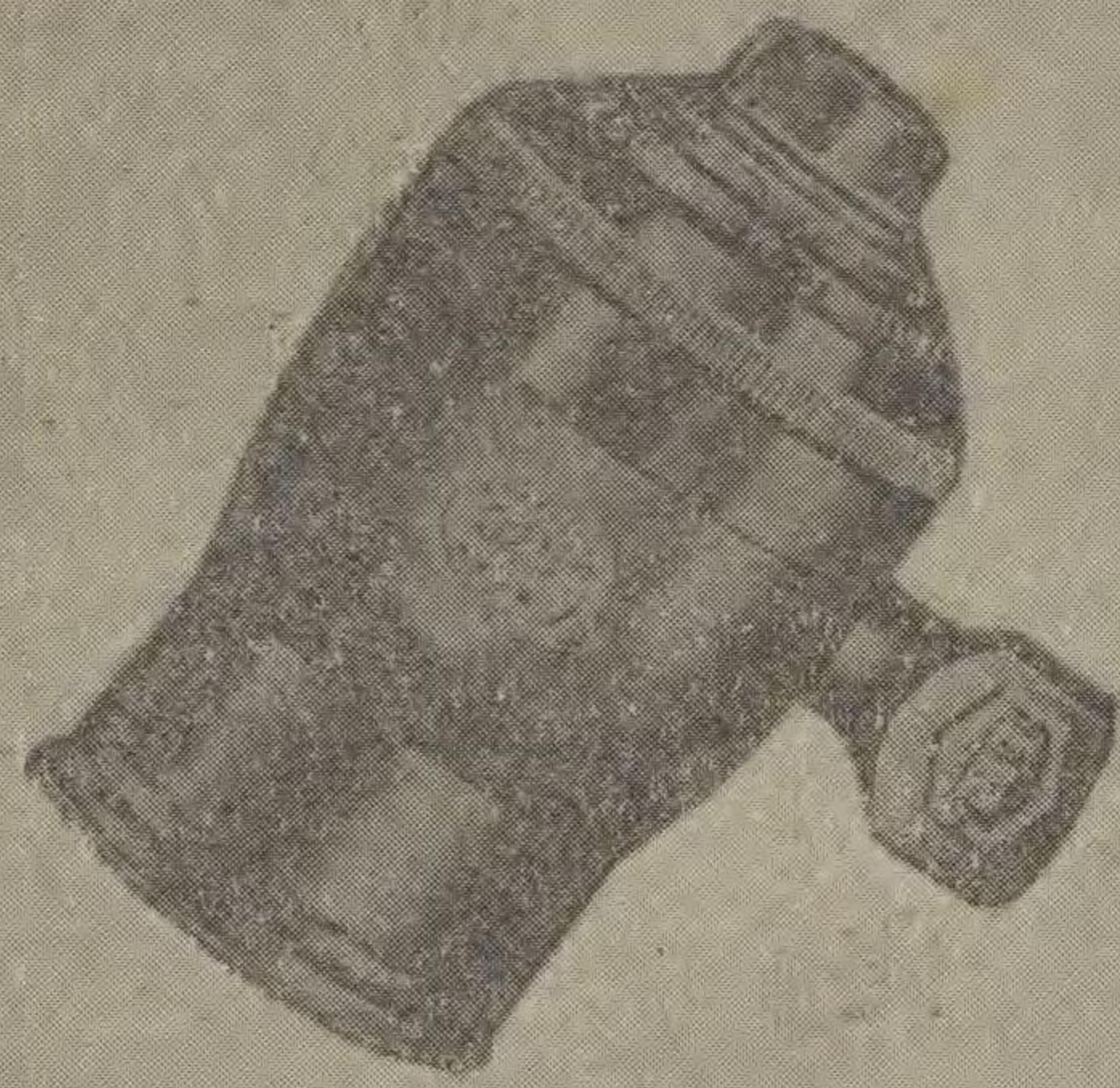
喜き

價 定	
三日分	金五拾錢
七日分	金壹圓拾錢
十四日分	金貳圓卅錢
卅一日分	金四圓五拾錢

東京電報



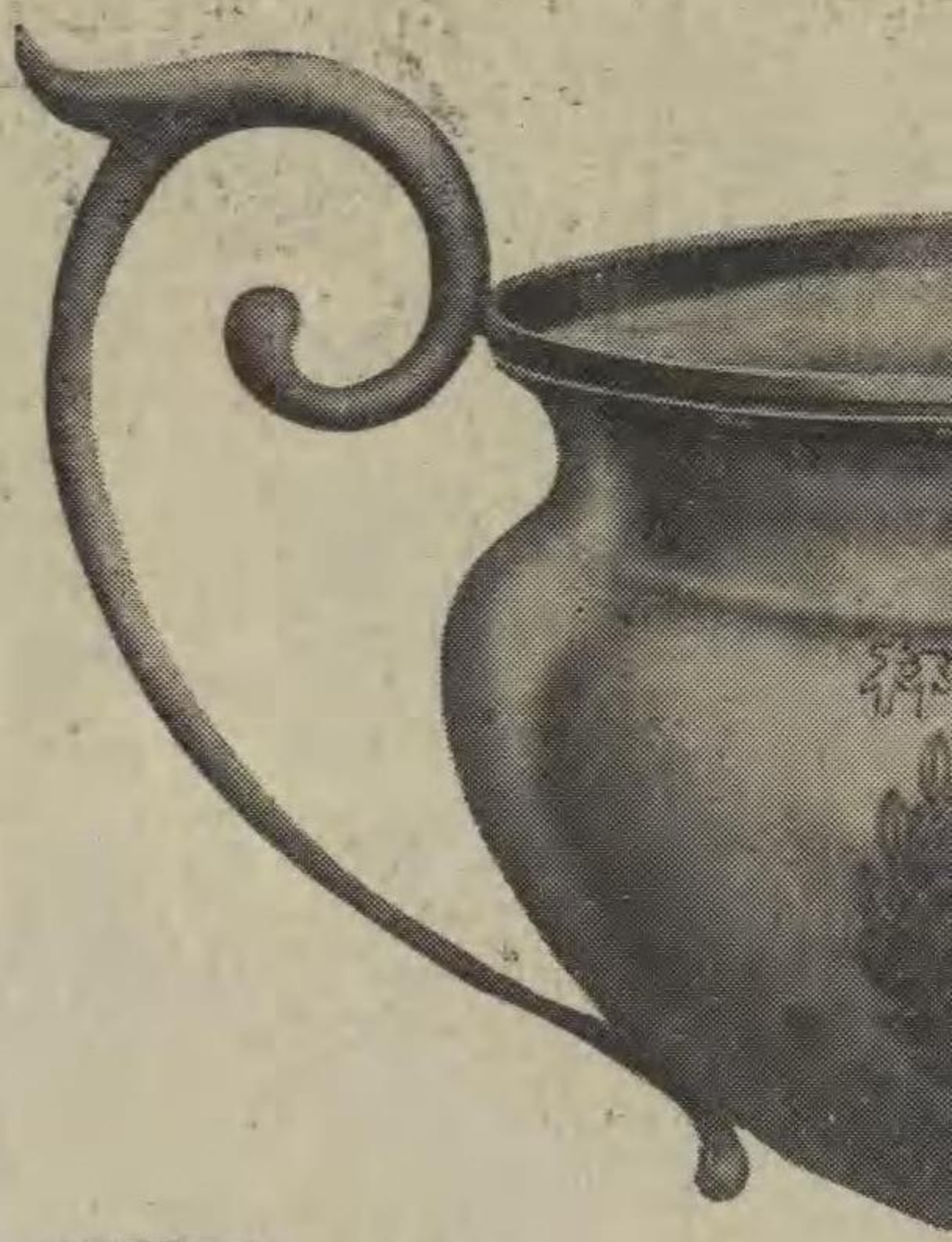
キーソケット



電機器具・架線材料
製造販賣

東京石渡電機株式会社

電話(44)高輪5271番



津々浦々の果までも御婦人方に愛用

喜谷買母散

逆上、頭痛、冷込、氣鬱、こしけ、血の道、子宮病、其他一切の婦人病に不思議な早効ある薬

▲偽物あり御求の際「喜谷買母散」と御指名願上候

▲全国到る處の薬店にて販賣す

喜谷買母散

本舗
東京市橋中區大橋町
喜谷市郎衛右門
電話東京五番五番六番
振替東京二一五番四番

定 價	
三日分	金五拾錢
七日分	金壹圓拾錢
十四日分	金貳圓卅錢
卅一日分	金四圓五拾錢

東京市神田區表猿樂町二番地
電話神田(25) 三四三六五番
振替東京四五九〇三番

創業明治三十二年

小泉ペイント株式会社

東京市本所區菊川町

電話本所 二六〇八四二番



主要製品種目

各種堅練ペイント	各種調合ペイント	ボイルド油	各種スチール	黒板塗料	マシンの塗料	水性室内塗料	特許アスファルトペイント	防錆、防水塗料
トタンペイント	浸漬塗料	セメントリート	コンクリートペイント	レストライント	油性艶消ペイント	耐酸塗料	船底塗料	



製造家ト需要家ト合理的ニ結合スルヲ以テ使命トスル弊店ノ營業種目ハ

一、ベニア板一般 機、樺、櫓、樺、楳、ラワン、楓等

シ、方今ベニア板ノ用途ニシテハ船車、飛行機、建築、家具ヲ始メト

理、其強靱ニシテ使用ニ便ニ且ツ經濟的ナルノ點ニ於テ從來ノ挽材挽

板、市場ヨリ驅逐スルノ有様ナルガ用途ト各製造所ノ特長トヲ合

場的ニ結合シ得ルハ有ユル製造所ト特約ヲ有シ設備完全ナル專屬工

場ヲ有スル弊店ヲ俟ツテ始メテ實現スル事ガ出來ル

要製品種目

ホイル、各種ステイン、黒板塗料、マシンの塗料、水性室内塗料、特許アスファルトペイント、防錆、防水塗料

セメントリート、コンクリートペイント、レストライント、油性艶消ペイント、耐酸塗料、船底塗料



製造家ト需要家ト合理的ニ結合スルヲ以テ使命トスル弊店ノ營業種目ハ

一、ベニア板一般 櫛、樺、楡、樺、楡、ラワン、楓等

方今ベニア板ノ用途トシテハ船車、飛行機、建築、家具ヲ始メトシ其強靱ニシテ使用ニ便ニ且ツ經濟的ナル點ニ於テ從來ノ挽材挽板ヲ市場ヨリ驅逐スルノ有様ナルガ其用途ト各製造所ノ特長トヲ合理的ニ結合シ得ルハ有ユル製造所ト特約ヲ有シ設備完全ナル專屬工場ヲ有スル弊店ヲ俟ツテ始メテ實現スル事ガ出來ル

一、ベニアドアー フロントドアー、フレニチドアー、サイドドアー、スラブドアー、フラッシュドアー、インレドアー、ノットドアー、設計シ且ツ製作敏速ニシテ堅實ナル品ヲ供給シ得ルハ弊店ノ誇トスル處デアアル

人造木

天然木ノ缺點ヲ補ヒ意匠的ニ、美術的ニ、而カモ變色若シクハ褪色ノ憂絶對ニナク眞ニ人工至妙ノ品ナリトノ評アル本品ハ腰羽目、鏡板、其他美術的細工物用トシテ絶好品ナレバ廣ク江湖ニ推獎ス

一、ベニア製圖板

完全ナル設備ヲ以テ大量生産ニヨル本品ハ實ニ驚ク可キ廉價ニシテ而カモ體裁優美ナレバ都下大デパート、一流ノ家具店ヨリ注文殺到シ一方家具製造家モ之ニ加工スルノ却ツテ自家製造スルヨリモ有利ナルヲ知リ此ノ方ノ需要モ目下激増シツ、アリ

長四尺 長三尺八寸 長三尺五寸 長三尺 學生用 長三尺
巾三尺 巾二尺六寸 巾二尺五寸 巾二尺 巾二尺
在來ノ檜朴ナドノ厚板製圖板ニ比シ安價ニシテ板目ノ伸縮、歪ミ、走切レ、狂ヒヲ生ズル事ナク木質ハ適當ノ硬度ヲ有シ鉛筆鳥口等ノ利ナルヲ知リ此ノ方ノ需要モ目下激増シツ、アリ

東京市芝區愛宕町三丁目二十八番地

ベニア板問屋

ベニア商会

型録見本進呈

電話芝(43)一一六八八番
振替口座東京二〇〇二〇番
店主 足立 建次

登録

商標



源

國民嗜好品界の雄！

三大特長

最古の歴史！
最新の設備！
最高の品質！

元祖 一源やまじりん

創業明治十七年

一源製餡所

伊藤源之助

東京勸業博覽會・平和博覽會・大禮紀念博覽會・第一回國産品評會於名譽賞金銀賞牌受領

東京・向島・白髯橋畔
電話墨田(74)一三〇〇六番
一九一八番

總揚水高廿四十尺

最大揚水量 二十八石(每時)

最大吸水高廿二十八尺

取扱簡易

寄

經濟第一

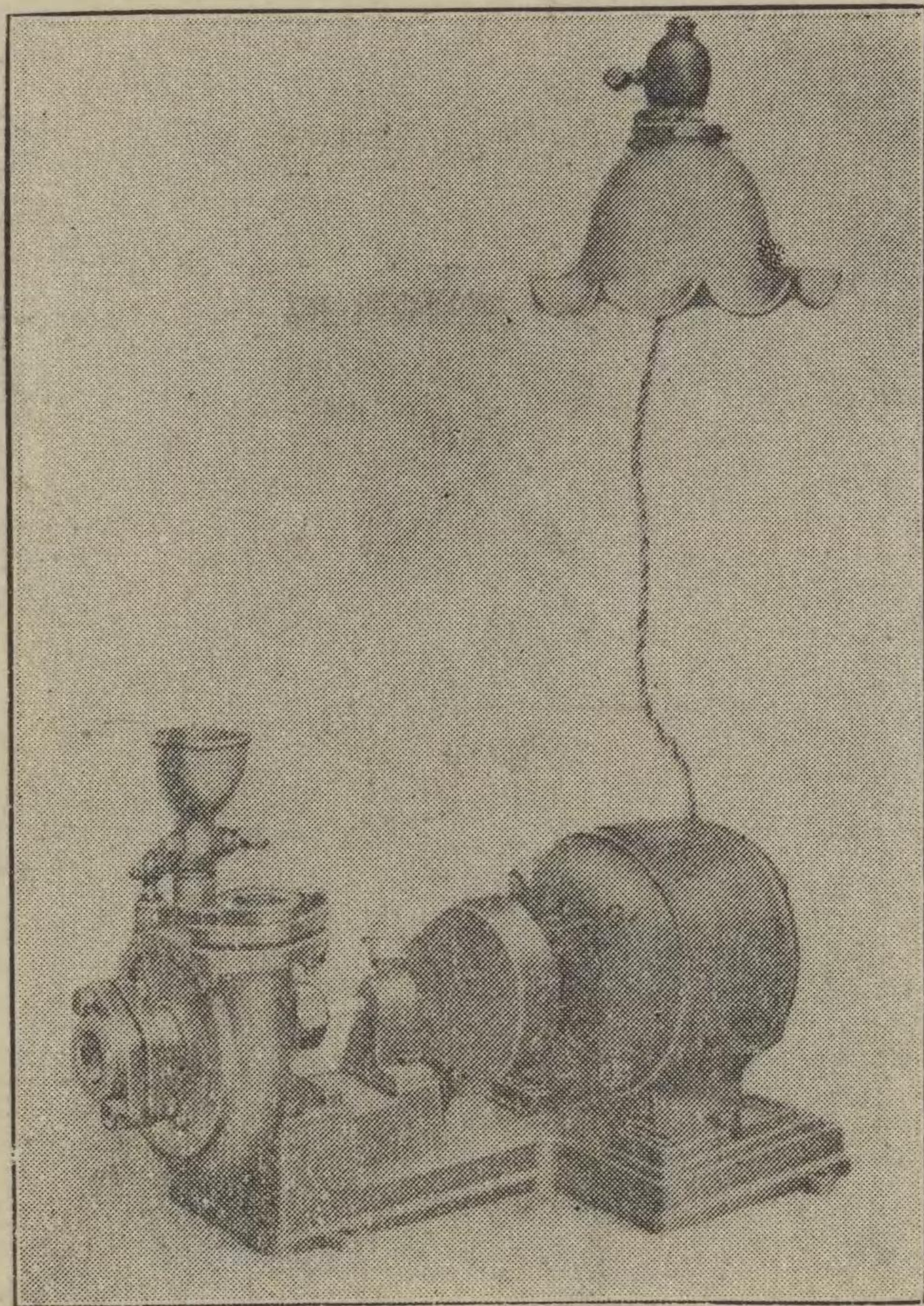
店

所

矢田式家庭用唧筒

取扱簡易
經濟第一
耐久無比
自動動作

用途
一般家庭用
灌、噴水用
生洲用
自動車洗淨用



總揚水高サ 四十尺
最大揚水量 二十八石(每時)
最大吸水高サ 二十八尺
馬力 四分ノ一

格價
壹百圓内外ニテ水道ト同シ装置ニナス事
ガ出來マス、尙詳細ハ現場拜見ノ上御見
積致シマス

營業部 矢田直三商店

芝區田町四丁目六番地
電話高輪三九九四番

製造所 矢田鐵工所

芝區三田豐岡町十三番地
電話高輪二二二九番

商標



祖一三

創業明治十七年

東京勸業博覽會・平和博覽會・大禮紀念博覽會・第一回國產品評會於名譽賞金銀賞牌受領

一源製餡所

伊藤源之助

東京・向島・白髯橋畔
電話墨田(74)一三〇〇六番
一九一八番

品製ムゴ

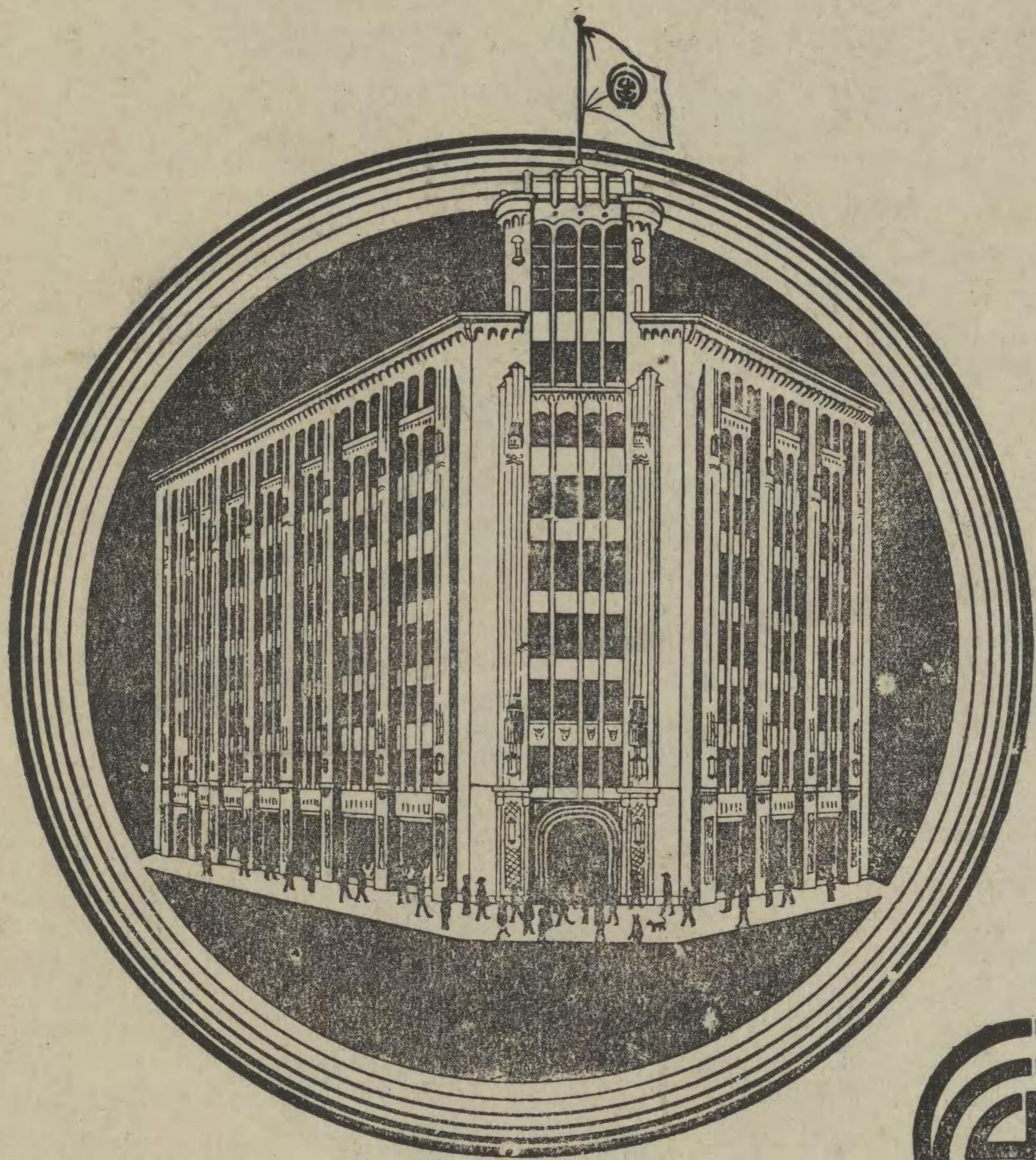
目課業營

エボナイト	ゴムベルト	ゴムロール	型製品	ゴム板	ゴムホース
板、棒、管、其他各種型製品	赤線一本入サンダー印、赤線二本入スーパーサンダー印其他各種	製紙用、印刷用、染色用、糊付用、各種	其他各種 ゴムバルブ、ゴムパッキング、ゴム栓	ゴムタイル、ゴムマット、赤、白、布ナシゴム板、白鼠布入ゴム板、キングパッキング	水道ホース、噴霧器ホース、酸素ホース、サクシヨンホース、ウォーターターホース、ニユーマチツクホース、スチームホース、酒ホース、耐油ホース、耐酸ホース、セメントガンホース

店賣販品製場工ムゴ社會式株車轉自本日大
番八八九六橋京話電地番三十目丁二橋京區橋京市京東

店商原萩

新築落成



東京日比谷

常磐生命保險株式會社

電話號碼 自一五〇番至一五六番
 振替口座 東京一五〇番

製 品

課 目

型 製 品

ゴムハルブ、ゴムハツキンク、ゴム楯
 其他各種

ゴムロール

製紙用、印刷用、染色用、糊付用、各種

ゴムベルト

赤線一本入サンダー印、赤線二本入スー
 パーサンダー印其他各種

エポナイト

板、棒、管、其他各種型製品

工場製品販賣店
 番八八九六橋京話電地番

商 店



複製するこ
とを許さず

昭
昭

發編

行纂

者兼

高

橋

重

治

國產調査協會代表者

複製するこ
とを許さず

昭和六年四月十日
昭和六年四月十日

國產總覽附

定價金五拾圓也

昭和六年版

編輯者兼

國產調查協會代表者

高橋重治

發行所 國產調查協會

東京市日比谷公園市政會館內

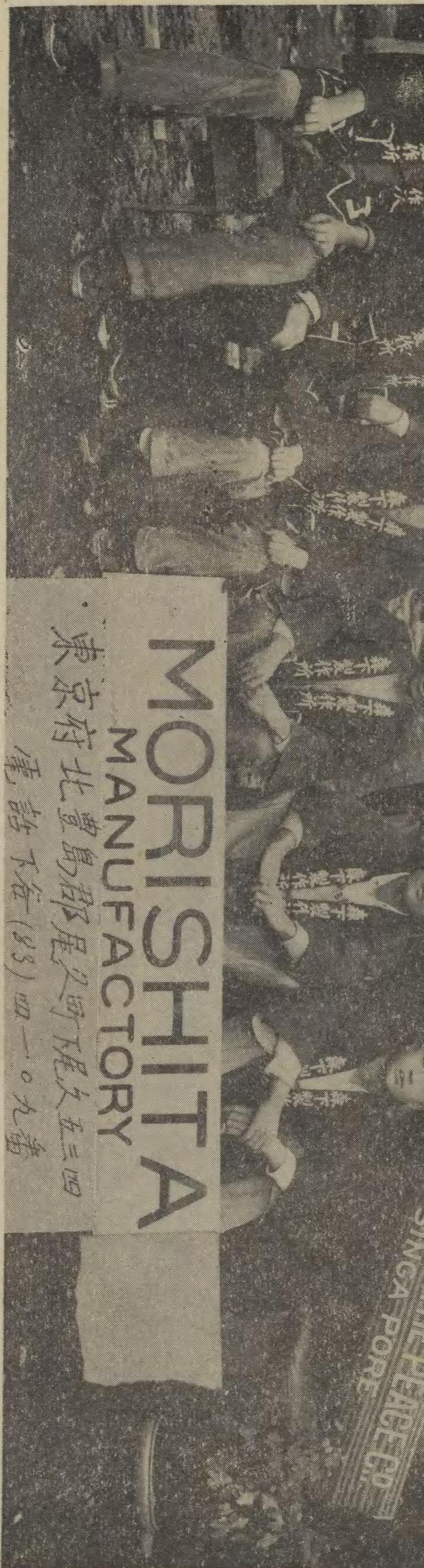
電話銀座(57)四三八三番
振替東京五一六九六番

印刷所 小林印刷所

電話芝(43)二〇六七番

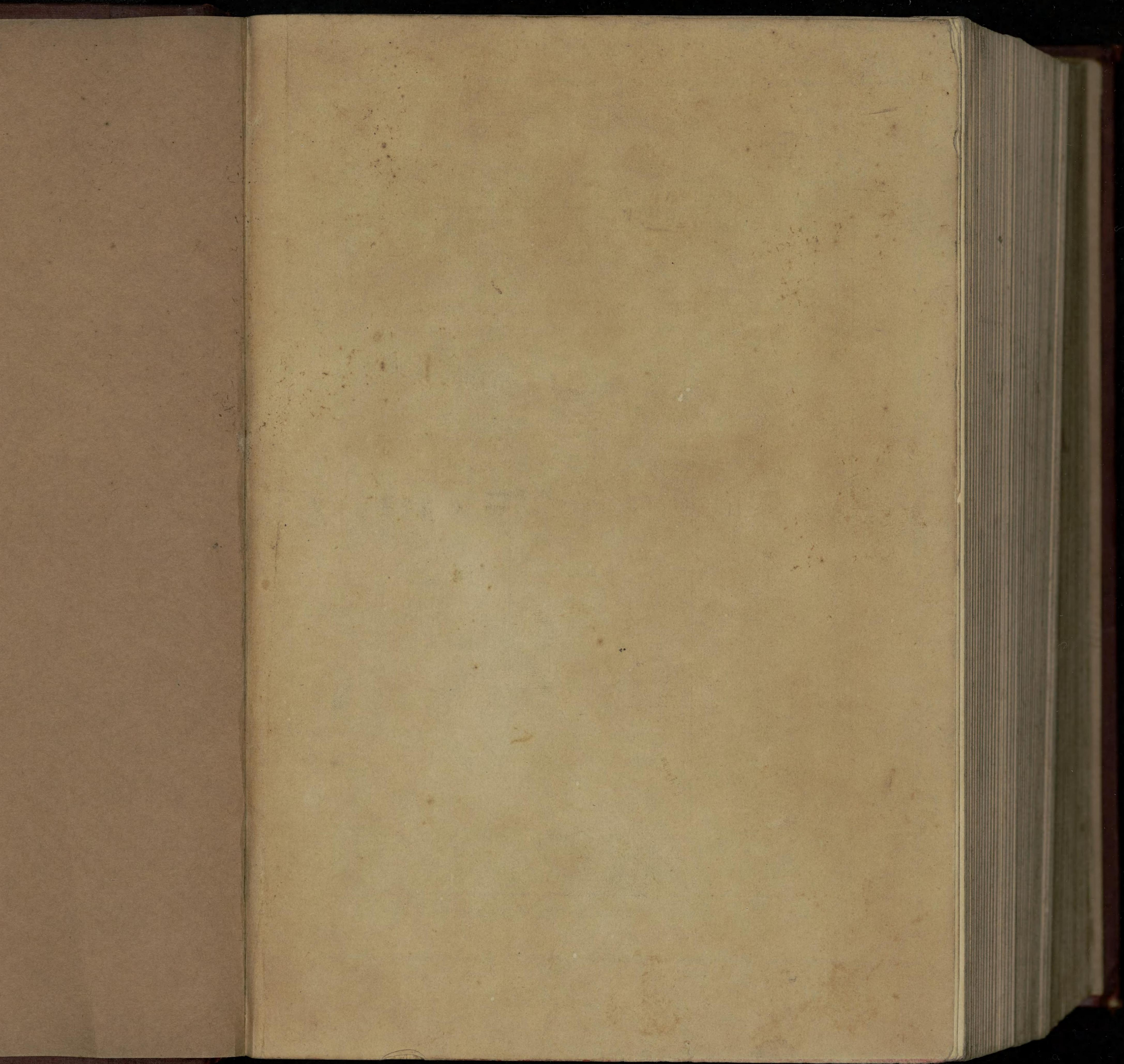
印刷者 小林繁次郎

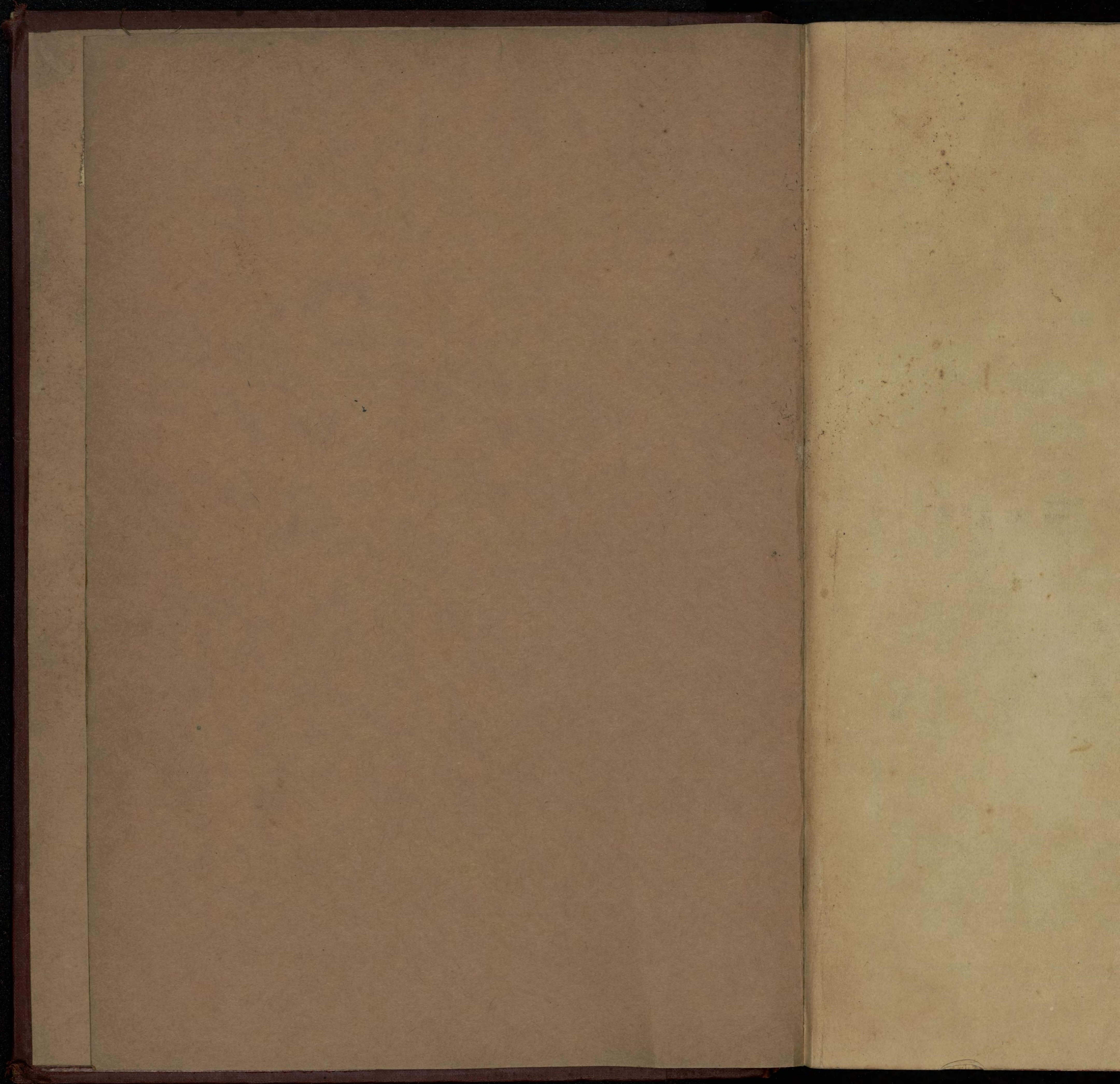
東京市芝區南佐久間町二ノ二

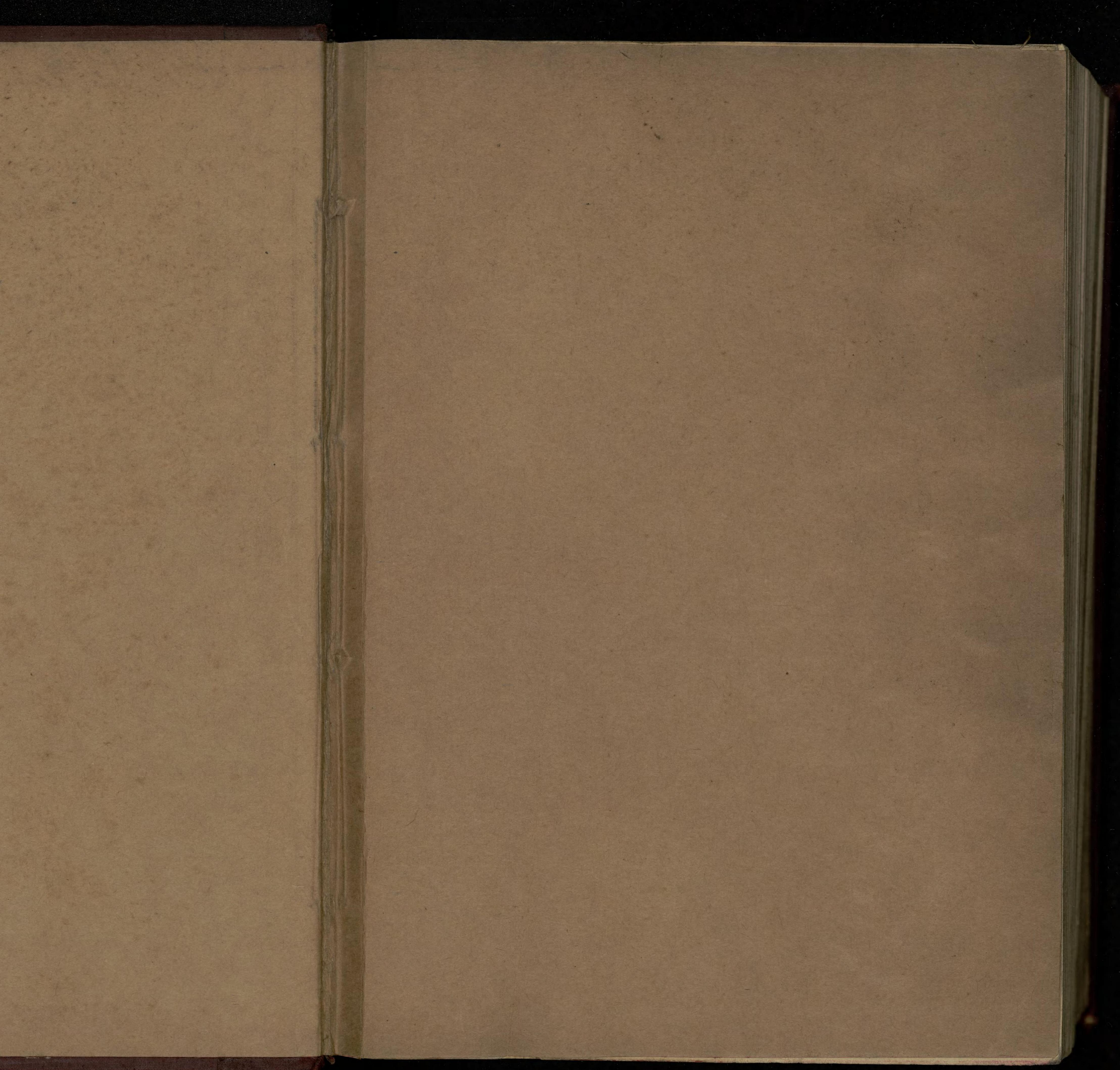


MORISHITA
MANUFACTORY
東京府北豐島郡尾久野下尾久五三四
電話下谷(123)四一〇九番

SINGAPORE
SINGAPORE CO.







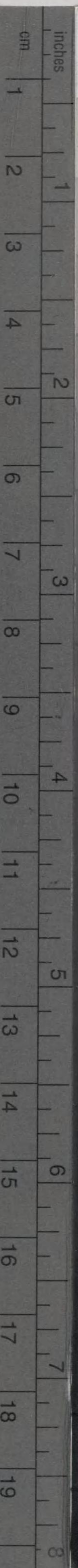
614
26

Kodak Gray Scale



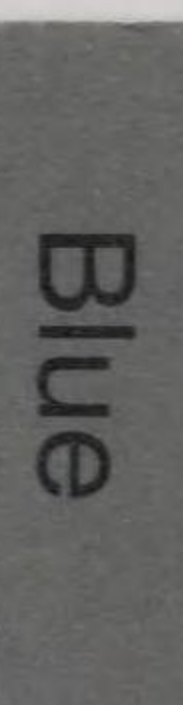
© Kodak, 2007 TM: Kodak

A 1 2 3 4 5 6 **M** 8 9 10 11 12 13 14 15 **B** 17 18 19



Kodak Color Control Patches

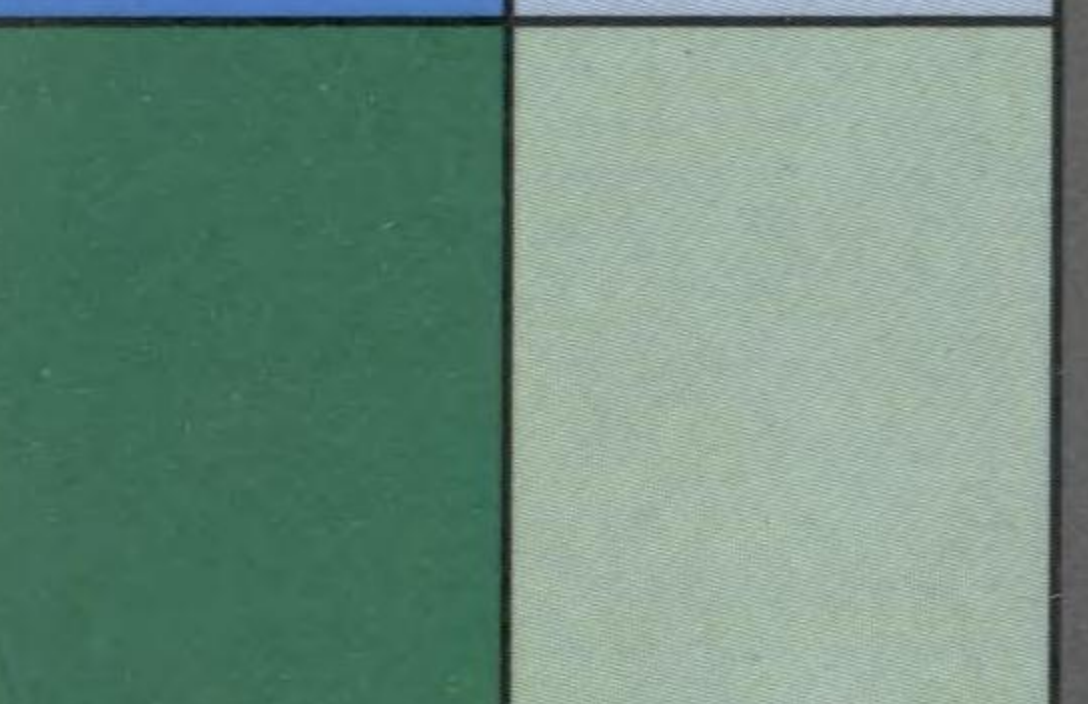
Blue



Cyan



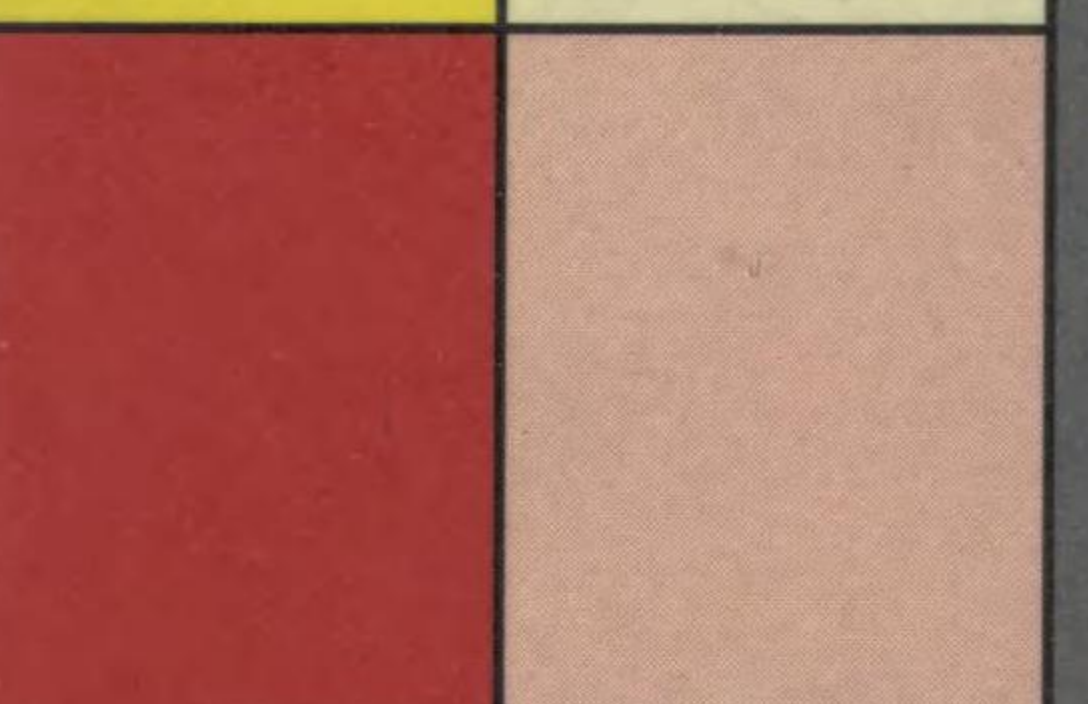
Green



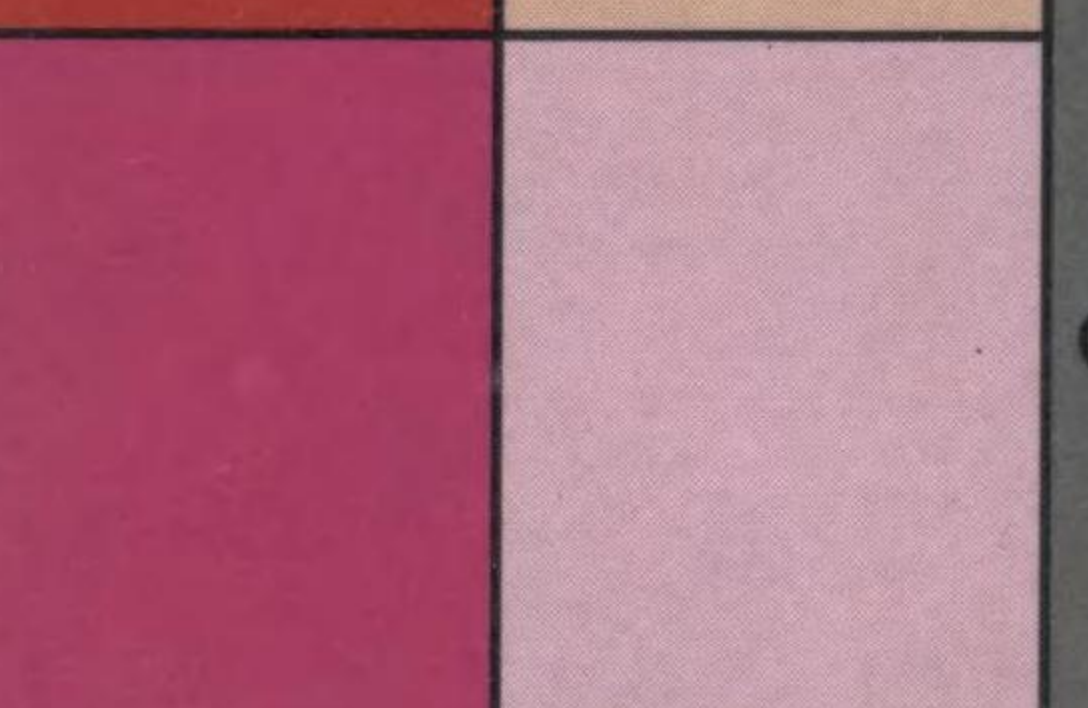
Yellow



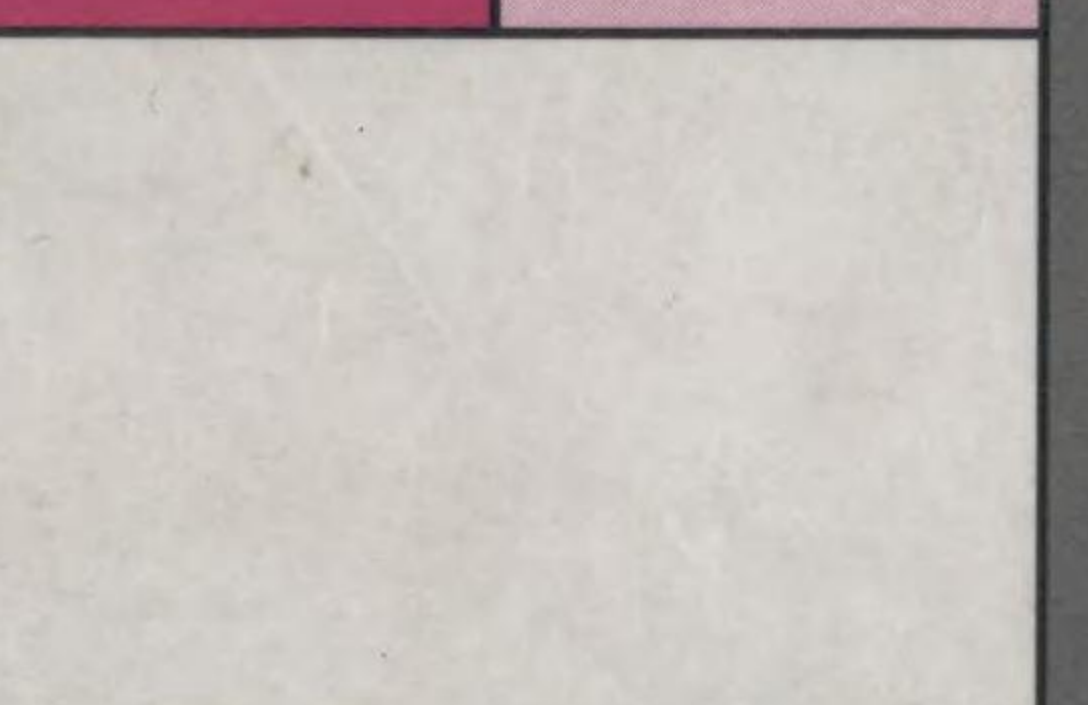
Red



Magenta



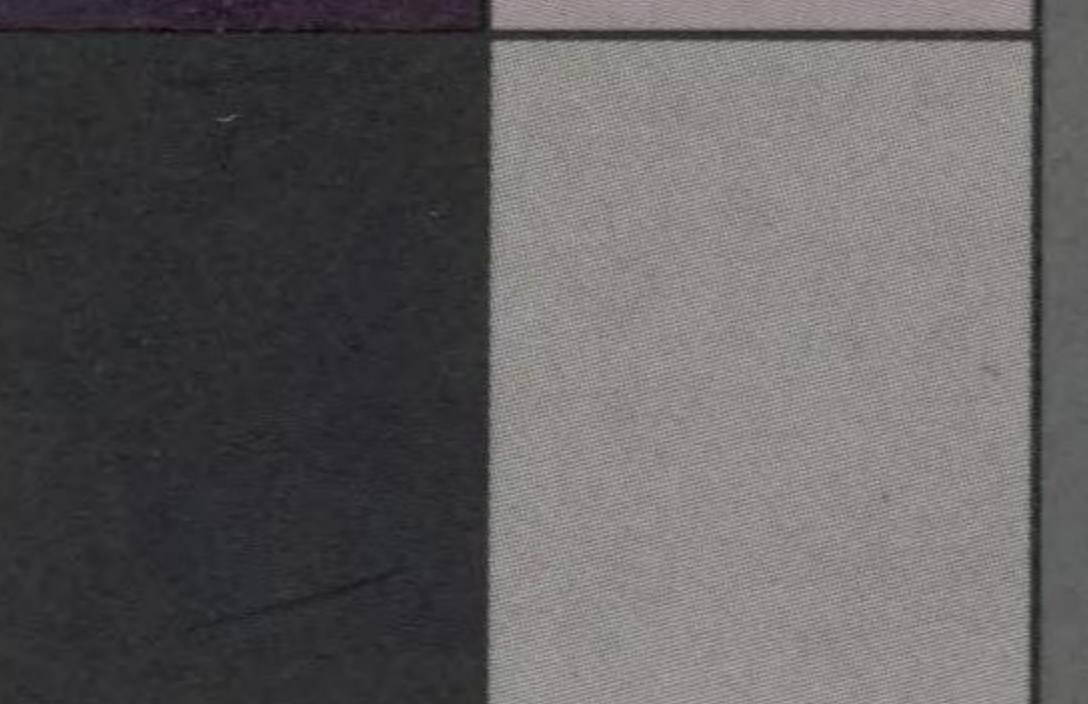
White



3/Color



Black



© Kodak, 2007 TM: Kodak